

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価報告書

(平成22年度対象)



平成23年9月



八街市教育委員会

11月12日は「やちまた教育の日」

八街市教育委員会では、「ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた」の具現化に向け、明日の八街市を担う、夢をいただき心豊かでたくましく生きる子ども達を育てるため、様々な施策を展開しているところであります。

次代を担う人々が、八街で生まれ育ったことを誇りとし、健やかに成長していくためには、学校・家庭・地域の相互の連携を推進するとともに、市民一人ひとりが教育に対する理解と関心を深め、それぞれの場で役割を担い、やちまたのひとづくりに積極的に参加していただくことが不可欠であります。

八街市教育委員会では、学校改善 継続指導 学校・家庭・地域との連携 の3つの柱を視点とした『幼小中高連携教育』を全国に先がけ平成9年から取り組み、その成果を平成16年に全国公開で発表した、11月12日を「やちまた教育の日」と定め、併せて11月を「やちまた教育の日月間」として決めました。

平成22年4月1日制定

八街市教育委員会

青少年健全育成都市宣言

ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまたを発展させ、次代の八街を創る者は、青少年です。

青少年が、夢、希望を持ち、自由と責任を自覚しながら、たくましく生きていく力を蓄え、広く社会に役立つ人材に成長することは市民すべての願いです。この願いを実現するため、青少年自らの努力を期待するとともに、家庭、学校、地域社会が一体となり、優しさと潤いのある環境の中で、青少年を心身共に健やかに育てることを決意し、ここに八街市を『青少年健全育成都市』とすることを宣言する。

平成20年3月19日制定

八 街 市

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項 に基づく教育委員会の点検・評価について（総括）

1. 点検評価の目的及び対象

効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、教育委員会は、毎年その権限に属する事務（教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

そこで、教育委員会では平成22年度執行の教育委員会の権限に属する全ての事務事業について、決算状況を踏まえた上で点検評価を行いました。

2. 点検評価の期日

担当課による一次評価	平成23年6月17日
教育委員会による二次評価	平成23年7月21日
教育に関して知見を有する者を活用した総合評価	平成23年8月18日

3. 点検評価の方法

1) 教育委員会事務局等の評価

平成22年度の点検及び評価の実施にあたっては、平成20年度に策定した「八街市教育委員会事務事業評価実施要領」により作成された、教育委員会事務事業評価シートを精査し、一次評価として位置づけ関係職員から事情を聴取することによって評価を実施しました。

評価にあたりましては、一次評価でそれぞれ細目にわたり4段階評価がされておりますが、その結果を勘案したうえで、必要性、有効性、効率性、公平性並びにこの結果を踏まえた総合評価を、それぞれ評価の高い順からA B C Dの4段階評価で実施致しました。

さらにこの評価結果について、外部（教育に関して知見を有する方2名）の評価を受け、それぞれの事務事業の総合評価といたしました。
点検評価の結果については、別添事務事業評価結果一覧表のとおりです。

2) 幼稚園、小中学校の評価

平成22年度においては、教育委員会の所管する全ての幼稚園、小中学校の教育委員会訪問を行いました。その際、授業の状況などを参観するとともに、学校長等から学校運営、学校の課題、学校の現状などの説明を受け、質疑応答を

行うことなど、学校の状況を把握することに努めました。

なお、学校が行った学校評価は、内部評価、外部評価を実施していますが、学校ごとに調査方法、質問事項、まとめ方等も異なっていることから、このうち保護者を対象としたアンケート調査の結果のうち、千葉県の「みんなで取り組む『教育立県千葉』プラン（千葉県教育振興基本計画）」に数値目標が掲げられている、子どもの様子（規範意識や協調性）に関する項目、学習指導に関する項目、学校・家庭・地域が連携して子どもを育てる項目の3項目に関する結果を抜粋し検証することとしました。

なお、評価項目については、A・B・C・Dの4段階評価を採用しているところがほとんどでした。また、評価を学期ごとあるいは2学期のみに実施している学校もありましたが、結果は最終の実施のものを評価することとしました。結果は今後学校等に示し、学校の運営にあたっての参考に資することいたします。

4 . 平成22年度事業の概要

八街市教育委員会では、平成22年度に於いては、八街市総合計画2005における、八街市がめざす将来都市像である、「ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた」実現に向け、『子どもの教育・健全育成の充実』、『自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進』、『市民文化の創造と継承』、『豊かな心を育む交流の推進』に努め、様々な事業を展開したところであります。

具体的な施策と致しましては、

『子どもの教育・健全育成の充実』では、

《子どもたちが健全に成長し、人間性豊かな心を育むために、学校教育の充実を図るとともに、社会教育では、家庭教育支援の充実を図り、家庭・学校・地域が連携した青少年健全育成に取り組む。》

『自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進』では、

《市民の多様化・複雑化・高度化するさまざまな学習課題に対応できる社会教育機会の充実を目指す。また、学校施設の開放の充実を図ることにより、市民に広くスポーツ・レクリエーションの機会を提供できるように努める。》

『市民文化の創造と継承』では、

《芸術文化活動の推進を図るとともに、文化財の保護、郷土資料館の充実、市史編さん事業の推進に努める。》

『豊かな心を育む交流の推進』では、

《ピーナツ駅伝大会や市民体育祭などのスポーツ大会や市民文化祭、市

民音楽祭などの文化芸術活動をとおして、市内外の人々とは交流する場の提供に努める。

と定め、この方針に基づいた事業に取り組んでまいりました。

具体的な事業内容等については、平成22年度教育要覧及び平成22年度八街市歳入歳出決算に係る主要施策の成果の説明書をご覧ください。

5. まとめ

今回教育委員会が行った事務事業の評価結果は、事務事業評価結果一覧表のとおりであります。

教育委員会では、平成22年度に執行した事務事業については、所期の目的に添って執行されており、全ての事務事業において概ね適正であったと判断いたしました。

総合評価（外部評価）としては、昨年から2名の方をお願いしており、相違はありますがそれぞれの評価を記載しました。

教育委員会事務局所管の事務事業については、外部評価結果の中にはC評価もあり、事業のあり方について見直し改善が必要であるとされる事業もありますが、全体的には概ね計画どおりの遂行が出来ているとの評価をいただいております。

しかし、評価の低い事業について、効果的な予算措置などに配慮を要すること、また、児童生徒援助奨励費の公平性、視聴覚教材センター管理運営の見直しについての指摘がございましたので、今後の事業実施にあたって配慮すべき事項としてまいります。一部については、すでに平成23年度において見直し作業を進めております。

幼稚園・小中学校については、すべての施設訪問を行い、学校の状況を把握するなかでは、適正な運営がされているものと判断されますが、学校が行った外部評価の結果などを勘案すると、一層の全体的なレベル向上（特に、学力、不登校問題）に努め、すばらしい地域づくりにつなげてもらいたいとの意見がありました。

なお、この評価結果につきましては、ホームページ等を活用し、公表を行いますので、関係各位の忌憚無いご意見をいただき、今後の事務事業遂行に反映してまいりたいと考えておりますのでよろしくご願いたします。

- 参考資料： 1 教育委員会の事務事業評価シート
2 学校評価結果



事務事業評価一覧表

番号	評価シート番号	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)				総合評価 (外部評価)	
				必要性 妥当性	有効性	効率性	公平性		
1	1 -1 -1	庶務課	教育委員会の開催(教育委員会費)	A	A	A	A	A	A
2	1 -3 -1	学校教育課	教育指導諸費	A	B	B	A	B	A
3	-2	学校教育課	外国語指導助手派遣事業	A	A	A	A	A	A
4	-3	学校教育課	教育センター運営費	A	B	B	A	B	B
5	-4	学校教育課	教育支援センター管理運営費	A	B	B	A	B	B
6	-5	学校教育課	育て八街っ子推進事業	A	B	B	A	B	B
7	-6	学校教育課	学校司書・ICT支援事業	A	B	B	A	B	A
8	2 -1 -1	庶務課	小学校施設維持管理事業	A	B	A	A	A	A
9	-2	庶務課	小学校施設整備事業	A	B	A	A	A	A
10	2 -2 -1	学校教育課	小学校教育振興費	A	A	A	A	A	A
11	-2	学校教育課	小学校教材備品等購入費	A	B	A	A	A	A
12	-3	学校教育課	小学校理科教育振興用備品購入費	A	B	A	A	A	A
13	-4	学校教育課	小学校児童援助奨励費	A	A	A	C	B	A
14	2 -3 -1	庶務課	笹引小学校校舎改築事業	A	A	A	A	A	A
15	-2	庶務課	八街東小学校校舎改築事業	A	A	A	A	A	A
16	-3	庶務課	実住小学校屋内運動場耐震補強事業	A	A	A	A	A	A
17	-4	庶務課	朝陽小学校改築事業	A	B	A	A	A	A
18	3 -1 -1	庶務課	中学校施設維持管理事業	A	B	A	A	A	B
19	-2	庶務課	中学校施設整備事業	A	B	A	A	A	B
20	3 -2 -1	学校教育課	中学校教育振興費	A	A	A	A	A	A

総合評価

教育に関して学識経験を有する者の識見を図った上での評価

番号	評価シート番号	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)				総合評価 (外部評価)	
				必要性 妥当性	有効性	効率性	公平性		
21	-2	学校教育課	中学校教材備品等購入費	A	B	A	A	A	A
22	-3	学校教育課	中学校理科教育振興用備品購入費	A	B	A	A	A	A
23	-4	学校教育課	中学校生徒援助奨励費	A	A	A	C	B	A
24	3 -3 -1	庶務課	八街中学校耐震補強事業	A	A	A	A	A	A
25	-2	庶務課	八街中学校武道場建設事業	A	A	A	A	A	A
26	4 -1 -1	庶務課	幼稚園施設維持管理事業	A	B	A	A	A	A
27	-2	庶務課	幼稚園施設整備事業	A	B	A	A	A	A
28	-3	庶務課	私立幼稚園就園奨励費補助事業	A	B	A	A	A	B
29	-4	庶務課	私立幼稚園運営費補助事業	A	B	A	A	A	A
30	-5	庶務課	幼稚園特別支援事業	A	A	A	A	A	A
31	5 -1 -1	社会教育課	社会教育総務費	A	A	A	A	A	A
32	-2	社会教育課	生涯学習振興事業	A	B	B	A	B	B
33	-3	社会教育課	文化振興事業	A	B	B	A	B	B
34	-4	社会教育課	文化財保護事業	A	A	A	A	A	A
35	-5	社会教育課	青少年健全育成事業	A	B	B	B	B	B
36	-6	社会教育課	たけのこの里管理運営事業	A	B	B	B	B	B
37	-7	社会教育課	こども110番支援事業	A	B	B	A	B	B
38	5 -2 -1	中央公民館	中央公民館管理運営費(管理関係)	A	A	A	A	A	A
39	-2	中央公民館	中央公民館管理運営費(講座関係)	A	A	A	A	A	A
40	-3	中央公民館	中央公民館整備事業	A	B	A	A	A	A
41	5 -3 -1	図書館	図書館管理運営費 (図書館の資料収集、読書の普及、利用促進)	A	A	A	A	A	A

総合評価

教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いた上での評価

番号	評価シート番号	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)				総合評価 (外部評価)	
				必要性 妥当性	有効性	効率性	公平性		
42	-2	図書館	図書館管理運営費 (臨時職員の雇用、施設等の維持管理など)	A	A	A	A	A	A
43	5 -4 -1	視聴覚教材センター	視聴覚教材センター管理運営事業	B	B	B	A	B	C
44	-2	視聴覚教材センター	視聴覚教材整備事業	B	B	B	A	B	B
45	5 -5 -1	郷土資料館	郷土資料館管理運営事業	A	B	A	A	A	A
46	5 -2	郷土資料館	市史編さん事業	A	A	A	A	A	A
47	6 -1 -1	スポーツ振興課	スポーツ振興等事業(保健体育総務費)	A	A	A	A	A	A
48	-2	スポーツ振興課	各種スポーツ大会の開催等(体育振興費)	A	A	A	A	A	A
49	-3	スポーツ振興課	市民体育祭の開催 (市民体育祭運営費)【中止】	A	A	A	A	A	A
50	-4	スポーツ振興課	八街市ピーナッツ駅伝大会の開催 (八街市ピーナッツ駅伝大会運営費)【中止】	A	A	A	A	A	A
51	-5	スポーツ振興課	印旛郡市民体育大会の開催 (印旛郡市民体育大会運営費)	A	A	A	A	A	A
52	-6	スポーツ振興課	学校施設のスポーツ開放事業 (学校開放推進費)	A	A	A	A	A	A
53	-7	スポーツ振興課	国民体育大会の運営 (国民体育大会運営費)	A	A	A	A	A	A
54	6 -2 -1	学校教育課	学校保健諸費	A	A	A	B	A	A
55	-2	学校教育課	学校保健管理事業	A	A	A	A	A	A
56	6 -3 -1	スポーツ振興課	体育施設の維持管理事業 (体育施設維持管理費)	A	A	A	A	A	A
57	-2	スポーツ振興課	体育施設整備事業	A	A	A	A	A	A
58	6 -4 -1	スポーツプラザ	スポーツプラザ管理運営事業	A	A	A	A	A	A
59	-2	スポーツプラザ	スポーツプラザ整備事業	A	A	A	A	A	A
60	K -1 -1	学校給食センター	学校給食センター一般管理事業	A	A	A	B	A	A
61	-2	学校給食センター	学校給食センター調理場維持管理事業	A	A	B	A	A	A
62	-2 -1	学校給食センター	学校給食センター調理場給食事業	A	A	A	A	A	A

総合評価

教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いた上での評価

番号	評価シート 番号	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)				総合評価 (外部評価)	
				必要性 妥当性	有効性	効率性	公平性		
63	S -1	庶務課	八街北小学校屋内運動場災害復旧事業	A	A	A	A	A	A
64	-2	庶務課	八街中学校施設災害復旧事業	A	A	A	A	A	A

総合評価

教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いた上での評価

平成22年度

教育委員会の事務事業評価シート

八街市教育委員会

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 1-1-1

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	教育委員会議の開催(教育委員会費)						部局等	教育委員会		
							課	庶務課		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
八街市総合計画	具体的施策									
	実施計画			開始	2010	終了	2012			
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付				実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		
	負担金	その他	()					八街市教育委員会会議規則		
直接の対象者(～に対して)	市民						最終的な受益者	市民		
事業目的(～という状態にするために)	教育行政について、広く社会の常識や市民のニーズを反映させるため、大所高所から審議を行い、基本的方針や具体的な施策の実施内容について合議制により決定する。									
具体的な事業内容(～を行う)	教育委員会定例会及び臨時会の開催 学校等教育機関の訪問 効果的な施策の実施のため事務事業の点検評価を行う。									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	教育委員会定例会・臨時会・協議会開催数	回	18	17	16	16			
		事業の効果	教育委員会議案審議件数	件	51	66	56			
		学校訪問	校	16	16	16	16			
		事業効果に関する外部要因								
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	市の教育行政を審議決定する機関であり、経費の節減に努めるとともに効率的な執行を図った。教育行政にかかる基本方針や重要施策を審議・決定し、市教育行政の的確な実施・運営に努めた。								
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	2,488	2,485	2,493	2,493			
	決算額		千円	2,461	2,464	2,129	0			
		特定・その他財源()	千円							
		一般財源	千円	2,461	2,464	2,129				
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬	1,966							
		旅費	2							
		負担金	161							

Check 事務事業の評価										
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由			二次評価			
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市の教育行政に対する市民のニーズは高くなっており、また、その教育行政の重要施策を審議・決定する教育委員会の会議は、市民の生活に直接反映されるため必要である。			A			
		市の関与は妥当ですか	a	法に基づき市教育行政の重要事項を審議、決定する機関であり不可欠である。						
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	年間16回の定例会。臨時会を開催し、同時に学校訪問を実施し、現状の把握に努めた。			A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	月1回の定例会において、集中的に審議を行うことで、効率的な執行を行っている。また、審議の内容により臨時会を開催することもあるが、経費等には影響しない。			A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	教育委員会で決定された教育施策は、市の教育行政全体へ反映されるため、公平に問題はない。			A		
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	定例会議等を適時に開催するとともに、市のホームページで会議録(非公開部分を除く)を公開するなど、透明性に努め、市民のニーズに応えるための工夫が図られている。			A	A		
Action 今後の事務事業の方向										
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	教育を取り巻く環境が激変する中で、教育委員会は実態を把握しより実効的な活動をするため、17年度から実施している学校訪問を引き続き実施します。会議録は非公開部分を除き、引き続きホームページで公開していく。また、「やちまた教育の日」制定にあたり、PRに努める。なお、事務事業の的確な評価を行うとともに、次年度に反映させるため、早期の実施を行う。								
		取り組み方向								
		新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了	
		教育委員会は、教育行政の重要事項を審議、決定する機関であり、継続して実施していかなければならない。さらに現状を把握し、的確な審議判断を行うとともに、会議を通して教育委員会の一層の活性化を図ることに努める。								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 1-3-1

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	教育指導諸費							部局等	教育委員会	
								課	学校教育課	
事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
(八街市総合計画)	実施計画	具体的施策	五の街 学校教育の充実							
		実施計画	教育内容の充実			開始	2010	終了	2012	
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠	八街市教育センターの設置及び管理に関する条例第4条				
		負担金	その他 ()							
直接の対象者(～に対して)	幼稚園・小・中学校教職員					最終的な受益者	園児・児童生徒・保護者			
事業目的(～という状態にするために)	充実した生活や学習の支援が実現し、より開かれた園や学校づくりを推進していく。									
具体的な事業内容(～を行う)	カウンセラーを雇用し、相談業務の充実を図るとともに、学校評議員制度を活かした意見聴取及び情報交換等が各園、各校で展開できるようにする。									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
D: 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	カウンセラーの雇用		人	1	1	1	1		
		学校評議員の委嘱		人	51	51	67	67		
	事業の効果	カウンセラーによるカウンセリング		人	359	256	244	250		
		学校評議員会議の開催		回	3	3	3	3		
	事業効果に関する外部要因	不登校問題や開かれた学校づくりへの取り組みに対する市民の関心の高さ								
事業効果の総合分析(達成できたこと)	何らかの事由で登校が困難になった子どもたちや保護者、担当教職員に対してカウンセリングが実施できるため、望ましい解決への手立てを講じることができるとともに、学校評議員制度を活用して各園、各校が外部からの意見聴取等を効率的に行い、学校運営に役立てることができた。									
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	27,043	30,155	34,715	33,076			
	決算額			千円	26,188	29,434	34,319			
		特定・その他財源()	千円							
	一般財源	千円								
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			報酬	66	報償費	351	役務費	23		
			共済費	6601	旅費	92	負担金補助及び交付金	1500		
			賃金	24604	需要費	1052	公課費	30		

Check 事務事業の評価																											
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価																					
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	各園、各校からのカウンセリングの問い合わせや電話による教育相談の状況から不登校や学校教育に対する関心や要望は高い。		A																					
		市の関与は妥当ですか	a	不登校事案に関する個々のケースへの対応、市内の園、学校の教育活動に対する意見要望等への全市をあげての取り組みは必要かつ妥当である。																							
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	不登校事案については短期解決が可能であったり、継続的に取り組みを進めなければならなかったり個々のケースで効果は分かれるが、必ず改善の傾向が認められる。また、学校評議員による学校運営への提言は、望ましい変容を生み出している。		B																					
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	不登校対応も学校評議員による活動も専門的な知識や幅広い見識が求められ、目標達成に向けて時間を要するなど効率性にはさらなる工夫が求められる。		B																					
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	市内の教育条件及び環境の整備と向上に結びつく事業であり、公平性が維持できる。	A																					
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	重要課題である不登校問題にカウンセラーによる専門的な対応がいっそう求められる。また、地域とともにある開かれた学校づくりに学校評議員制度の充実が欠かせない。今後もこれらの事業の重要性を認識して取り組みを進めなければならない。		B A																					
Action 今後の事務事業の方向																											
事務事業の今後の方向性	23年度における取り組みのPRと方向性	校長会や教頭会等で教育相談活動の充実に向けた適応指導と支援活動の広報、周知を徹底する。保護者や地域の有識者による学校評議員制度の意義と効用を広く伝えていく。																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="7">取り組み方向</th> </tr> <tr> <th>新規</th> <th>現状維持</th> <th>拡大・拡充</th> <th>統合</th> <th>縮小</th> <th>廃止</th> <th>休止</th> <th>完了</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="7">カウンセラーによる相談業務を効果的に推進し、不登校にかかる課題の解決をいっそう図る。学校評議員制度を活かした意見聴取及び情報交換等を進め、より開かれた学校づくりと特色ある教育活動が展開できるようにする。</td> </tr> </tbody> </table>					取り組み方向							新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了	カウンセラーによる相談業務を効果的に推進し、不登校にかかる課題の解決をいっそう図る。学校評議員制度を活かした意見聴取及び情報交換等を進め、より開かれた学校づくりと特色ある教育活動が展開できるようにする。					
取り組み方向																											
新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了																				
カウンセラーによる相談業務を効果的に推進し、不登校にかかる課題の解決をいっそう図る。学校評議員制度を活かした意見聴取及び情報交換等を進め、より開かれた学校づくりと特色ある教育活動が展開できるようにする。																											

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 1-3-2

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	外国語指導助手派遣事業							部局等	教育委員会	
								課	学校教育課	
事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025
	八街市総合計画	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策	五の街 学校教育の充実							
		実施計画	教育内容の充実				開始	2010	終了	2012
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方			
	現状値									
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付				実施根拠	学習指導要領		
	負担金	その他	()							
直接の対象者(～に対して)	市内各幼稚園・保育園・小学校・中学校の全幼児・園児・児童・生徒が対象					最終的な受益者	市内各幼稚園・保育園・小学校・中学校の全幼児・園児・児童・生徒			
事業目的(～という状態にするために)	八街市の幼児・園児・児童・生徒の国際理解教育の進展、小学校低学年における異文化理解の進展、小学校高学年における小学校外国語活動の推進、中学校における英語の基礎力の確立									
具体的な事業内容(～を行う)	小中学校へのALTの派遣、各幼稚園、保育園への派遣により、日本人教師等とチームティーチングを行う。									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	1	小中学校へのALTの派遣	人	4	4	4	4		
		2	各保育園への派遣	回	3	3	3	3		
		3	各幼稚園への派遣	回	3	3	3	3		
	事業の効果	1	英語に関する興味関心の高まり							
		2	異文化に対する理解の深まり							
		3	英語の能力の向上							
事業効果に関する外部要因	英語の活用能力は国際化の流れの中で高まっている。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	ALTの授業により英語の質的な向上があり、また子ども達のコミュニケーション能力が高まった。									
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	15,462	16,062	16,062	17,247			
	決算額			千円	15,462	16,062	16,062			
		特定・その他財源()	千円							
	一般財源	千円		15,462	16,062	16,062				
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		委託料 16,062								

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	小学校における外国語活動が必修化されるなど、ALTを活用した英語の授業の必要性は高まっている。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	全幼児・園児・児童・生徒に関わる教育であり、妥当である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	英語での会話力やコミュニケーション能力が高まっている。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	民間会社への業務委託を行っている。契約金額も他市町に比べて低く設定している。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	各学校へ均等に派遣できるように計画しているので受益が偏ることはない。	A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	平成23年度より小学校において外国語(英語)活動が導入され、必修化された。現状の4人のALTでは、週に2回の派遣にとどまる小学校があるなど派遣が不十分である。今後も本事業を継続するとともに拡充していく必要がある。		A A	
Action 今後の事務事業の方向							
23年度における取組のPRと方向性	授業参観日や学校開放日などにALTによる授業を積極的に公開し、外国語(英語)指導の実践を周知していく。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
	ALTの人数を増やすことにより、上記PRなど様々な活動が展開できる可能性がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

[事務事業評価シート]

シート番号 1-3-3

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	教育センター運営費						所管課等	部局等	教育委員会	
								課	学校教育課	
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025		
	施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街								
八街市総合計画	具体的施策	五の街 学校教育の充実								
	実施計画	教育内容の充実			開始	2010	終了	2012		
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠	地方公務員法第39条 教育公務員特例法21条・22条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 八街市教育センターの設置及び管理に関する条例				
	負担金	その他	()							
直接の対象者 (~に対して)	幼稚園・小・中学校教職員					最終的な受益者	園児・児童生徒・保護者			
事業目的 (~という状態にするために)	教職員の指導力及び資質を向上させ、たくましく生きる力を持った園児、児童生徒の育成に努める。									
具体的な事業内容 (~を行う)	学級経営研修会、学年主任研修会、教務主任研修会を実施する。 学校人権教育研修会、教育相談講座、中学校学校群研修会を実施する。 教務主任優校研修視察、八街市教育講演会を実施する。 研究校の指定を行う。									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
D 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	1	研修等実施数	回	36	36	36	21		
		2	講演会開催数	回	1	1	1	1		
		3	研究指定	校	4	4	4	4		
	事業の効果	1	教育講演会参加人数	人	450	600	450	450		
		2								
		3								
事業効果に関する外部要因	教職員に求められる資質の向上と指導力アップ。									
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	研修会及び講演会の実施により教職員の指導方法に工夫や改善が見られるようになり、児童生徒の授業アンケートからわかりやすい授業や興味関心を高められる学習活動に対して肯定的な回答が得られるようになってきている。									
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	1,521	661	566	592			
	決算額			千円	1,295	516	398			
		特定・その他財源()		千円						
	一般財源		千円	1,295	516	398				
22年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報償費	157						
			需要費	241						

Check 事務事業の評価																													
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価																							
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	各園、各校におけるアンケートや保護者等による評価からいっそうの学校改善に対する関心や要望は高い。		A																							
		市の関与は妥当ですか	a	教職員の資質向上と授業力アップについて、個人の研修だけでは目標を達成しにくいところがあり、全市をあげての取り組みは必要かつ妥当である。																									
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	千葉県標準学力テストの結果にわずかずつではあるが向上が見られるとともに、魅力的な学校づくりに教職員の研修が生かされている。		B																							
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	教職員の異動や状況により、研修内容や取組の方法等に柔軟な対応が求められるため、効率性の追求にあたっては慎重にあたる。		B																							
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	いずれの研修会にも学校の実情に応じて1校から最低1名の参加を実現し、その効果は市内の園児、児童生徒に反映されると考えられ、公平性に問題はない。	A																							
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	教育公務員特例法に、「教員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない」とある。教員の資質を高めるためには、継続して研修を実施する必要がある。		B B																							
Action 今後の事務事業の方向																													
事務事業の今後の方向性	23年度における取り組みのPRと方向性	魅力ある授業、学校づくりによって学力のいっそうの向上を図るため、教職員の資質向上をめざし、必要な研修事業を精選しながら、より効果的な教育センターの運営を実現していく。																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">取り組み方向</th> </tr> <tr> <th>新規</th> <th>現状維持</th> <th>拡大・拡充</th> <th>統合</th> <th>縮小</th> <th>廃止</th> <th>休止</th> <th>完了</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="8">学校教育の充実に係る主要な事業であり、今後も継続して発展を図っていく必要がある。</td> </tr> </tbody> </table>					取り組み方向								新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了	学校教育の充実に係る主要な事業であり、今後も継続して発展を図っていく必要がある。						
取り組み方向																													
新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了																						
学校教育の充実に係る主要な事業であり、今後も継続して発展を図っていく必要がある。																													

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

[事務事業評価シート]

シート番号 1-3-4

Plan 事務事業の概要															
事務事業名	教育支援センター管理運営費							部局等	教育委員会						
								課	学校教育課						
事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	所管課等	職・氏名	指導主事・有賀 享		
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街				電話番号	443 - 1446		内線		2363	E-mail		
(八街市総合計画)	実施計画	具体的施策	五の街 学校教育の充実												
		実施計画	教育内容の充実				開始	2010	終了	2012					
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付				実施根拠	八街市教育センターの設置及び管理に関する条例第2条							
		負担金	その他 ()												
直接の対象者 (~に対して)	全児童生徒、全保護者対象							最終的な受益者	全児童生徒、全保護者対象						
事業目的 (~という状態にするために)	学校に登校できなくなった児童生徒の居場所を作り、心を安定させ学校に復帰させる。														
具体的な事業内容 (~を行う)	不登校になった児童生徒の居場所を確保するとともに、学習支援や教育相談活動を行う。														
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目														
D 事務事業の実施															
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)								
	事業の実績	1	適応指導教室来室者	人	14	18	15	18							
		2													
	事業の効果	1	学校復帰生徒	人	7	4	5	6							
事業効果に関する外部要因															
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	八街市は、全国平均と比較して不登校率が高い現状がある。このため不登校の児童生徒の居場所づくりと学校復帰の支援が必要である。そのため、教育支援センターの役割が重要になっている。														
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)								
	(最終) 予算額		千円	5,035	4,816	4,775	5,876								
	決算額		千円	4,943	4,631	4,605									
		特定・その他財源()	千円	955	764	546									
		一般財源	千円	3,988	3,867	4,059									
22年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		報酬費 4232 需用費 162 報償費 43 役務費 159 旅費 9													

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	不登校への対策や未然防止は、最終的に将来の引きこもりを防止することにもなり、市の財政にも寄与するものである。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	将来職に就くことを視野に入れたとき市税の収入増にも貢献できる。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	学校復帰に関しては横ばいであるが、卒業後の進路で登校を実現している。		B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	すでに臨時職員で対応しており、コスト削減に努めている。		B	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	不登校の原因は多様化している。教育支援センターの維持は、全児童生徒・保護者の権利を担保することになる。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	本市の不登校率の改善には、様々なニーズに応える機関が必要である。児童生徒の居場所として、保護者の相談機関としての存在として機能している。また、学校復帰は社会復帰にもつながり、市の財政にも寄与するものである。		B B		
Action 今後の事務事業の方向							
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	教育相談員による家庭訪問を充実させ(1名増員)、教育支援センターの存在と、教育相談(専属カウンセラーによる)を積極的に周知し、不登校生徒の減少に努めたい。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止
事務事業の今後の方向性		各学校を通じて、市内の児童生徒・保護者に教育支援センターの存在と機能を積極的に周知していきたい。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

[事務事業評価シート]

シート番号 1-3-5

Plan 事務事業の概要											
事務事業の概要	事務事業名		育て八街っ子推進事業					部局等		教育委員会	
								課		学校教育課	
								職・氏名		主幹 安川裕樹	
								電話番号		443-1446 内線 2361	
								E-mail		[gakkyo@city.yachimata.chiba.jp]	
	当該事業が該当する個別計画等		基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025	
			施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
			具体的施策	五の街 連携教育の推進							
	(八街市総合計画)		実施計画	教育内容の充実				開始	2010	終了	2012
			'めざそう！ね(値)'	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
実施方法		直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠	八街市立小学校及び中学校管理規則第11条				
		負担金	その他	()							
直接の対象者(～に対して)		幼稚園・小・中学校教職員				最終的な受益者	園児・児童生徒・保護者・地域住民				
事業目的(～という状態にするために)		園児・児童生徒の生活の安定と健全育成をめざして、八街市における連携教育のあり方について研究し、実践する。									
具体的な事業内容(～を行う)		1 学力向上のために授業改善を推進する。 2 継続的な連携指導項目の徹底指導を推進する。 3 学校と家庭、地域社会との連携を強化する。									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目									
D 事務事業の実施											
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	事業の実績	幼小中高連携掲示物等作成		回		1	1	1			
		「幼小中高連携教育の取組」「幼小中高連携アンケート」「幼小中高連携の手引き」作成		回	1	1	1	1			
		児童生徒の交流活動等のために使用する自動車の借り上げ		回	7	5	5	5			
	事業の効果	学校環境の整備及び職員生徒の意識向上									
		事業に関する効果的なまとめ及び次年度に向けての計画作成									
	事業効果に関する外部要因		14年にわたる研究と実践の積み重ねは、貴重な取り組みとして注目されている。								
事業効果の総合分析(達成できたこと)		継続的な取り組みにより、学力の向上の兆しが見られ、不登校児童生徒の出現率の減少傾向が確認できた。また、家庭学習の習慣化など保護者の意識の変容も見られている。									
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		1,145	1,045	18,002	18,426			
	決算額			千円	1,010	890	17,846	0			
		特定・その他財源()		千円							
	一般財源		千円								
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		共済費	3554	需要費	811						
		賃金	13308	使用料及び賃借料	173						

Check 事務事業の評価										
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由					二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	「やちまた教育の日」の反響等から考えて、市内の園や学校で安心して生活し、学ぶことができるように市民のニーズはいっそう高まっている。					A	
		市の関与は妥当ですか	a	市内の園、学校の望ましい連携を推進するために全市をあげての取り組みは必要かつ妥当である。						
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	推進会議の開催や各実践から目標とする連携教育のあり方に近づきつつあるが、各園や各学校間の活動を調整したり、広く市民のニーズに対応した実践を展開したりするために、いっそうの改善が求められる。					B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	PDCAサイクルをもとに目標達成に向けて事業内容の見直しや方策の改善を進め、効率性の向上に取り組んでいく必要がある。					B	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	市内の教育条件及び環境の整備と向上に結びつく事業であり、公平性が維持できる。				A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	園児、児童生徒の基本的な生活習慣の確立と学力向上のために、継続的な連携教育の推進は必要な取り組みであり、育て八街っ子推進事業はその内容の修正や改善を図りながら、いっそうの充実をめざす。					B	B
Action 今後の事務事業の方向										
23年度における取り組みのPRと方向性	23年度は、「着実な継続で、絆を深める八街の連携教育！」を合言葉に以下の2点を重点に取り組みを推進する。 連携教育の原点は、子どもたちの落ち着いた生活にあり、「当たり前のことを当たり前に行える学校づくり」が大切 継続的な取り組みを着実に推進することで、子どもたちのより豊かな人間関係をつなぐ絆と学校間の結びつきの強化									
事務事業の今後の方向性	取り組み方向									
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了		
事務事業の今後の方向性	連携教育の推進は、八街市の教育施策において柱となるものである。14年の取り組みを経て、多くの成果をあげてきた。一方で、社会情勢や家庭における養育環境等の変化から新たな課題もあらわれてきている。それらの課題解決に積極的な対応を進めながら、市内の園、学校で園児、児童生徒が安心して生活し、学ぶことができるようにしていかなければならない。									

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 1-3-6

Plan 事務事業の概要											
事務事業の概要	事務事業名 学校司書・ICT支援事業						部局等 教育委員会		課 学校教育課		
	当該事業が該当する個別計画等 基本構想 ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた 開始年度 2005 終了年度 2025 施策の大綱 五の街 めざします！心の豊かさを感じる街 具体的施策 五の街 学校教育の充実						職・氏名 指導主事・中山 昌洋		電話番号 443-1446 内線 2363		
							E-mail				
	(八街市総合計画) 実施計画 教育内容の充実 開始 2010 終了 2012						「めざそう！ね(値)」 指標 指標の内容 めざそう値(目標設定)の考え方 現状値				
	実施方法 直接実施 業務委託 補助金交付 負担金 その他 ()						実施根拠 千葉県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業				
	直接の対象者(～に対して) 市内小学校・中学校の全児童・生徒が対象						最終的な受益者 市内各小学校・中学校の児童・生徒				
	事業目的(～という状態にするために) 八街市の児童・生徒を本に親しませ、文章の読み取りの力を伸ばす。また、コンピューターを使う機会を充実させ、コンピューター活用能力を伸ばす。										
	具体的な事業内容(～を行う) 図書館司書により、図書室の整備、児童・生徒への本の紹介、校内での読書の呼びかけを行う。ICT支援員により、コンピューターを活用する授業での個別支援を行う。										
	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等						該当項目				
	D0 事務事業の実施										
実績・成果	区分			単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	1	学校図書館司書配置	人		6	6	6			
		2	ICT支援員配置	人		5	6	6			
		3									
	事業の効果	1	読書への関心の高まり								
		2	コンピューター活用技能の向上								
		3									
	事業効果に関する外部要因			言語力は新学習指導要領でも重要視されている力。社会的にICTに関するリテラシーの向上が期待されている。							
	事業効果の総合分析(達成できたこと)			学校の図書室が整備され、児童・生徒の読書への関心が高まった。コンピューターの活用能力や調べ学習を始めとした情報活用能力が向上した。							
	事業コスト	区分			単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)		
(最終)予算額			千円		7,542	22,972	23,380				
決算額		特定・その他財源()			千円		6,182	15,769			
		一般財源			千円		6,182	15,769			
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			共済費 3021 賃金12748								

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	コンピューターは日常生活に不可欠なものになってきている。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育として扱う内容であり、市の関与が必要である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	視聴覚教材を使った授業に生かされている。また、読書への関心が高まっている。		B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	整備が進むことにより、より効率性の高い授業が行われる可能性が高い。		B	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	全児童・生徒が対象であり、受益は偏らない。	A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	情報活用能力を高めていくために必要。読書への関心を高めるためには、継続していくことが必要。		B A	
Action 今後の事務事業の方向							
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	授業参観日や学校開放日などにICT支援員との授業を積極的に公開し、コンピューターを活用した授業の実践を周知していく。読書の記録等を教室の掲示物にし、保護者に周知していく。					
	取り組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
緊急雇用の予算措置が無くなるため、今年度で終了							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

[事務事業評価シート]

シート番号 2-1-1

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	小学校施設維持管理事業						部局等	教育委員会		
							課	庶務課		
所管課等							職・氏名	主査 川名弘晃		
							電話番号	443-1442	内線	2355
						E-mail	shomu@city.yachimata.lg.jp			
事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた		開始年度	2005	終了年	2025		
	八街市総合計画	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実 - - - 学校教育の充実							
		実施計画	小中学校施設管理事業	開始	2010	終了	2012			
	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容		めざそう値(目標設定)の考え方			現状値		
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠					
	負担金	その他	()							
直接の対象者(～に対して)	小学校					最終的な受益者	小学生・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な学校生活を過ごせるようにするため。									
具体的な事業内容(～を行う)	・学校施設の修繕、樹木の伐採・除草、簡易専用水道管理状況検査、浄化槽法定検査等の実施 ・校舎警備、浄化槽維持管理、貯水槽維持管理、電気工作物保守点検、給食用エレベーター・リフトの保守点検、プール循環浄化濾過装置保守点検、樹木害虫駆除業務等の業務委託、消火器・AEDの賃借 ・学校管理用備品の購入									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	1	学校施設の保守管理業務委託契約数	件	23	26	21	21		
		2	学校施設の修繕契約数	件	56	71	89	70		
		3	各種検査等	件	2	2	3	3		
		4	学校管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	13	12	8	10		
	事業の効果	1	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	6,588	6,758	6,454	6,150		
		2	業務委託、検査、調整等による適正な維持管理の実施	千円	17,241	16,931	17,101	21,634		
		3	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	4,405	5,020	3,877	4,787		
	事業効果に関する外部要因	施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。								
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に務めている。物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入している。								
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	29,220	28,832	28,871	32,571			
	決算額	特定・その他財源()	千円	29,186	28,234	27,433	0			
		一般財源	千円	29,186	28,234	27,433				
	22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費(消耗品、修繕) 7,143	使用料及び賃借料 841						
		役務費(手数料) 1,380	備品購入費 3,189							
		委託料 14,880								

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の経年劣化により、学校からの要望は多く、学校施設の適正な維持管理のため必要性がある。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が実施する事業である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。		B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費を削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図っている。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。		A A		
Action 今後の事務事業の方向							
23年度における取組のPRと方向性	技術の進歩にあわせ、ランニングコストの費用を削減できる新製品の導入などを行い、経費の節減を図る。 (例：照明器具をLEDなどの省エネ型に替えて交換する。又は改修工事の際、全面的な更新をするなど。) 消火器の賃借については、平成22年度から5年間の債務負担行為とし、点検の効率化及び経費の削減を図った。						
事務事業の今後の方向性	取組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
	児童の安心安全な学校生活を確保するため、学校施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいりたい。 平成23年度から、特殊建築物定期報告調査業務(設備のみ)を委託したことにより、建築物の現状を把握し易くなったため、より適正な維持管理が図れるものと思われる。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

[事務事業評価シート]

シート番号 2-1-2

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	小学校施設整備事業							部局等	教育委員会	
								課	庶務課	
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年	2025		
	施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街								
八街市総合計画	具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実 - - - 学校教育の充実								
	実施計画	小中学校施設管理事業			開始	2010	終了	2012		
	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠					
	負担金	その他	()							
直接の対象者(～に対して)	小学校施設整備事業					最終的な受益者	小学生・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	施設設備等の改修工事を行い、良好な学校生活を過ごせるようにするため。									
具体的な事業内容(～を行う)	・学校施設の改修、設備の交換等									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	18	15	16	15		
		2	業務委託契約数	件		3				
	事業の効果	施設設備の改修工事の実施		千円	27,312	11,500	15,894	12,500		
		耐震診断業務		千円		14,265				
	事業効果に関する外部要因	施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。								
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	平成21年度からの工事請負費の繰越明許分7,000千円及び当初予算9,000千円、計16,000千円で改修工事等を実施した。繰越分7,000千円は、経済対策臨時交付金事業として有効に活用した。								
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	27,431	43,048	16,000	12,500			
	決算額			千円	27,312	25,765	15,894	0		
		特定・その他財源()	千円			7,000				
	一般財源		千円		25,765	8,894				
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			工事請負費	15,894						

Check 事務事業の評価								
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、学校からの改修要望等は多くなっている。学校施設の適正な維持管理のため必要性である。		A		
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。				
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、おおむね要望に対応することができた。		B		
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に務めており、改善の余地はあまり無い。		A		
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。		A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		A	A	
Action 今後の事務事業の方向								
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	平成23年度については、予算額12,500千円の中で、緊急性・危険性・必要性を考慮して実施したい。						
		取り組み方向						
		新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
	施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施してまいりたい。耐震診断の結果、補強が必要な学校があることから、継続的に耐震補強事業に取り組む必要があり、新增築事業と併せて、大規模な改修工事を含めて実施し、学習環境の整備を図る必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

[事務事業評価シート]

シート番号

2-2-1

Plan 事務事業の概要										
事務事業の概要	事務事業名		小学校教育振興費					部局等		教育委員会
								課		学校教育課
								職・氏名		指導主事・森澤仁志
								電話番号		443-1446 内線 2362
								E-mail		
	当該事業が該当する個別計画等		基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025
	(八街市総合計画)		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						
			具体的施策	五の町 学校教育の充実						
			実施計画				開始	2010	終了	2012
			「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		
実施方法		直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠				
		負担金	その他	()						
直接の対象者(～に対して)		全小学校児童				最終的な受益者	全小学校児童			
事業目的(～という状態にするために)		地域の教育力を取り入れ児童の興味関心をたかめるとともに、新しい学習内容に適応した教材、図書を供与するため。								
具体的な事業内容(～を行う)		ゲストティーチャーの招聘を行う。 図書の購入を行う。 各種大会出場のためのバスの借り上げを行う。 教育用コンピュータの保守業務を行う。								
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目								
D 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績		ゲストティーチャー活用事業 小学校	回	142	145	112	144		
			備品購入							
	事業の効果		児童の興味・関心の向上							
			専門的な知識・技能の伝達							
			備品購入							
	事業効果に関する外部要因		社会的に体験的活動の充実が求められているとともに地域の教育力向上が求められている。また、学習指導要領の改訂に伴い、新しい学習内容に即した図書や教材が求められる。							
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		学校教育の中で、外部人材を活用したり、学校図書館図書の充実を図るなど、各校の実情に即した教育活動の工夫改善を図ることができた。							
	事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)		
		(最終)予算額		千円	42,878	22,380	28,968	27,881		
決算額		千円	41,933	21,175	28,104	0				
		特定・その他財源()	千円							
		一般財源	千円	41,933	21,175	28,104				
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費 731 委託料 2769 使用料及び賃借料 1880 需用費 11528 備品購入費 8897 役務費 2223 負担金補助及び交付金 76								

Check 事務事業の評価									
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由				二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校教育が地域との連携を行う上で、地域人材を積極的に授業に取り入れていくことは重要なことと考える。また、新しい学習内容に即した図書教材の購入は児童の国語力を育成する上で重要と考える。				A	
		市の関与は妥当ですか	a	児童の体験的活動及び読書活動等は市内すべての小学校に求められており市の関与は妥当である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	児童の体験的活動において専門的な知識・技能を取り入れることにより児童が意欲的に学習に取り組むと考える。また、図書の購入に伴い国語力の向上が期待できる。				A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	市内各校が教育活動を工夫改善するために、各校の実情に即した執行をしている。				A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	市内各学校において取り組む事業であり公平性が保たれると考える。			A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	各小学校の教育活動を工夫・改善し児童の学習への意欲を高めるために重要である。特に児童の読む力の育成は急務であり事業の継続が求められる。				A	A
Action 今後の事務事業の方向									
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	新学習指導要領の柱として「体験活動」「国語力の向上」は掲げられており、本市においても児童に求められる力である。また、各校の蔵書率向上の意味からも本事業の充実が必要である。							
	取り組み方向								
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了	
ゲストティーチャーの活用方法や読書活動の取り入れなどさらに各校の工夫改善した取り組みが求められる。									

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を問うたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号

2-2-2

Plan 事務事業の概要										
事務事業の概要	事務事業名		小学校教材備品等購入費					部局等	教育委員会	
								課	学校教育課	
								職・氏名	主査 補 関 貴美代	
								電話番号		内線 2365
								E-mail		
	当該事業が該当する個別計画等		基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025
			施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						
			具体的施策	学校教育の充実						
	八街市総合計画		実施計画	学校設備・備品の充実			開始	2010	終了	2012
			「めざそう！ね(備)」指標	指標の内容		めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
実施方法		直接実施	業務委託	補助金交付			実施根拠			
		負担金	その他	()						
直接の対象者(～に対して)		市立小学校・児童					最終的な受益者	児童		
事業目的(～という状態にするために)		小学校に対し、教科指導上必要な備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。								
具体的な事業内容(～を行う)		市立小学校全校に対して、教材備品を購入し、整備する。								
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目								
Do 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	1	教材備品等購入費	千円	4,450	4,317	4,200	4,800		
	事業の効果	1	教材備品等購入	校	9	9	9	9		
	事業効果に関する外部要因		新学習指導要領の実施により、対応する教材の確保が必要である。							
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		各校が教科指導上必要とする教材備品を購入、整備した。							
	事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)		
(最終)予算額		千円	4,450	4,317	4,200	4,800				
決算額			千円	4,447	4,314	4,195	0			
		特定・その他財源()	千円							
		一般財源	千円	4,447	4,314	4,195				
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		備品購入費 4,195								

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	新学習指導要領による指導内容の充実、学力向上等ニーズや関心は高い。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担という観点から妥当である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	限られた予算配分の中で、各学校から希望された備品を整備した。		B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	市内全小学校に対し、整備を実施しており公平である。	A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	教科指導に必要な備品を各学校の現状にあわせて整備することができた。		A A	
Action 今後の事務事業の方向							
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	現有備品の確認や点検を行い、教科指導に必要な備品を選定し、整備を行う。その際、新学習指導要領に沿った整備とする。					
	取り組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
		新学習指導要領の実施に伴い、新たに必要となる教材備品や不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し、整備する。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

[事務事業評価シート]

シート番号

2-2-3

Plan 事務事業の概要												
事務事業の概要	事務事業名		小学校理科教育振興用備品購入費					部局等		教育委員会		
								課		学校教育課		
								職・氏名		主査 補 関 貴美代		
								電話番号		内線 2365		
								E-mail				
	当該事業が該当する個別計画等		基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025		
	(八街市総合計画)		施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街								
			具体的施策	学校教育の充実								
			実施計画	学校設備・備品の充実			開始	2010	終了	2012		
			「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
実施方法		直接実施	業務委託	補助金交付			実施根拠					
		負担金	その他	()								
直接の対象者(～に対して)		市立小中学校・児童					最終的な受益者		児童			
事業目的(～という状態にするために)		小学校新学習指導要領に伴う、理科教育設備を含めた理科備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。										
具体的な事業内容(～を行う)		市立小学校全校に対して、理科備品を購入し、整備する。										
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目										
D0 事務事業の実施												
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)					
	事業の実績	1	理科備品購入費	千円	1,578	14,565	1,700	1,200				
	事業の効果	1	理科備品現有率	%	38	47.1	47.4	50.4				
事業効果に関する外部要因		新学習要領の実施により、理科教育設備整備費等補助金を活用し、対応する教材の確保が必要である。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		理科教育設備整備費等補助金を活用することにより、新学習指導要領の主旨に沿った理科の授業に必要な教材備品の整備ができた。										
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	1,578	14,565	1,700	1,200					
	決算額		千円	1,578	14,565	1,699	0					
		特定・その他財源()	千円	698	7,172	429						
		一般財源	千円	880	7,393	1,270						
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		備品購入費 1,699										

Check 事務事業の評価										
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由					二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	新学習指導要領による指導内容の充実、理科教育の重要性、学力向上等、ニーズや関心は高い。					A	
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担という観点から妥当である。						
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	補助金を活用することにより、理科教材備品を適正に整備できた。					B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	全小学校の理科備品の現有率の平均化を図るとともに、現有率の引き上げを図る。					A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり	市内小学校に対し、整備を実施しており、公平である。				A	
		受益者負担なし								
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	補助金や理科備品台帳を活用することにより、理科教材備品が適正に整備できた。					A	A	
Action 今後の事務事業の方向										
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	新学習指導要領の実施にあたり、理科教育設備整備費等補助金を活用し、理科備品を整備する。理科整備台帳を整備し、現有備品についても見直しを行う。								
	取り組み方向									
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了		
補助金等を有効活用し、計画的な理科備品の整備を行う。学力向上や理科教育の関心の高まりにより、適正な予算配当や教材備品の選定が必要である。										

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

[事務事業評価シート]

シート番号 2-2-4

Plan 事務事業の概要											
事務事業の概要	事務事業名	小学校児童援助奨励費						部局等	教育委員会		
								課	学校教育課		
								職・氏名	副主査 佐藤 智子		
								電話番号	443-1446	内線	2367
								E-mail			
	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
		具体的施策	学校教育の充実								
	(八街市総合計画)	実施計画					開始	2010	終了	2012	
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠	学校教育法第19条					
	負担金	その他	()								
直接の対象者(～に対して)	援助対象保護者				最終的な受益者	児童・生徒・保護者					
事業目的(～という状態にするために)	保護者の経済的理由により就学が困難と認められる児童・生徒に、必要な教育を受けさせるため。										
具体的な事業内容(～を行う)	学用品・通学用品・校外活動費・給食費等の援助を行う。										
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
D 事務事業の実施											
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	事業の実績	準要保護児童認定数	人	262	286	290					
	事業の効果	準要保護児童認定率	%	4.7	5.4	7.2					
事業効果に関する外部要因	保護者のリストラや離婚件数の増加、及び不安定な雇用形態。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	経済的理由による教育の格差をなくし、円滑な学校運営にも寄与している。										
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	18,212	19,947	20,317	18,845				
	決算額		千円	18,212	19,838	19,819	0				
		特定・その他財源()	千円	667	763	781					
		一般財源	千円	17,545	19,075	19,038					
	22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)										
		準要保護児童就学援助費	17,727								
		特別支援教育就学奨励費	2,092								

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	昨今の厳しい社会情勢の中、リストラや離婚等により安定した収入が得られない世帯が増加しており、その影響が少なからず子どもにも及ぶため必要である。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	法律に基づいているため妥当である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	教育の機会均等の見地から効果は得られている。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	扶助費の性質上、コスト低減の余地はない。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	c	受益者負担あり 受益者負担なし	全児童・生徒の保護者が対象ではあるが、認定基準の公平性について、検討の必要性があると思われる。	C	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	b	学校教育法及び教育の機会均等の見地から事業は必要不可欠である。ただし、事業内容(認定の基準)等については、見直しが必要と思われる。		B A	
Action 今後の事務事業の方向							
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	保護者の経済的理由による教育の格差を防止するため、学校と連携し、制度のPRとともに児童・生徒の保護に努める。また、事業の公平性を確保するため、内容の見直しを含めた要綱の制定に取り組んでいく。					
	取り組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
教育の機会均等に資するため、継続的に実施する必要があるが、公平性を重視した制度改革を行うことが必要である。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 2-3-1

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	笹引小学校校舎改築事業							部局等	教育委員会		
								課	庶務課		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025		
	施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街									
八街市総合計画	具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実 - - - 学校教育の充実									
	実施計画				開始	2010	終了	2012			
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
	直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律					
負担金	その他		()								
直接の対象者(～に対して)	小学校				最終的な受益者	小学生・教職員					
事業目的(～という状態にするために)	老朽化したプレハブ校舎の改築事業を行い、良好な学校生活を過ごせるようにするため。										
具体的な事業内容(～を行う)	・プレハブ校舎の解体を行う。3棟(4教室分、便所)(370㎡) ・新校舎を建設する。(4教室、便所、教材室、昇降口)・・・593㎡										
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
D 事務事業の実施											
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	事業の実績	1	申請等の数	件			3				
		2	業務委託契約数	件		3	1				
		3	工事請負契約数	件			5				
		4									
	事業の効果	1	建築確認申請、完了検査	千円			229				
		2	調査、設計業務	千円		7,197	2,730				
		3	新校舎の建設工事(593㎡)、プレハブ校舎解体工事、その他工事	千円			94,821				
		4									
	事業効果に関する外部要因	プレハブ校舎の老朽化(危険建物)のため、校舎を改築する。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	耐力度調査の結果、プレハブ校舎2棟が危険校舎となったため、これを解体し、新校舎の建設(鉄骨造延べ床面593㎡)を実施。国の緊急経済対策の交付金を活用し、有利な補助金を受けて緊急に実施することとした。										
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		0	125,925	127,387				
	決算額	特定・その他財源()	千円		0	7,197	97,780				
		一般財源	千円			7,197	5,290				
	22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		役務費(手数料)	229	委託料		2,730	工事請負費		94,821	計

Check 事務事業の評価								
事務事業の評価	区分	一次評価	判定理由				二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	プレハブ仮設校舎は一時的な使用目的で建設されたが、老朽化が著しく危険校舎として改築の必要が生じ、児童の安全を確保する上から、早急の実施すべきものである。				A
		市の関与は妥当ですか	a	市が実施する事業である。				
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	普通教室4教室を新設。昇降口、教材室、便所(屋外用も設置)を設置。プレハブ教室が解消された。				A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	平成22年11月に予定どおり完成、効率的に事業を実施することができた。				A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり	公立学校の施設整備であり、公平性に問題はない。			A
				受益者負担なし				
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	平成21年度事業として9月補正で予算計上したため、調査・設計を除き工事は平成22年度へ全額繰越し実施した。国の制度を有効に活用し、市の負担軽減に配慮した事業である。				A	A
Action 今後の事務事業の方向								
	23年度における取組のPRと方向性							
事務事業の今後の方向性		取り組み方向						
		新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
		平成21年度からの繰越事業で、平成22年度完了。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号

2-3-2

Plan 事務事業の概要

事務事業名	八街東小学校校舎改築事業					部局等	教育委員会		
						課	庶務課		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひとまち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025	
	施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街							
八街市総合計画	具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実 - - - 学校教育の充実							
	実施計画				開始	2010	終了	2012	
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方			現状値
	直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律			
負担金	その他	()		最終的な受益者		小学生・教職員			
直接の対象者(～に対して)	小学校								
事業目的(～という状態にするために)	老朽化したプレハブ校舎の改築事業を行い、良好な学校生活を過ごせるようにするため。								
具体的な事業内容(～を行う)	・プレハブ校舎の解体を行う。4棟(6教室分、便所)(539㎡) ・新校舎を建設する。(6教室、便所、倉庫、昇降口)・・・847㎡								
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								

D 事務事業の実施

実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)
	事業の実績	1	申請等の数	件		1	4
2		業務委託契約数	件		3	1	
3		賃貸者契約数	件			1	
4		工事請負契約数	件			5	
事業の効果	1	建築確認申請、完了検査	千円		120	234	
	2	調査、設計業務	千円		9,505	3,150	
	3	仮設校舎賃借	千円			24,181	
	4	新校舎の建設工事(847㎡)、プレハブ校舎解体工事、その他工事	千円			116,610	
事業効果に関する外部要因	プレハブ校舎の老朽化(危険建物)のため、校舎を改築する。						
事業効果の総合分析(達成できたこと)	耐力度調査の結果、プレハブ校舎3棟が危険校舎となったため、これを解体し、新校舎の建設(鉄骨造延べ床面847㎡)を実施。国の緊急経済対策の交付金を活用し、有利な補助金を受けて緊急に実施することとした。						
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)
	(最終)予算額		千円		0	215,244	161,262
	決算額		千円		0	9,625	144,175
		特定:その他財源()	千円			0	139,055
		一般財源	千円			9,625	5,120
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		役務費(手数料)	234	工事請負費	116,610		
		委託料	3,150				
		使用料及び賃借料	24,181		計 144,175		

Check 事務事業の評価										
事務事業の評価	区分	一次評価	判定理由					二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	ブレハブ仮設校舎は一時的な使用目的で建設されたが、老朽化が著しく危険校舎として改築の必要が生じ、子供の安全を確保する上から、早急の実施すべきものである。					A	
		市の関与は妥当ですか	a	市が実施する事業である。						
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	普通教室4教室、特別教室2教室を新設。昇降口、教材室、倉庫、便所を設置。ブレハブ教室6室が解消された。					A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	平成22年11月に予定どおり完成、効率的に事業を実施することができた。					A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり	公立学校の施設整備であり、公平性に問題はない。				A	
		受益者負担なし								
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	平成21年度事業として9月補正で予算計上したため、調査・設計を除き工事は平成22年度へ全額繰越し実施した。国の制度を有効に活用し、市の負担軽減に配慮した事業である。					A	A	
Action 今後の事務事業の方向										
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性									
	取り組み方向									
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了		
事務事業の今後の方向性		平成21年度からの繰越事業で、平成22年度完了。								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

〔事務事業評価シート〕

シート番号

2-3-3

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	実住小学校屋内運動場耐震補強事業							部局等	教育委員会		
								課	庶務課		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025			
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街									
八街市総合計画	具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実 - - - 学校教育の充実									
	実施計画				開始	2010	終了	2012			
	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値			
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律					
	負担金	その他	()								
直接の対象者(～に対して)	小学校				最終的な受益者	小学生・教職員					
事業目的(～という状態にするために)	平成21年度に実施した耐震診断の結果を受け、屋内運動場の耐震補強工事を実施し、耐震性能を確保する。										
具体的な事業内容(～を行う)	耐震性が劣る屋内運動場の補強工事を実施し、安全を担保する。併せて照明施設の改修や床の張替えなどの大規模改造を実施し、環境を整備する。										
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
D 事務事業の実施											
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	事業の実績	1	申請等の数	件			2				
		2	業務委託契約数	件		1	1				
		3	工事請負契約数				1				
		4									
	事業の効果	1	建築確認申請、完了検査	千円			70				
		2	調査、設計業務	千円		6,930	7,245				
		3	屋内運動場の大規模改造工事(1350㎡)	千円			176,542				
		4									
	事業効果に関する外部要因	耐震診断の結果、屋内運動場の耐震性能が劣る事が判明した。耐震指数が低いことから直ちに屋内運動場の耐震化を図ることとした。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	耐震補強のほか、照明設備の全面改修、床の全面貼り替え、会議室の設置・空調設備の設置、便所の様式化等大規模改造工事を実施。国の緊急経済対策の交付金を活用し、有利な補助金を受けて緊急に実施することとした。										
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		0	6,930	250,046				
	決算額			千円		0	0				
		特定・その他財源()		千円			0	0			
		一般財源		千円			0	0			
	22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		役務費(手数料)		70						
		委託料		14,175							
		工事請負費		176,542			計 190,787				

Check 事務事業の評価											
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由					二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	大地震発生時の耐震性を高める必要があり、耐震補強については、児童の安全を確保する上から、早急を実施すべきものである。					A		
		市の関与は妥当ですか	a	市が実施する事業である。							
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	平成21年度事業として12月補正・3月補正で予算計上したため、平成21年度は調査・設計等を行った。設計業務は平成22年度へ繰越し、工事は平成23年2月に完了した。耐震が確保され、屋内運動場がリニューアルされた。					A		
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	耐震補強設計期間が短期間であり年度内に完了しなかったことから、22年度に繰り越した。工事期間が非常に厳しかったが、を効率的に実施することができた。					A		
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり	公立学校の施設整備であり、公平性に問題はない。				受益者負担なし	A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	設計業務については短期間であったため完了できず、22年度に委託期間を延長したが止むを得ないことと判断される。設計完了後、直ちに工事に着手した。本年度実施した事業の中では、最も工期的に厳しかったが完了できた。					A	A	
Action 今後の事務事業の方向											
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性										
	取り組み方向										
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了			
平成21年度からの繰越事業で、平成22年度完了。											

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

〔事務事業評価シート〕

シート番号 2-3-4

Plan 事務事業の概要									
事務事業名	朝陽小学校改築事業						部局等	教育委員会	
							課	庶務課	
事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街						
	具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実 - - - 学校教育の充実							
	八街市総合計画	実施計画			開始	2010	終了	2012	
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方	現状値		
	直接実施	業務委託	補助金交付			実施根拠	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律		
負担金	その他	()							
直接の対象者(～に対して)	小学校						最終的な受益者	小学生・教職員	
事業目的(～という状態にするために)	老朽化した鉄骨校舎の改築事業を行い、併せてプレハブ校舎の解消を図る。また、老朽化と狭隘の屋内運動場の改築を実施し、児童の学校生活環境の向上を図る。								
具体的な事業内容(～を行う)	<ul style="list-style-type: none"> 校舎、及び屋内運動場の改築工事を実施する。 プレハブ校舎の解体を行う。(14教室、便所) 付帯設備の改修(浄化槽、受水槽の更新等) 								
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	プレハブ教室数が多く、校舎も何棟にも分かれており、全校集会等に移動時間を要し、非常に不便であるとの声があがっている。 プレハブ教室の解消要望も多い。							
D 事務事業の実施									
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)		
	事業の実績	1	業務委託契約数	件	1			1	
		2		件					
		3		件					
		4		件					
	事業の効果	1	耐力度調査業務	千円	473			3,140	
		2		千円					
		3		千円					
		4		千円					
	事業効果に関する外部要因	プレハブ校舎の老朽化(危険建物)のため、校舎を改築する。							
事業効果の総合分析(達成できたこと)	平成19年度 - 用地測量、平成20年度 - 基本計画 - を実施し建設に向けて準備を進めてきた。2年程予算なしで中断していたが、本年度から来年度にかけて調査・設計を行い、平成25～26年度の建設を目指す。								
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)		
	(最終)予算額		千円	473	0	0	3,140		
	決算額			千円	473	0	0		
		特定・その他財源()	千円						
	一般財源		千円						
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)									

Check 事務事業の評価								
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	耐震診断の結果、昭和43年度建築の鉄骨校舎は耐震性が低く、改築すべきであるとの判断であり、併せてプレハブ校舎も経年劣化があり、環境もあまりよくない。屋内運動場も狭く、劣化があるので、校舎と屋内運動場を合わせて改築する要望が高い。		A		
		市の関与は妥当ですか	a	市が実施する事業である。学校の中に地域コミュニティの場としての施設整備(補助あり)を取り入れてまいりたい。				
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	危険校舎及び危険屋内運動場の解消、学習環境の向上を図れるものと思われる。		B		
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	事業の実施に向けて、工事に着手できるよう計画的にかつ繊細な調査・設計を進めていく。		A		
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	公立学校の施設整備であり、公平性に問題はない。		A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	平成25年度国庫負担・補助事業として実施予定。児童数の将来推計、地域活動の場としての学校を考慮して事業を進めていく。国の制度を有効に活用して、市の負担軽減に配慮したい。		A	A		
Action 今後の事務事業の方向								
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	屋内運動場の改築にあたり、危険建物として補助対象とするため耐力度調査を実施し、来年度の実施設計に備える。						
	取り組み方向							
		新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
平成22年度に屋内運動場の耐力度調査を実施し、危険(改築補助扱い)の確認をする。平成24年度は、同様にプレハブ校舎の耐力度調査を実施。地質調査及び実施設計業務を実施する。平成25～26年度で工事を実施する予定である。								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

[事務事業評価シート]

シート番号

3-1-1

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	中学校施設維持管理事業							部局等	教育委員会	
								課	庶務課	
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年	2025		
	施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街								
八街市総合計画	具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実 - - - 学校教育の充実								
	実施計画	小中学校施設管理事業			開始	2010	終了	2012		
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付							
	負担金	その他	()	実施根拠						
直接の対象者 (~ に対して)	中学校						最終的な受益者	中学生・教職員		
事業目的 (~ という状態にするために)	施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な学校生活を過ごせるようにするため。									
具体的な事業内容 (~ を行う)	・学校施設の修繕、樹木の伐採・除草、簡易専用水道管理状況検査、浄化槽法定検査等の実施 ・校舎警備、浄化槽維持管理、貯水槽維持管理、電気工作物保守点検、給食用エレベーター・リフトの保守点検、プール循環浄化濾過装置保守点検、樹木害虫駆除業務等の業務委託、消火器・AEDの賃借 ・学校管理用備品の購入									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施										
実績・成果	区分			単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)		
	事業の実績	1	学校施設の保守管理業務委託契約数	件	16	14	18	15		
		2	学校施設の修繕契約数	件	42	38	58	50		
		3	各種検査等	件	2	2	2	2		
		4	学校管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	5	20	8	8		
	事業の効果	1	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	5,713	5,291	5,324	5,000		
		2	業務委託、検査、調整等による適正な維持管理の実施	千円	8,033	8,108	8,262	10,496		
		3	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	2,765	4,500	4,398	2,665		
	事業効果に関する外部要因	施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。(特に、八街中、八街南中)								
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に務めている。物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入している。								
事業コスト	区分			単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)		
	(最終)予算額			千円	17,800	18,085	18,046	18,161		
	決算額				千円	16,511	17,896	17,984		
		特定・その他財源()			千円					
	一般財源			千円	16,511	17,896	17,984			
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費(消耗品、修繕) 6,584	使用料及び賃借料 449						
			役務費(手数料・保険料) 366	備品購入費 3,137						
			委託料 7,447							

Check 事務事業の評価										
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由				二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校施設の経年劣化などにより学校からの要望は多くなっている。				A		
		市の関与は妥当ですか	a	市が行う事業である。						
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。				B		
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費を削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図るようにしている。				A		
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。				A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。				A	B	
Action 今後の事務事業の方向										
23年度における取組のPRと方向性	技術の進歩にあわせ、ランニングコストの費用を削減できる新製品の導入などを行い、経費の節減を図る。 (例:照明器具をLEDなどの省エネ型に替えて交換する。又は改修工事の際、全面的な更新をするなど。) 消火器の賃借については、平成22年度から5年間の債務負担行為とし、点検の効率化及び経費の削減を図った。									
事務事業の今後の方向性	取り組み方向									
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了		
事務事業の今後の方向性	児童の安心安全な学校生活を確保するため、学校施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいりたい。 平成23年度から、特殊建築物定期報告調査業務(設備のみ)を委託したことにより、建築物の現状を把握し易くなったため、より適正な維持管理が図れるものと思われる。									

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 3-1-2

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	中学校施設整備事業						部局等	教育委員会		
								課	庶務課	
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025		
	施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街								
(八街市総合計画)	具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実 - - - 学校教育の充実								
	実施計画	小中学校施設管理事業			開始	2010	終了	2012		
	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠					
	負担金	その他	()							
直接の対象者(～に対して)	中学校					最終的な受益者	中学生・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	施設設備等の改修工事を行い、良好な学校生活を過ごせるようにするため。									
具体的な事業内容(～を行う)	・学校施設の改修、設備の交換等									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
D 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	7	11	12	10		
	事業の効果	施設設備の改修工事の実施		千円	11,876	21,037	9,109	7,000		
	事業効果に関する外部要因	施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。								
事業効果の総合分析(達成できたこと)	危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから改修、整備を行い良好な学校環境の整備に務めている。平成21年度からの繰越明許分4,655千円+当初配当分4,500千円、流用118千円、計9,273千円のなかで、施設整備を実施した。八街中学校の改修、武道場建設の本体以外の各種工事を中心に必要な工事を施工した。									
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	11,886	25,702	9,273	7,000			
	決算額			千円	11,876	21,037	9,109	0		
		特定・その他財源()	千円		12,547	4,498				
	一般財源	千円		11,876	8,490	4,611				
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			工事請負費	9,109						

Check 事務事業の評価										
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由					二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、学校からの改修要望等は多くなっている。学校施設の適正な維持管理のため必要性である。					A	
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。						
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、おおむね要望に対応することができた。					B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に務めており、改善の余地はあまり無い。					A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。				A	
		受益者負担なし								
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。					A	B	
Action 今後の事務事業の方向										
	23年度における取組のPRと方向性	平成23年度については、予算額12,500千円の中で、緊急性・危険性・必要性を考慮して実施したい。								
事務事業の今後の方向性	取り組み方向									
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了		
	施設設備の経年劣化進んでいることから、引き続き計画的な改修を実施してまいりたい。									

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号

3-2-1

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	中学校教育振興費							部局等	教育委員会		
								課	学校教育課		
事務事業の概要								職・氏名	指導主事・森澤仁志		
								電話番号	443-1446	内線	2362
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025		
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街									
(八街市総合計画)	具体的施策	五の町 学校教育の充実									
	実施計画					開始	2010	終了	2012		
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
実施方法	直接実施	業務委託		補助金交付		実施根拠					
	負担金	その他		()							
直接の対象者(～に対して)	全中学校生徒					最終的な受益者	全中学校生徒				
事業目的(～という状態にするために)	地域の教育力を取り入れ生徒の興味関心をたかめるとともに、新しい学習内容に適応した教材、図書を供与するため。										
具体的な事業内容(～を行う)	ゲストティーチャーの招聘を行う。 図書の購入を行う。 各種大会出場のためのバスの借り上げを行う。 教育用コンピュータの保守業務を行う。										
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
D 事務事業の実施											
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	事業の実績	ゲストティーチャー活用事業 中学校		回	24	26	26	60			
	事業の効果	児童の興味・関心の向上									
		専門的な知識・技能の伝達									
		備品購入									
	事業効果に関する外部要因		社会的に体験的活動の充実が求められているとともに地域の教育力向上が求められている。また、学習指導要領の改訂に伴い、新しい学習内容に即した図書や教材が求められる。								
事業効果の総合分析(達成できたこと)		学校教育の中で、外部人材を活用したり、学校図書館図書の充実を図るなど、各校の実情に即した教育活動の工夫改善を図ることができた。									
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	17,857	17,506	20,244	16,071				
	決算額			千円	15,732	15,658	18,354	0			
		特定・その他財源()		千円							
	一般財源		千円	15,732	15,658	18,354					
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費 155	委託料 1228								
		需用費 9754	備品購入費 5115								
		役務費 977	負担金補助及び交付金 1125								

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校教育が地域との連携を行う上で、地域人材を積極的に授業に取り入れていくことは重要なことと考える。また、新しい学習内容に即した図書教材の購入は生徒の国語力を育成する上で重要と考える。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	生徒の体験的活動及び読書活動等は市内すべての中学校に求められており市の関与は妥当である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	生徒の体験的活動において専門的な知識・技能を取り入れることにより生徒が意欲的に学習に取り組むと考える。また、図書の購入に伴い国語力の向上が期待できる。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	市内各校が教育活動を工夫改善するために、各校の実情に即した執行をしている。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	市内各学校において取り組む事業であり公平性が保たれると考える。	A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	各中学校の教育活動を工夫・改善し、生徒の学習への意欲を高めるために重要である。特に生徒の読む力の育成は急務であり事業の継続が求められる。		A A	
Action 今後の事務事業の方向							
23年度における取組のPRと方向性	新学習指導要領の柱として「体験活動」「国語力の向上」は掲げられており、本市においても児童に求められる力である。また、各校の蔵書率向上の意味からも本事業の充実が必要である。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
	ゲストティーチャーの活用方法や読書活動の位置づけなどさらに各校の工夫改善した取り組みが求められる。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号

3-2-2

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	中学校教材備品等購入費							部局等	教育委員会		
								課	学校教育課		
所管課等								職・氏名	主査補 関 貴美代		
								電話番号	内線	2365	
事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	
	(八街市総合計画)	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
		具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	学校設備・備品の充実					開始	2010	終了	2012
		「めざそう！ね(備)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
	実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付				実施根拠			
	負担金	その他	()								
直接の対象者(～に対して)	市立中学校・生徒						最終的な受益者	生徒			
事業目的(～という状態にするために)	中学校に対し、教科指導上必要な備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。										
具体的な事業内容(～を行う)	市立中学校全校に対して、教材備品を購入し、整備する。										
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施											
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	事業の実績	1	教材備品等購入費	千円	3,700	3,589	3,500	3,300			
	事業の効果	1	教材備品等購入	校	4	4	4	4			
事業効果に関する外部要因	新学習指導要領の実施により、対応する教材の確保が必要である。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	各校が教科指導上必要とする教材備品を購入、整備した。										
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	3,700	3,589	3,500	3,300				
	決算額			千円	3,700	3,587	3,481	0			
		特定・その他財源()	千円								
		一般財源	千円		3,700	3,587	3,481				
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			備品購入費 3,481								

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	新学習指導要領による指導内容の充実、学力向上等ニーズや関心は高い。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担という観点から妥当である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	限られた予算配分の中で、各学校から希望された備品を整備した。		B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	市内全中学校に対し、整備を実施しており公平である。	A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	教科指導に必要な備品を各学校の現状にあわせて整備することができた。		A A	
Action 今後の事務事業の方向							
23年度における取組のPRと方向性	現有備品の確認や点検を行い、教科指導に必要な備品を選定し、整備を行う。その際、新学習指導要領に沿った整備とする。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
	新学習指導要領の実施に伴い、新たに必要となる教材備品や不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し、整備する。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号

3-2-3

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	中学校理科教育振興用備品購入費							部局等	教育委員会		
								課	学校教育課		
事務事業の概要								職・氏名	主査補 関 貴美代		
								電話番号	内線	2365	
								E-mail			
	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	
	(八街市総合計画)	施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街								
		具体的施策	学校教育の充実								
	実施計画	学校設備・備品の充実				開始	2010	終了	2012		
	「めざそう！ね(備)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値			
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付				実施根拠				
	負担金	その他	()								
直接の対象者(～に対して)	市立中学校・生徒					最終的な受益者	生徒				
事業目的(～という状態にするために)	中学校新学習指導要領に伴う、理科教育設備を含めた理科備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。										
具体的な事業内容(～を行う)	市立中学校全校に対して、理科備品を購入し、整備する。										
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施											
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	事業の実績	1	理科備品購入費	千円	1,296	7,279	1,400	1,000			
	事業の効果	1	理科備品現有率	%	35	42.8	43.1	45.7			
	事業効果に関する外部要因	新学習要領の実施により、理科教育設備整備費等補助金を活用し、対応する教材の確保が必要である。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	理科教育設備整備費等補助金を活用することにより、新学習指導要領の主旨に沿った理科の授業に必要な教材備品の整備ができた。										
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	1,296	7,279	1,400	1,000				
	決算額		千円	1,296	7,276	1,397	0				
		特定・その他財源()	千円	571	3,582	356					
		一般財源	千円	725	3,694	1,041					
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		備品購入費 1,397									

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	新学習指導要領による指導内容の充実、理科教育の重要性、学力向上等、ニーズや関心は高い。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担という観点から妥当である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	補助金を活用することにより、理科教材備品を適正に整備できた。		B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	全中学校の理科備品の現有率の平均化を図るとともに、現有率の引き上げを図る。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	市内中学校に対し、整備を実施しており、公平である。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	補助金や理科備品台帳を活用することにより、理科教材備品が適正に整備できた。		A A		
Action 今後の事務事業の方向							
23年度における取組のPRと方向性	新学習指導要領の実施にあたり、理科教育設備整備費等補助金を活用し、理科備品を整備する。理科整備台帳を整備し、現有備品についても見直しを行う。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
	補助金等を有効活用し、計画的な理科備品の整備を行う。学力向上や理科教育の関心の高まりにより、適正な予算配当や教材備品の選定が必要である。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 3-2-4

Plan 事務事業の概要											
事務事業の概要	事務事業名	中学校生徒援助奨励費						部局等	教育委員会		
								課	学校教育課		
								職・氏名	副主査 佐藤 智子		
								電話番号	443-1446	内線	2367
								E-mail			
	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025		
	(八街市総合計画)	施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街								
		具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画				開始	2010	終了	2012		
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付			実施根拠	学校教育法第19条				
	負担金	その他	()								
直接の対象者(～に対して)	援助対象保護者					最終的な受益者	児童・生徒・保護者				
事業目的(～という状態にするために)	保護者の経済的理由により就学が困難と認められる児童・生徒に、必要な教育を受けさせるため。										
具体的な事業内容(～を行う)	学用品・通学用品・校外活動費・給食費等の援助を行う。										
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
D 事務事業の実施											
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	事業の実績	準要保護生徒認定数	人	175	181	159					
	事業の効果	準要保護生徒認定率	%	5.5	6.3	6.6					
	事業効果に関する外部要因	保護者のリストラや離婚件数の増加、及び不安定な雇用形態。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	経済的理由による教育の格差をなくし、円滑な学校運営にも寄与している。										
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	17,763	19,372	17,025	18,980				
	決算額		千円	16,741	18,049	16,332	0				
		特定・その他財源()	千円	618	606	726					
		一般財源	千円	16,123	17,443	15,606					
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		準要保護生徒就学圏援助費		14,938							
		特別支援教育就学奨励費		1,394							

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	昨今の厳しい社会情勢の中、リストラや離婚等により安定した収入が得られない世帯が増加しており、その影響が少なからず子どもにも及ぶため必要である。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	法律に基づいているため妥当である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	教育の機会均等の見地から効果は得られている。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	扶助費の性質上、コスト低減の余地はない。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	c	受益者負担あり 受益者負担なし	全児童・生徒の保護者が対象ではあるが、認定基準の公平性について、検討の必要性があると思われる。	C	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	b	学校教育法及び教育の機会均等の見地から事業は必要不可欠である。ただし、事業内容(認定の基準)等については、見直しが必要と思われる。		B A	
Action 今後の事務事業の方向							
23年度における取組のPRと方向性	保護者の経済的理由による教育の格差を防止するため、学校と連携し、制度のPRとともに児童・生徒の保護に努める。また、事業の公平性を確保するため、内容の見直しを含めた要綱の制定に取り組んでいく。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
事務事業の今後の方向性	教育の機会均等に資するため、継続的に実施する必要があるが、公平性を重視した制度改革を行うことが必要である。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 3-3-1

Plan 事務事業の概要

事務事業名	八街中学校耐震補強事業					部局等	教育委員会		
						課	庶務課		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025	
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
八街市総合計画	具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実 - - - 学校教育の充実							
	実施計画			開始	2010	終了	2012		
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付			実施根拠	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律		
	負担金	その他	()						
直接の対象者(～に対して)	中学校					最終的な受益者	中学生・教職員		
事業目的(～という状態にするために)	校舎及び屋内運動場の耐震補強工事を実施し、耐震性能を確保する。								
具体的な事業内容(～を行う)	耐震性が劣る校舎3棟と屋内運動場の補強工事を実施し、安全を担保する。併せて壁・床・天井・照明施設の改修や床の張替えなど大規模改造工事を実施し、環境を整備する。								
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								

D 事務事業の実施

区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)
事業の実績	1 業務委託契約数	件	1	2	1	
	2 工事請負契約数	件			1	
	3					
	4					
事業の効果	1 設計、監理業務	千円	6227	18,890	8,629	
	2 校舎3棟及び屋内運動場の大規模改造工事	千円			158,242	
	3					
	4					
事業効果に関する外部要因	耐震診断の結果、校舎3棟及び屋内運動場の耐震性能が劣る事が判明した。耐震指数が低いことから直ちに4棟の耐震化を図ることとした。					
事業効果の総合分析(達成できたこと)	平成21年度中に補強及び改造工事の実施設計が完了、22年度に工事を実施した。					
区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)
(最終)予算額		千円	8,000	35,770	246,690	
決算額	特定・その他財源()	千円	6,227	18,890	166,871	
	一般財源	千円		18,890	5,571	
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		委託料	8,629			
		工事請負費	158,242			

Check 事務事業の評価									
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由				二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	大地震発生時の耐震性が求められている昨今、危険建物の改築や耐震補強については、生徒の安全を確保する上から、早急を実施すべきものである。				A	
		市の関与は妥当ですか	a	市で関与すべきである。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	平成21年度事業として9月補正で予算計上したため、平成21年度は設計業務を実施した。平成22年度において工事を発注し、平成22年11月の完成を目標としている。				A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	工事完成後は、校舎及び屋内運動場の安全が担保され、内装等もリニューアルされる。				A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	公立学校の施設整備であり、公平性に問題はない。			A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	平成20年度に耐震診断、平成21年度に耐震補強を含めた実施設計を完了した。 平成22年度に工事を実施、完了した。				A	A
Action 今後の事務事業の方向									
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性								
	取り組み方向								
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了	
平成21年度からの繰越事業で、平成22年度完了。									

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

[事務事業評価シート]

シート番号 3-3-2

Plan 事務事業の概要

事務事業名	八街中学校武道場建設事業				部局等	教育委員会		
					課	庶務課		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた		開始年度	2005	終了年	2025	
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						
八街市総合計画	具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実 - - - 学校教育の充実						
	実施計画		開始	2010	終了	2012		
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容	めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
	直接実施	業務委託	補助金交付	実施根拠	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律			
負担金	その他	()	最終的な受益者		中学生・教職員			
直接の対象者(～に対して)	中学校							
事業目的(～という状態にするために)	平成24年度からの中学校での武道教育の体育科での必修化、及び現在「レハ」教室を柔道場として活用しているが、老朽化しており、部活動の場を確保する観点から、武道場の建設を実施する。							
具体的な事業内容(～を行う)	木造平屋建て・609㎡ 柔道場1面、剣道場1面、部室、ミーティングルーム、器具庫、便所等を配置する。							
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目							

D0 事務事業の実施

実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)
	事業の実績	1	申請等の数	件			4
2		業務委託契約数	件		2	2	
3		工事請負契約数	件			5	
4		備品購入契約数				1	
事業の効果	1	建築確認申請、完了検査	千円			105	
	2	調査、設計業務	千円		6,671	3,311	
	3	武道場の建設工事(609㎡)、部室の新築、既設部室の解体工事、等	千円			106,748	
	4	武道場備品の購入	千円			5,386	
事業効果に関する外部要因	柔道、剣道等の部活動における練習場所に苦慮していたところである。						
事業効果の総合分析(達成できたこと)	国の緊急経済対策の交付金を活用し、有利な補助金を受けて緊急に実施することとした。21年度では実施設計を行った。						
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)
	(最終)予算額		千円	0	153,271	151,724	
	決算額		千円	0	6,671	6,671	
		特定・その他財源()	千円		0	0	
		一般財源	千円		6,671	6,671	
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		役務費(手数料)	105	備品購入費	5,386		
		委託料	3,311				
		工事請負費	106,748				

Check 事務事業の評価

事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか		a	生徒の部活動の場所として必要な施設である。また、一般開放施設として市民のニーズは高い。	A
市の関与は妥当ですか			a	市で実施する事業である。		
有効性	期待された効果は得られていますか		a	平成21年度事業として9月補正で予算計上したため、平成21年度は設計業務を実施した。	A	
効率性	事業の効率性を高められますか		a	実施設計にあたって短期間の中で効率的に事業を実施することができた。	A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか		a	受益者負担あり 受益者負担なし 公立学校の施設整備であり、公平性に問題はない。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題		a	平成21年度事業として9月補正で予算計上したため、事業は平成22年度へ全額繰越し実施することとなっている。 国の制度を有効に活用し、市の負担軽減に配慮した事業である。	A	A

Action 今後の事務事業の方向

23年度における取組のPRと方向性	学校開放施設として、夜間及び土・日曜日、一般に貸出しをする。							
事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了
	平成21年度からの繰越事業で、平成22年度完了。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号

4-1-1

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	幼稚園施設維持管理事業							部局等	教育委員会	
								課	庶務課	
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	
	施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感ずる街								
八街市総合計画	具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実 - - - 学校教育の充実								
	実施計画	幼稚園教育の充実				開始	2010	終了	2012	
実施方法	「めざそう!ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
	直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠					
負担金	その他		()							
直接の対象者(～に対して)	幼稚園					最終的な受益者	幼稚園児・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な幼稚園生活を過ごせるようにするため。									
具体的な事業内容(～を行う)	・施設の修繕、樹木の伐採・除草、簡易専用水道管理状況検査、浄化槽法定検査等の実施 ・園舎警備、浄化槽維持管理、貯水槽維持管理、樹木害虫駆除業務等の業務委託 ・幼稚園管理用備品の購入									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
D0 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	1	幼稚園施設の保守管理業務委託契約数	件	7	8	8	9		
		2	幼稚園施設の修繕契約数	件	12	16	15	13		
		3	各種検査等	件	1	1	1	1		
		4	幼稚園管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	4	3	3	3		
	事業の効果	1	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	1,719	1,642	1,447	1,500		
		2	業務委託、検査、調整、賃借等による適正な維持管理の実施	千円	2,636	2,698	2,814	3,253		
		3	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	1,289	1,075	766	603		
	事業効果に関する外部要因	施設設備の経年劣化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。								
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に務めている。物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入している。								
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終)予算額		千円		5,842	5,520	5,440	5,356		
	決算額		千円		5,644	5,415	5,027	0		
		特定:その他財源()	千円							
		一般財源	千円		5,644	5,415	5,027			
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費(消耗品、修繕)	1,781	使用料及び賃借料		1,080			
			役員費(手数料・保険料)	122	備品購入費		432			
			委託料	1,612						

Check 事務事業の評価						
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校施設の経年劣化などにより学校からの要望は多くなっている。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費を削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図っている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。		A A

Action 今後の事務事業の方向							
23年度における取組のPRと方向性	これまでの維持管理に加えて、平成23年度から遊具の点検業務を追加し、幼児の安全を図ることとした。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止 完了
	幼児の安心安全な園生活を確保するため、施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいりたい。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

[事務事業評価シート]

シート番号 4-1-2

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	幼稚園施設整備事業							部局等	教育委員会	
								課	庶務課	
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年	2025		
	施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街								
八街市総合計画	具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実 - - - 学校教育の充実								
	実施計画	幼稚園教育の充実			開始	2010	終了	2012		
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
	直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠					
負担金	その他 ()									
直接の対象者 (~に対して)	幼稚園						最終的な受益者	幼稚園児・教職員		
事業目的 (~という状態にするために)	施設設備等の改修工事を行い、良好な幼稚園生活を過ごせるようにするため。									
具体的な事業内容 (~を行う)	・幼稚園施設の改修、設備の交換等									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	2	3	2	2		
		2								
	事業の効果	施設設備の改修工事の実施		千円	1,258	1,402	1,386	1,200		
	事業効果に関する外部要因	施設設備の経年劣化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。								
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから改修、整備に務めている。平成21年度は、川上幼稚園の園舎塗装、浄化槽改修、舗装整備を実施した。									
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	1,500	1,450	1,450	1,200			
	決算額			千円	1,258	1,402	1,386	0		
		特定・その他財源()	千円		0	0				
	一般財源		千円	1,258	1,402	1,386				
22年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			工事請負費	1,402						

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由			二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の経年に伴い、園からの改修要望等は多くなっている。幼稚園施設の適正な維持管理のため必要である。			A
		市の関与は妥当ですか	a	市立幼稚園であり、市が行う事業である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、おおむね要望に対応することができた。			B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に務めており、改善の余地はあまり無い。			A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	緊急性に配慮し、幼稚園間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。		A
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。			A A
Action 今後の事務事業の方向							
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	平成23年度の予定は、八街第一幼稚園照明設備改修(省エネきくの設置)などを、実施する予定である。					
	取り組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
施設設備の経年劣化に対応した、計画的な改修を実施してまいりたい。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 4-1-3

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	私立幼稚園就園奨励費補助事業						部局等	教育委員会		
							課	庶務課		
事務事業の概要							職・氏名	主幹・伊橋義貴		
							電話番号	443-1442	内線	2353
						E-mail	shomu@city.yachimata.lg.jp			
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	
八街市総合計画	施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街								
	具体的施策									
	実施計画					開始	2010	終了	2012	
「めざそう！ね(値)」		指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付			実施根拠	八街市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱			
	負担金	その他	()							
直接の対象者(～に対して)	私立幼稚園の設置者					最終的な受益者	私立幼稚園の保護者			
事業目的(～という状態にするために)	私立幼稚園に通園する園児の保護者の所得状況に応じて、保護者の経済的負担を軽減するとともに、公立・私立間の保護者負担格差の是正を図る。									
具体的な事業内容(～を行う)	市は国から幼稚園就園奨励費補助金の交付を受け実施。私立幼稚園の設置者は、通園する園児の保護者の所得状況に応じて市に対し補助金申請を行い、補助金の交付を受け保護者に還元する。									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
D 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	私立幼稚園数	園	21	15	16	15			
		補助対象者数	人	435	390	380	367			
	事業の効果	補助金	千円	35,868	37,609	39,183	40,210			
	事業効果に関する外部要因	国の補助制度の変更								
事業効果の総合分析(達成できたこと)	公立幼稚園との格差是正及び、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。									
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	36,149	38,467	39,563	40,210			
	決算額			千円	35,868	37,609	39,183	0		
		特定・その他財源()	千円	9,600	9,886	9,274				
		一般財源	千円	26,268	27,723	29,909				
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		補助金	39,183							

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	公立幼稚園との格差は正及び保護者の経済的負担の軽減のため、ニーズは高い。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	国と市で行っている事業であり、妥当である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	国の補助基準と同額を補助しており、概ね期待どおりの効果は得ている。		B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	国の補助基準で補助しているため、効率性向上の余地はない。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	保護者の所得に応じて補助金額が決定されており、検討の必要性はないと思われる。		A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	幼児教育に対するニーズが高まる中で、保護者負担の格差是正を図り、幼児教育の振興に資するため必要な事業である。		A	B	
Action 今後の事務事業の方向							
事務事業の今後の方向性	国の補助制度の変更にあわせ、補助金額の増額を実施する。 該当する幼稚園に対し、対象となる保護者がこの制度を活用できるよう指導し、周知徹底を図る。						
	取り組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
子育て支援の一環として、国の補助基準に従い、継続して実施していく。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 4-1-4

Plan 事務事業の概要									
事務事業名	私立幼稚園運営費補助事業						部局等	教育委員会	
							課	庶務課	
所管課等							職・氏名	主幹・伊橋義貴	
							電話番号	443-1442 内線 2353	
						E-mail	shomu@city.yachimata.lg.jp		
事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025
	八街市総合計画	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						
		具体的施策							
		実施計画				開始	2010	終了	2012
	実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方	現状値	
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付				実施根拠	八街市私立幼稚園運営費補助金交付要綱	
直接の対象者(～に対して)	私立幼稚園の設置者						最終的な受益者	私立幼稚園の保護者	
事業目的(～という状態にするために)	私立幼稚園の設置者に対し補助金を交付することにより、私立幼稚園の健全な運営と通園する保護者の費用負担の軽減を図り、幼児教育の振興に資する。								
具体的な事業内容(～を行う)	私立幼稚園の設置者からの申請により、1学級当 10万円、園児1人当 2,400円を補助金として交付する。								
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
D 事務事業の実施									
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)		
	事業の実績	幼稚園数	園	4	4	4	4		
		学級数	学級	25	22	21	22		
		園児数	人	489	420	399	435		
	事業の効果	補助金	千円	3,674	3,208	3,054	3,244		
事業効果に関する外部要因									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	私立幼稚園の健全な運営に資する事ができた。								
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)		
	(最終)予算額		千円	3,674	3,208	3,058	3,244		
	決算額			千円	3,674	3,208	3,058		
		特定・その他財源()	千円						
		一般財源	千円	3,674	3,208	3,058			
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		補助金	3,058						

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分	一次評価	判定理由			二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	公立幼稚園との格差是正及び保護者の経済的負担の軽減のため、ニーズは高い。			A
		市の関与は妥当ですか	b	市内の私立幼稚園への補助事業であり、市が関与する必要がある。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	保護者の負担軽減につながり、概ね期待どおりの効果は得ている。			B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	幼稚園設置者への直接補助であり、低減の余地はない。			A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	各私立幼稚園の学級数、通園児数によって決定しており、適切である。		A
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	b	公立幼稚園との格差是正及び保護者の経済的負担の軽減のため、必要である。			A A
Action 今後の事務事業の方向							
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	市内の私立幼稚園4園に照会し、幼稚園の設置者からの申請により補助する。					
	取り組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
<p>今後は園児数の減少が進んでいくため、私立幼稚園の保護者負担が増える事が予想される。このため、継続的に運営費補助金を支出することにより、私立幼稚園の円滑な運営を図り、ひいては保護者の負担軽減につなげたい。</p>							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 4-1 -5

Plan 事務事業の概要										
事務事業の概要	事務事業名		幼稚園特別支援事業				部局等		教育委員会	
							課		庶務課	
							職・氏名		主幹・伊橋義貴	
							電話番号		443-1442	内線 2353
							E-mail		shomu@city.yachimata.lg.jp	
	当該事業が該当する個別計画等		基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた		開始年度	2005	終了年度	2025	
			施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街						
			具体的施策							
	八街市総合計画		実施計画			開始	2010	終了	2012	
			「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容		めざそう値(目標設定)の考え方		現状値	
実施方法		直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠				
		負担金	その他 (特別支援教育支援員配置)							
直接の対象者(～に対して)		市立幼稚園				最終的な受益者	幼稚園児及び保護者			
事業目的(～という状態にするために)		多動性障害を持つ園児など、特別に支援を必要とする園児の入園が増加していることから、園児の安全確保にあわせて担任の負担軽減に資する。								
具体的な事業内容(～を行う)		千葉県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業補助金をうけ、特別支援を必要とする園児のための、特別支援教育支援員の配置を行う。								
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目								
D 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	雇用人数	人	-	4	5	5			
		雇用期間(時間数)	箇月(時間)		6(1,714)	12(4,288)	12(6,051)			
	事業の効果	賃金	千円	-	1,891	5,611	6,051			
	事業効果に関する外部要因									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		特別支援員を配置することで、当該園児を含めた園児の安全・安心の確保と担任教諭の負担軽減に資することができた。							
	事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)		
		(最終)予算額		千円		2,185	5,959	6,051		
決算額			千円	0	1,891	5,611	0			
		特定・その他財源()	千円		1,891	5,611				
		一般財源	千円							
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		賃金	5,523							
		労働災害保険料	88							

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	特別支援を必要とする園児の就園希望の増加により、支援員の配置は必要が高い。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	市立幼稚園に配置することであり、市が実施する必要がある。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	特別支援を要する園児の対応に効果が大きい。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	該当園児の在園する時間帯を中心に効率的に配置することができた。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	幼稚園規模や在園児の状況に応じた人数を配置している。	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	特別支援教育支援員の配置は、多動性障害児等の対応に大いに効果があり、適切に実施できた。		A A		
Action 今後の事務事業の方向							
23年度における取組のPRと方向性	特別支援教育支援員を1名増やし、市立幼稚園3園にそれぞれ配置した。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
	千葉県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業補助金をうけ、平成21年度から平成23年度まで実施しておりますが、近年特別支援を要する園児の入園要望が増加する中、補助事業終了後も市単独の事業として継続実施する必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

[事務事業評価シート]

シート番号 5-1-1

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	社会教育総務費(社会教育委員及び社会教育、家庭教育指導員の委嘱)							部局等	教育委員会	
								課	社会教育課	
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025		
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
(八街市総合計画)	具体的施策									
	実施計画				開始	2010	終了	2012		
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付				実施根拠	社会教育法・八街市社会教育委員に関する条例		
	負担金	その他	()					八街市社会教育指導員の設置等に関する規則・八街市家庭教育指導員の設置等に関する規則		
直接の対象者(～に対して)	市民						最終的な受益者	市民		
事業目的(～という状態にするために)	市の社会教育の充実を図るため、社会教育委員を委嘱し社会教育に関する意見や教育委員会の諮問に答申を得る。また、社会教育指導員及び家庭教育指導員を委嘱することで、高齢者教育及び家庭教育の充実を図る。									
具体的な事業内容(～を行う)	1 社会教育委員会議を開催し、社会教育事業について提案や検証。また、教育委員会の諮問に対する答申や提言。 2 社会教育指導員及び家庭教育指導員の委嘱									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
D 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	1	社会教育委員会議の開催	回	5	5	5	5		
		2	高齢者学級の実施	学級	2	2	2	2		
		3	家庭教育学級の実施	学級	15	15	15	15		
	事業の効果	1	答申・建議・提言等件数	件	0	0	0	1		
		2	高齢者学級参加者数	人	46	46	64	64		
		3	家庭教育学級修了者数	人	179	248	242	250		
	事業効果に関する外部要因									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		会議の活発化により、各事業への委員会議の意見を反映し活性化できた。また、青少年健全育成都市宣言を受けて提言を行った。							
	事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)		
(最終)予算額		千円	3,953	3,977	3,977	3,704				
決算額				千円	3,919	3,620	3,903	0		
		特定・その他財源()		千円						
一般財源		千円	3,919	3,620	3,903					
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			報酬	3,903						

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	社会教育委員は、社会教育事業に市民の意見や要望を反映するために必要であり、指導員は、経験や専門性をとおして各事業の充実のため必要である。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	社会教育委員は、社会教育行政の重要事項を審議し、決定する機関として大きな役割を担っている。指導員は市の社会教育行政に大きく寄与しており適切である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	社会教育委員による、年間5回の審議は、内容の濃いものでその結果が事業に反映されている。また、青少年教育、家庭教育など具体的な研修をとおして建設的な意見が得られている。指導員は、高齢者教育、家庭教育に対し適切な指導や助言を行い事業の充実に貢献している。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	社会教育委員会議は、年間5回行い社会教育の推進力となっている。また、社会教育・家庭教育指導員は、高齢者学級11学級(自主9学級)の運営や指導、助言や家庭教育15学級の充実を図っており効率的な執行が行われている。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	社会教育委員会議の審議内容は、社会教育事業に反映される。また、高齢者や家庭教育支援は、誰でも受講できることから公平性に問題はない。	A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	社会教育委員は年間5回の会議を実施しており、資質向上のための研修も活発に行っている。青少年健全育成の施策提言に向けた委員会や、年間事業についての意見等が市の社会教育行政の推進に大いに役立っている。なお、社会教育委員の定数については検討の余地がある。社会教育指導員及び家庭教育指導員は週3日の勤務で高齢者教育や家庭教育にその経験や知識を活かした指導を行っており、課の推進力となっている。		A A	
Action 今後の事務事業の方向							
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	社会教育振興大会の充実を図り、社会教育委員が前面に大会を運営する。また、家庭教育支援用パンフレットを作成・配布し家庭教育相談窓口の情報提供を行う。					
	取り組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
社会教育委員は、社会教育計画を立案する機関であり、継続して実施しなければならない。指導員は、事業を運営する上で今後も必要である。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

[事務事業評価シート]

シート番号

5-1-2

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	生涯学習振興事業							部局等	教育委員会	
								課	社会教育課	
当該事業が該当する個別計画等								職・氏名	主 査・土屋顕仁	
								電話番号	443-1464	内線
(八街市総合計画)								E-mail	shakyo@city.yachimata.lg.jp	
	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					開始年度	2005	終了年度	2025
実施計画	施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街								
	具体的施策	自ら学ぶ生涯学習の推進								
実施方法	実施計画	社会教育活動の推進					開始	2010	終了	2012
	「めざそう！ね(値)」	指標	生涯学習や文化活動についての満足度 地域コーディネーター養成	指標の市民評価 地域と子どもをつなぐ活動を行うポ	めざそう値(目標設定)の考え方		5%増を目標とします 毎年1地域		現状値 ¹ 19.0 2	
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付			実施根拠	社会教育法			
	負担金	その他	()							
直接の対象者(～に対して)	市民					最終的な受益者	市民			
事業目的(～という状態にするために)	市民を対象とした各種学級、講座、研修会、講演会などをとおして、生涯にわたり生きがいのある生活と、心ががよまちづくりを目標として、市民の学習に対する関心を高める。									
具体的な事業内容(～を行う)	市民を対象とした各種学級、講座、研修会、講演会など									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
D: 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	1	社会教育振興大会の開催	回	1	1	1	1		
		2	家庭教育講演会の開催	回	1	1	1	1		
		3	家庭教育学級の実施	学級	15	15	15	15		
		4	千葉黎明高等学校開放講座の実	講座	2	2	2	3		
		5	高齢者学級の実施	学級	2	2	2	2		
		6	地域ミニ集会の実施	会場	5	6	6	10		
		7	輝く女性の研修会の開催	回	1	1	1	1		
		8	地域コーディネーター講座の開催	講座	0	1	1	1		
	事業の効果	1	社会教育振興大会の開催	人	694	532	399	500		
		2	家庭教育講演会の参加者数	人	243	406	397	150		
		3	家庭教育学級の参加者数	人	774	798	899	900		
		4	千葉黎明高等学校開放講座の参加者数	人	75	75	69	70		
		5	高齢者学級の参加者数	人	46	46	64	64		
		6	輝く女性の研修会の開催	人	50	86	275	300		
7		地域コーディネーター講座参加者数	人		17	15	20			
事業効果に関する外部要因		社会教育振興大会は、講演者により大きく左右される。家庭教育学級は社会状況(共働き世帯の増加)などにより若干減少傾向にある。地域コーディネーターについては、教育後援会や既存の支援組織等の活用による人材の掘り起こしが重要である。								
事業効果の総合分析(達成できたこと)		各事業を実施し、市民の参加を得たことで市民の学習要求に応えることができた。								
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	2,054	2,044	2,000	2,050			
	決算額		千円	1,582	1,745	1,593	0			
	特定・その他財源()		千円							
	一般財源		千円	1,582	1,745	1,593				
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	304	需用費	255					
		役務費	444	委託費	590					

Check 事務事業の評価									
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由				二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	生涯学習に対する市民の要求が高まっており、今後、更に需要は増大するものと思われる。				A	
		市の関与は妥当ですか	b	民間等ではできない事業を実施することで、地域や家庭の教育力の向上に寄与する必要があるから。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	地域コーディネーター講座では、新たに二州みらい塾を立ち上げることができた。家庭教育学級、女性研修会への参加者が増え意欲向上が伺える。				B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	常に経費の節減等に努めており、ボランティアの活用も積極的に行っている。				B	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり	講座等で使用する材料費等は参加者の負担としており適切である。			A	
		受益者負担なし							
総合評価	総括及び事業実施上の課題	b	創意工夫をこらした講演会や講座等を開催し、地域教育力の向上に努めることができた。今後も更なる工夫により多くの市民が主体的に参加する事業を企画していく。				B	B	
Action 今後の事務事業の方向									
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	きめ細やかな運営とマスコミやインターネット等を活用したPRを心がける。また、社会教育や家庭教育の充実のため、学級、講演会、講座等への参加者の拡大を目指す。							
	取り組み方向								
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了	
事務事業の今後の方向性		ますます増大する生涯学習に対する市民ニーズに応えるための事業展開をする必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号

5-1-3

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	文化振興事業							部局等	教育委員会	
								課	社会教育課	
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025		
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
八街市総合計画	具体的施策	市民文化の創造								
	実施計画	芸術文化の振興			開始	2010	終了	2012		
	「めざます！ね(値)」指標	106	八街市民文化祭参加者数		指標の内容	出演・出品者数の推移		めざます値(目標設定)の考え方	目標は設定せず経年変化をモニタリング	現状値 1184
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付			実施根拠	文化芸術振興基本法			
	負担金	その他	()				社会教育法			
直接の対象者(～に対して)	市民						最終的な受益者	市民		
事業目的(～という状態にするために)	市民文化の向上を図る。									
具体的な事業内容(～を行う)	八街市民音楽祭及び市民文化祭を行う。									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	文化施設整備								
		文化ホールの建設								
Do 事務事業の実施										
実績・成果	区分			単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)		
	事業の実績	1	市民文化祭の実施	回	1	1	1	1		
		2	市民音楽祭の実施	回	1	1	1	1		
	事業の効果	1	市民文化祭の参加者数	人	1144	1207	1184	1200		
		2	市民音楽祭の来場者数	人	523	600	606	600		
	事業効果に関する外部要因	文化団体の固定化								
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	市民文化祭、市民音楽祭ともに、市民が実行委員となり協働による事業実施ができた。								
	事業コスト	区分			単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)	
		(最終)予算額			千円	825	790	881	1,090	
		決算額				千円	818	775	856	
特定・その他財源()			千円							
一般財源			千円	818	775	856				
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			報償費	80		需用費	189			
			役務費	24		補助金	500			
			賃借料	63						

Check 事務事業の評価									
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由				二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民の文化活動に対する需要は、ますます増大している。				A	
		市の関与は妥当ですか	c	プロの芸術家、民間のNPOや企業等との連携による事業の充実を図る必要がある。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	活発に活動している文化芸術団体等の発表の場として、多数の市民が参加している。				B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	各事業は市民団体や個人が実行委員等になり実施している。今後も協働による実施の強化に努める。				B	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり	文化協会への補助金拠出は、市民文化祭を主催するなど市民文化の振興に多大に寄与しており適切である。			A	
		受益者負担なし							
総合評価	総括及び事業実施上の課題	b	市民文化祭、市民音楽祭とも市民が実行委員となり協働による実施ができた。小・中・高等学校の教員や高校生からの作品募集を行った。幅広い芸術文化の人材発掘や参加者層の拡大等が課題である。				B	B	
Action 今後の事務事業の方向									
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	きめ細やかな運営とチラシを始めマスコミやインターネット等を活用したPRを心がける。また、文化祭においては展示等の工夫や一般市民の参加拡大を図る。							
	取り組み方向								
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了	
プロの芸術家も含め、市民芸術を市民に知らしめ、文化芸術に触れる機会としてより幅広い事業展開をする必要がある。									

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号

5-1-4

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	文化財保護費							部局等	教育委員会	
								課	社会教育課	
事務事業の概要								職・氏名	主査 川津 和久	
								電話番号	443-1464	内線
							E-mail	shakyo@city.yachimata.lg.jp		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025		
八街市総合計画	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	具体的施策	文化財の保護・継承								
実施計画	実施計画	文化財の保護・継承					開始	2010	終了	2012
	「めざそう！ね(値)」	指標	市指定文化財の件数 文化財保護周知用立看板		指標の内容	文化財の保護が図られているかどうか		めざそう値(目標設定)の考え方	2件の指定増 3基の増	現状値 18 71
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠	文化財保護法/千葉県文化財保護条例/千葉県教育委員会の権限の属する事務処理に関する条例/八街市文化財保護に関する条例				
	負担金	その他		(文化財ボランティアとの協働事業)						
直接の対象者(～に対して)	市民、土木工事等を行う者、文化財市指定文化財所有者・管理者・保持者					最終的な受益者	市民、県民、国民所有者・管理者・保持団体、市民			
事業目的(～という状態にするために)	市民文化向上・発展のため、文化財の保護・活用・継承を図る。									
具体的な事業内容(～を行う)	指定文化財の指定・管理・活用 各種文化財及び埋蔵文化財 市指定無形民俗文化財保持者への支援 文化財ボランティアの育成及び活動支援									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	芸術文化活動や文化財保護活動								
	(なし)									
D 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	出前講座の実施回数	回	5	11	27	20			
		文化財保護周知用立看板年間設置数	基	1	5	1	1			
		文化財ボランティア講座・講習会の開催	回	1	2	1	1			
	事業の効果	出前講座の年間受講者数	人	123	226	761	500			
		文化財保護周知用立看板の総設置数	基	67	71	71	72			
		文化財ボランティアの活動回数	回	15	10	7	10			
	事業効果に関する外部要因	出前講座は、受講団体の規模や年齢構成等により各回の受講者数が変動する。立看板の設置は、新規のみならず既存看板更新や撤去のケースがあるため、純増とはならないことがある。文化財ボランティアの活動は、自主的な活動と行政の依頼による活動があり、行政が依頼しなければ活動回数は減ることがある。また、屋外での作業が多く、天候に左右されるため、純増とはならないことがある。								
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	出前講座は、平成21年度まで受動的な手法で実施してきたが、平成22年度から制度化して周知に努め、前年比、回数で約2.5倍、受講者数で約3.4倍の実績を得た。文化財立看板は、優先順位を見極めて設置したが、更新のため設置数の増とはならなかった。文化財ボランティア活動は、団体による定期的な活動が定着してきたが、これらに対する支援を怠らないように努めている。特に22年度は、市史編さん事業として実施したかわらめき古墳群学術発掘調査にあたり、事前講習に参加いただくと共に、ボランティアの絶大な協力を得ることができ、日頃の支援の成果が表れたものとする。								
	事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)		
(最終)予算額		千円	1,335	1,151	958	1,249				
決算額				千円	916	728	705	0		
		特定・その他財源()	千円							
一般財源		千円	916	728	705					
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬	42	委託料	109					
		報償費	34	賃借料	270					
		需用費	76	負担金補助交付金	174					

Check 事務事業の評価										
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由					二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	文化財や郷土史に対する市民の関心は高まる一方で、市民の要望等にも応えながら文化財保護思想の普及を図ることにより市・県・国民の文化の向上・発展のため必要不可欠である。					A	
		市の関与は妥当ですか	a	法・条例に基づく事務・調査の他、行政のみが実施可能な業務が大半であるため、必要である。なお、ボランティア等との協働事業に関しては、ボランティアが行うものと行政が行うべきものの棲み分けを明確にしている。						
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	直接的な事業の成果の把握は難しいが、文化財は、消滅又は損壊すると完全な復元は不可能であり、これを保護することは、市・県・国民の文化の向上・発展に資するものである。					A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	小規模な組織体制ながら、常に費用対効果及び経費の節減を考慮し、優先順位を見極めて必要な業務を実施しており、効率性は極めて高い。					A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり	全ての業務が市・県・国民の利益に繋がるものであり、公平性は極めて高い。				A	
	受益者負担なし									
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	法・条例に基づく事務・調査については、引き続き適正な実施に努める。また、文化財や郷土史に対する市民の高い関心にも応えながら、市・県・国民の文化の向上・発展のため、引き続き効率的かつ効果的な事業の展開を図る。併せて、市民協働による文化財保護活動を強力に推進する。					A	A	
Action 今後の事務事業の方向										
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	平成22年度に開始した「八街の歴史・文化財出前講座」の活発な周知活動を行い、内容・対象共に拡充する。また、文化財ボランティアの支援に努める。								
	取り組み方向									
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了		
		「八街の歴史・文化財出前講座」を拡充すると共に、文化財ボランティアへの支援を推進し、既存事業との連携を図りながら、さらなる文化財保護思想の普及に努める。								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 5-1-5

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	青少年健全育成費事業						部局等	教育委員会		
							課	社会教育課		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	
	施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街								
八街市総合計画	具体的施策	子どもの教育・健全育成の充実								
	実施計画	青少年の健全育成				開始	2010	終了	2012	
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付			実施根拠	社会教育法			
	負担金	その他 ()								
直接の対象者 (~に対して)	市民					最終的な受益者	市民			
事業目的 (~という状態にするために)	青少年教育事業をととして青少年の健全育成を推進する。									
具体的な事業内容 (~を行う)	青少年教育事業及び青少年相談員の委嘱									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	青少年健全育成								
	青少年の素行改善									
D0 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	1	青少年相談員主催事業の実施	事業	3	3	3	3		
		2	通学合宿の実施	校数	2	2	2	2		
		3	スクールコンサートの実施	会場	8	4	8	4		
		4	成人式の実施	回	1	1	1	1		
		5	放課後子ども教室の実施	回	19	19	9	9		
	事業の効果	1	夏休み映画会の参加者数	人	1133	1294	1417	1500		
		2	少年少女つどい大会の参加者数	人	257	146	231	250		
		3	通学合宿の参加者数	人	36	40	39	40		
		4	成人式の参加者数	人	743	709	678	700		
5		放課後子ども教室の参加者数	人	333	331	221	250			
事業効果に関する外部要因		青少年相談員活動の活発化。ボランティアの協力。								
事業効果の総合分析(達成できたこと)		各事業を実施することにより学校・家庭・地域の連携の元で青少年健全育成を推進できた。								
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	4,168	3,346	4,692	3,131			
	決算額			千円	4,053	3,221	4,404	0		
		特定・その他財源()	千円	299	300	205				
	22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	492		需用費	1,570			
		役務費	1,700		補助金	623				
		賃借料	19							

Check 事務事業の評価																													
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価																							
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	青少年の健全育成は社会的な課題となっている。		A																							
		市の関与は妥当ですか	b	家庭や地域との連携を図る上でも市の関与は必要。																									
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	年々各事業への参加者が増加傾向にあり、青少年健全育成の意識向上につながっている。		B																							
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	常に経費の節減等に努めており、ボランティアの活用も積極的に行っている。		B																							
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	講座等で使用する材料費等は参加者の負担としており適切である。	B																							
総合評価	総括及び事業実施上の課題	b	青少年相談員を中心に各地域において事業を実施しており、青少年健全育成の意識の高揚が図られている。放課後子ども教室は安全に子どもと大人が交流し、心豊かで健やかに成長できる環境を提供した。社会環境の変化が進む中で、青少年教育事業は青少年健全育成を行う上で重要であり、さらなる拡充が求められる。		B B																								
Action 今後の事務事業の方向																													
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	きめ細やかな運営とマスコミやインターネット等を活用したPRを心がける。また、学校・地域・家庭が一体となった青少年健全育成を推進するため、あらゆる機会を活用しPRに努める。																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">取り組み方向</th> </tr> <tr> <th>新規</th> <th>現状維持</th> <th>拡大・拡充</th> <th>統合</th> <th>縮小</th> <th>廃止</th> <th>休止</th> <th>完了</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="8">青少年相談員の更なる活動の促進と地域ボランティアの育成・活用による地域教育力の向上に努める。</td> </tr> </tbody> </table>					取り組み方向								新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了	青少年相談員の更なる活動の促進と地域ボランティアの育成・活用による地域教育力の向上に努める。						
取り組み方向																													
新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了																						
青少年相談員の更なる活動の促進と地域ボランティアの育成・活用による地域教育力の向上に努める。																													

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

〔事務事業評価シート〕

シート番号 5-1-6

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	たけのこの里管理運営事業(社会教育施設管理運営費)							部局等	教育委員会		
								課	社会教育課		
事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画)	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
		具体的施策									
		実施計画							開始	2010	終了
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
	直接実施	業務委託	補助金交付				実施根拠				
負担金	その他	()									
直接の対象者(～に対して)	市民						最終的な受益者	市民			
事業目的(～という状態にするために)	子どもたちがたけのこを掘る自然体験活動の場を提供する。										
具体的な事業内容(～を行う)	市民に親しまれる施設とするための環境整備や竹の間引き作業及び子どもと大人が一緒に行うたけのこ掘り体験期間。										
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
D 事務事業の実施											
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	事業の実績	1	体験学習期間の実施	月	1	1	1	1			
	事業の効果	1	体験者数	人	462	695	547	550			
	事業効果に関する外部要因	利用者からの口コミによるPR効果。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	子どもを含めたグループ等の体験学習により、自然体験や協力し合う心、親子の恰好のふれあいの場とすることができ、地域教育力や家庭教育力の向上につなげることができた。										
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	1,216	1,164	1,148	1,141				
	決算額		千円	1,201	1,156	1,129	0				
		特定・その他財源()	千円								
		一般財源	千円	1,201	1,156	1,129					
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	36 役務費		6					
			委託料	940 使用料		147					

Check 事務事業の評価										
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由					二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	大人と子どもが一緒になって自然体験をする場は限られているので、たけのこ掘りをとおしての自然体験が家庭教育や地域教育力の向上につながりとても好評である。					A	
		市の関与は妥当ですか	b	市有地の有効利用の観点から妥当であるが、ボランティア等の活用も進める必要がある。						
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	ふれあいの場とし、自分たちで掘ったたけのこで食卓を囲んだり、地域に配ったりすることで、家庭や地域のつながりを深めている。					B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	現状も、市職員が間引き作業や除草剤散布などを行い効率化に努めている。					B	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり	たけのこ掘りの体験学習をとおして、家庭や地域の教育力の向上につながっている。また、無料の体験をすることで自然の恵みの大切さや生態の学習の場ともなっている。市内の人であれば子どもを伴ったグループなどで誰でも行うことができることから公平である。				B	
				受益者負担なし						
総合評価	総括及び事業実施上の課題	b	たけのこ掘りを通して自然体験と親子共同体験ができる施設として、体験者からは好評を得ている。近隣住民が憩いの場として利用できるよう桜・紫陽花・キンモクセイの植樹を行った。たけのこ掘り以外の活用のために、更なる施設の充実が課題である。					B	B	
Action 今後の事務事業の方向										
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	広報などを活用したPR及び木や花を植栽し、近隣住民からも親しまれる施設にする。								
	取り組み方向									
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了		
事務事業の今後の方向性		体験施設の建設によるより充実した体験活動の場とする。また、ボランティアの活用で、地域と子どもたちのふれあいの場とする。								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

[事務事業評価シート]

シート番号 5-1-7

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	こども110番支援事業						部局等	教育委員会		
							課	社会教育課		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025		
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1464	内線
八街市総合計画	具体的施策									
	実施計画				開始	2010	終了	2012		
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付			実施根拠				
	負担金	その他	(こども110番推進協議会)							
直接の対象者(～に対して)	こども110番推進協議会					最終的な受益者	市民			
事業目的(～という状態にするために)	子どもたちに対する犯罪を未然に防ぎ、緊急避難場所の確保を目的としたこども110番事業の支援。									
具体的な事業内容(～を行う)	協力世帯募集、看板作成支援及び協力世帯に対する保険加入。									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	1	協力家庭用看板作成枚数	枚	0	1000	0	0		
		2	地域周知用看板立て替え本数	本	0	0	1	1		
		3	募集チラシ印刷枚数	枚	500	0	0	0		
	事業の効果	1	協力世帯数	世帯	2002	1970	1,995	2000		
事業効果に関する外部要因	PTA連絡協議会の取り組み。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	事件・事故の発生時に子どもが逃げ込める場所を確保するとともに、看板を設置していただくことで、青少年への犯罪に対する抑止効果を発揮している。									
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	148	289	139	138			
	決算額		千円	134	282	131				
		特定・その他財源()	千円							
		一般財源	千円	134	282	131				
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	32							
		役務費	99							

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	青少年に対する凶悪犯罪が社会的な問題となっている。		A	
		市の関与は妥当ですか	b	家庭や地域との連携を図る上でも市の関与は必要。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	地域での犯罪等の抑止効果がある。		B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	看板の製作コストを見直す等効率化に努めている		B	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	公益性事業であるので、受益者負担は適当でなく公平である。	A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	b	地域で看板を掲げるにより、地域防犯意識と犯罪抑止効果を高め、子どもたちが安心して登下校できる環境を維持する。今後の課題としては、退会世帯の把握をすること。		B B	
Action 今後の事務事業の方向							
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	こども110番の家に関するリーフレットを作成し、学校を通して小中学生がいる全世帯へ配布する。					
	取り組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
これからも継続した支援事業を行い安全で安心なまちづくりの推進を図る。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 5-2-1

Plan 事務事業の概要												
事務事業名	管理運営費(管理関係)							部局等	教育委員会			
								課	中央公民館			
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年	2025				
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							職・氏名	主査補 栗原清子		
(八街市総合計画)	具体的施策	自ら学ぶ生涯学習めスポーツの推進							電話番号	443-3225	内線	2375
	実施計画	社会教育活動の推進				開始	2010	終了	2012			
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠	公民館管理及び運営に関する規則						
	負担金	その他	()									
直接の対象者(～に対して)	市民					最終的な受益者	市民					
事業目的(～という状態にするために)	市民が利用するにあたり、常時利用しやすい状況とする。											
具体的な事業内容(～を行う)	館内の清掃・設備点検											
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目											
D 事務事業の実施												
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)					
	事業の実績	1	清掃業務	回	1	1	1	1				
		2	警備業務	回	1	1	1	1				
		3	消防設備点検業務	回	1	1	1	1				
		4	空調設備等保守点検業務	回	1	1	1	1				
		5	夜間管理業務	回	1	1	1	1				
	事業の効果	1										
		2										
		3										
	事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		市民が利用するにあたり、常時利用しやすい状況とする。										
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	8,876	12,800	10,067	10,746					
	決算額			千円	8,713	8,658	9,224	10,746				
		特定・その他財源()	千円									
	一般財源	千円	8,713	8,658	9,224							
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			委託料	9,224								

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民サークル活動の活性化の拠点として、施設内の清掃業務・夜間管理・点検業務等、市民が安全に利用するために、施設の維持管は必要である。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	社会教育法第21条により妥当と考える。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	期待された効果は得られているが、一部業務内容の見直しが必要と思われる。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	職員でできるものは、職員が対応することにより経費の節減に努め、効率的な業務を実施。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	サークル・団体等が表の場として安全にできるような管理を行った。	A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	築31年以上が経ち施設の老朽化が激しいため、優先順位を考えて修繕が必要である。		A A	
Action 今後の事務事業の方向							
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	利用者に快適な環境整備とサービスの提供を確保する。					
		取り組み方向					
		新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止
	引き続き、市民の利便性及び安全性を考えた管理体制の充実を図る必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

[事務事業評価シート]

シート番号 5-2-2

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	管理運営費(講座関係)							部局等	教育委員会		
								課	中央公民館		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025			
	実施計画	社会教育活動の推進							開始	2010	終了
八街市総合計画	施策の大綱	五の街 めざます!心の豊かさを感じる街									
	具体的施策	自ら学ぶ生涯学習めスポーツの推進									
事務事業の概要	実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠		社会教育法			
	負担金	その他 ()			最終的な受益者		市民				
直接の対象者(～に対して)	市民							最終的な受益者		市民	
事業目的(～という状態にするために)	市民の学習意欲や社会的課題に対応するため、各種定期講座、こうみんかん祭等を開催し、生活文化の振興を図る。										
具体的な事業内容(～を行う)	公民館運営審議会会議、各種講座開催										
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
D 事務事業の実施											
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	事業の実績	1	運営審議会開催	回	3	3	2	3			
		2	講座開催(長期・前期・後期)	講座	19	19	18	23			
	事業の効果	1	運営審議会委員出席数	人	15	15	15	15			
		2	講座参加者人数	延数	2,755	2,314	2,655	2,700			
		3	こうみんかん祭	来館者数	6,500	4,329	7,631	6,200			
	事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		生きがいのある学習を行うことにより、受講者が知識や技術を地域で役立てたり、交流活動を通して、こうみんかん祭等のサークル同士の仲間づくりや市民との交流を図ることができた。								
	事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
		(最終)予算額		千円	2,323	2,262	2,262	2,136			
決算額				千円	2,078	2,052	2,062	2,136			
		特定・その他財源()	千円								
一般財源		千円		2,078	2,052	2,062					
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬	199								
		報償費	1,207								
		印刷製本費	656								

Check 事務事業の評価										
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由					二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民ニーズは高くなっており、市民の文化振興の拠点として各種講座等を積極的に実施していく必要がある。					A	
		市の関与は妥当ですか	a	サークル等の結成のきっかけ作りとなっている。						
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	学習講座修了後、受講者がサークルを結成し活動する等、市社会教育活動推進の効果が得られている。					A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	身近な講師を活用することで経費節減を図り、効率性を高められた。					A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	公民館運営審議会に諮り講座を開催しており、材料費等については受益者負担としているため適切である。				A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	講座を通して市民の交流を深めるため、主催事業のPRを積極的にを行い公民館運営の活性化に努める。					A	A
Action 今後の事務事業の方向										
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	より多く市民が参加できるような事業の検討を行うとともにこみんかんだよりや駅ギャラリーを活用し、積極的にPRを行う。								
	取り組み方向									
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了		
事務事業の今後の方向性		市民ニーズにあった内容の講座を実施する。								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 5-2-3

Plan 事務事業の概要												
事務事業名	整備事業費							部局等	教育委員会			
								課	中央公民館			
事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街				電話番号	443-3225	内線	2375		
(八街市総合計画)	実施計画	具体的施策	自ら学ぶ生涯学習めスポーツの推進									
		社会教育活動の推進	開始	2010	終了	2012	E-mail	c.kominkan@city.yachimata.lg.jp				
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付									
	負担金	その他	()	実施根拠	公民館管理及び運営に関する規則							
直接の対象者(～に対して)	公民館							最終的な受益者	市民			
事業目的(～という状態にするために)	公民館施設整備を充実し、利用者の利便性を図る。											
具体的な事業内容(～を行う)	公民館施設内の修繕及び管理											
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目											
D: 事務事業の実施												
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)					
	事業の実績	1	施設内の修繕費		726	1,488	1,111					
		2	工事請負費		1,995	3,371	60,989					
	事業の効果	1	公民館機能の充実、学習ニーズに対応した施設・設備を提供できた。									
		2										
		3										
	事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		施設の老朽化が激しいため、優先順位を考えて改修工事を行った。										
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)					
	(最終) 予算額		千円	24,560	76,026	73,386	5,511					
	決算額			千円	23,961	24,995	62,100	5,511				
		特定・その他財源()	千円									
	一般財源	千円	23,961	24,995	62,100							
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		修繕費	1,111	工事請負費	1,617	工事請負費	59,372					

Check 事務事業の評価									
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由				二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民ニーズは高くなっており、活動の場として市民に直接関係があるため必要である。				A	
		市の関与は妥当ですか	a	社会教育法第21条により妥当と考える。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	施設の修繕要求を実施し、優先順位を考え修繕を行っているが、築31年経過し、老朽化が激しいため毎年大規模な改修を行う必要がある。				B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	優先順位を考えた修繕、工事に努め効率的な執行を図っている。				A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	サークルグループ等が学習し、特に発表の場として反映されるため適切である。			A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	築31年以上が経ち施設の老朽化が激しいため、優先順位を考えて修繕が必要である。				A	A
Action 今後の事務事業の方向									
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	優先順位を考えた修繕、工事を行う。公民館天井修繕、地下タンク等解体撤去工事、平成22年度からの繰越予算となるが、きめ細やかな交付金による非常用照明機器修繕工事を実施する。							
	取り組み方向								
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了	
市民の利用性及び安全性を考えた施設整備を行う。地震で破損したことによる改修工事を行う。									

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号

5-3-1

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	図書館管理運営費(資料収集、読書の普及、利用促進)						部局等	教育委員会		
							課	図書館		
						職・氏名	主査補・高橋みち子			
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひとまち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	
	施策の大綱	五の街 めざます!心の豊かさを感じる街								
	具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進								
	実施計画	社会教育活動の推進				開始	2010	終了	2012	
八街市総合計画	「めざそう!ね(値)」	指標	1人あたり図書貸出冊数	指標の内容	図書館に対する市民ニーズや自ら進んで学習活動をしているかを見ます。	めざそう値(目標設定)の考え方	5.20冊 325,000冊	現状値	5.12冊 302,081冊	
	実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付	負担金	その他	()	実施根拠	図書館法・八街市立図書館設置条例・八街市立図書館の管理及び運営に関する規則	
	直接の対象者(〜に対して)	市民						最終的な受益者	市民	
	事業目的(〜という状態にするために)	市民のニーズに即した図書館サービスと、誰もが等しく図書館サービスを受けることができる事業の展開により、読書の普及と図書館の利用促進を図る。								
	具体的な事業内容(〜を行う)	<ul style="list-style-type: none"> 資料の収集:多様化する市民ニーズに応えるために、必要な資料を選書会議により収集し、利用の拡大を図る。 児童サービス:快適な読書環境の提供及び、おはなし会・巡回おはなし会(市内全小学校対象)などを実施している。 集会活動:様々な年齢層を対象に、講座や映画会を開催している。 情報発信:図書館ホームページの作成・公開及び新刊情報や図書館だより等の発行物を作成し配布している。 								
	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
D: 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	1	資料の収集:図書購入冊数	冊	10,074	10,361	9,328	9,300		
		2	児童サービス:おはなし会の開催数	回	136	138	135	146		
		3	集会活動:講座、映画会の開催数	回	41	43	44	72		
	事業の効果	1	資料の貸出:図書貸出冊数	冊	381,262	394,581	379,566	380,000		
		2	児童サービス:おはなし会の参加者数	人	2,175	1,969	1,772	1,772		
		3	集会活動:講座、映画会の参加者数・参加組数	人・組	817人・35組	681人・16組	624人・17組	730人・17組		
		4	情報発信:発行物のタイトル数	タイトル	11	11	12	13		
	事業効果に関する外部要因									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		市民のニーズが多様化する中、開館日数を拡大するとともに、資料の収集、情報の提供を積極的に行った。また、児童サービスや集会活動の実施及び図書館情報発信等の事業を展開し、サービスの充実に努めた。平成22年度末に実施した「図書館の利用者満足に関する調査」の結果、総合評価として、「やや満足・満足」と答えた利用者は78.6%であった。							
事業コスト			単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	18,540	17,883	16,485	16,241			
	決算額	特定・その他財源()	千円	18,428	17,870	16,351	0			
		一般財源	千円	18,428	17,870	16,351				
	22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		貸出用図書購入費	14,395	印刷製本費	70				
		報償費	3	図書館消耗品	1,875					
		食料費	8							

Check 事務事業の評価

区分		一次評価	判定理由		二次評価	
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	図書館は、市民の読書を推進するとともに、必要な資料や情報を収集して、市民の自立的な判断を支えるためには欠かせない施設であり、市民からのニーズは高い。		A	
	市の関与は妥当ですか	a	市民の生涯学習を支える拠点として、図書館の果たす役割は重要性を増しており、市の関与は妥当である。			
有効性	期待された効果は得られていますか	a	多様化する市民の要望に対し、資料購入及び相互貸借制度を活用し、迅速・的確に応えた。また、子どもの読書離れを防ぐため、幅広い読書の機会を提供しており、効果は得られている。		A	
効率性	事業の効率性を高められますか	a	経費の節減に努めるとともに、効率的な執行を図っている。		A	
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない(図書館法第17条)	A	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	市民の知的好奇心を支え、課題解決の手助けをする施設として、開館日数の拡大を始め、資料の収集提供、各種事業を展開し、サービスの充実に努めた。今後も継続してサービスの向上を期し、満足度の高い事業展開を心掛ける。		A	A

Action 今後の事務事業の方向

23年度における取組のPRと方向性	新鮮で魅力ある資料の収集と各種事業・サービスの実施を図り、読書の普及と図書館利用を促進する。また、新たな利用者開拓のための企画事業として、「開館20周年記念・グリム童話の世界」、「ジュニア司書養成講座」等を実施するとともに、乳幼児期から読書に親しむ機会を提供するために、「おひざでだっこのおはなし会」を開催する。							
事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了
	図書館は、市民の知る権利を保障する重要な社会的基盤として位置づけられており、生涯学習を進める上で、重要な施設である。今後、基本的なサービスの充実に努めつつ、ホームページによる情報提供サービス機能を高める。また、引き続き、子どもの読書活動の推進、特に子どもを取り巻く大人も含め、乳幼児期から読書に親しむ機会の提供に努める。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

[事務事業評価シート]

シート番号

5-3-2

事務事業名		図書館管理運営費(臨時職員の雇用、施設等の維持管理)						部局等	教育委員会		
								課	図書館		
当該事業が該当する個別計画等		基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025		
		施策の大綱	五の街 めざします!心の豊かさを感じる街								
八街市総合計画	具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進									
	実施計画	社会教育活動の推進						開始	2010	終了	2012
	めざそう!ね(値)	指標	指標の内容	めざそう値(目標設定)の考え方				現状値			
	実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付	実施根拠		図書館法・八街市立図書館設置条例・八街市立図書館の管理及び運営に関する規則				
実施方法	負担金	その他 ()									
事務事業の概要	直接の対象者(～に対して)	市民					最終的な受益者	市民			
事務事業の概要	事業目的(～という状態にするために)	市民が利用しやすい図書館としての環境整備									
事務事業の概要	具体的な事業内容(～を行う)	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員の雇用：図書 の 装 備、配架、返却 などの事務補助 ・業務委託：清掃、警備、電気工作物保安管理、消防設備保守点検、空調設備保守点検業務など ・機器の賃借、使用：複写機、印刷機、トイレ洗浄・静除システムの賃借、書誌データなどの使用 ・施設、設備等の修繕 ・図書館協議会 									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
D 事務事業の実施											
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	事業の実績	1	臨時職員雇用人数：通常6名、夏季1名・蔵書点検時2名増	人	9	9	9	9			
		2	各種業務委託件数	件	10	10	10	11			
		3	各機器等の賃借・使用件数	件	5	6	6	7			
		4	施設、設備の修繕件数	件	6	7	5	2			
		5	図書館協議会	回	2	2	2	2			
	事業の効果										
	事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		臨時職員の雇用や施設、設備の維持管理などにより、安心・安全な環境のもとで、利用者に対して迅速なサービスを提供することができた。								
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	27,746	34,751	40,019	39,930				
	決算額			千円	27,585	34,351	39,045				
		特定・その他財源(交付金)	千円			1,050					
	一般財源		千円	27,585	34,351	37,995					
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		臨時職員賃金	7,167	修繕料	1,316						
		業務委託料	12,290	図書館協議会委員報酬	92						
		使用料・賃借料	7,958	その他	10,222						

Check 事務事業の評価						
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	安全・安心な環境の中で、迅速にサービス提供しており、市民ニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市が直接関与するよう法律や条例で定められた公共施設であり妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	図書館運営について、期待通りの成果を得られている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	事務効率の向上、経費の削減により効率的な執行を行っている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	公平性に問題はない	A
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	生涯学習の場として、安心・安全な環境のもと、利用者に対して迅速なサービスを提供した。		A A
Action 今後の事務事業の方向						
23年度における取組のPRと方向性	蔵書スペースを確保するために電動書架、B5書架を増設する。また、館内設備を充実することにより、適切な環境整備と利用者に対する迅速なサービスの提供を確保する。					
事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止 休止 完了
	今後も図書館としての環境整備の維持、継続に努めるとともに、すべての市民が等しく図書館サービスを受けられるよう生涯学習施設の環境の充実を図る。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 5-4-1

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	視聴覚教材センター管理運営							部局等	教育委員会	
								課	視聴覚教材センター	
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025		
	施策の大綱	五の街 めざましす！心の豊かさを感じる街								
(八街市総合計画)	具体的施策									
	実施計画				開始	2010	終了	2012		
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付				実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		
	負担金	その他	()					視聴覚教材センター設置条例及び運営規則		
直接の対象者(～に対して)	市民・教職員関係者・青少年相談員・団体関係者など						最終的な受益者	市民		
事業目的(～という状態にするために)	視聴覚教育を推進し、学校教育及び社会教育を充実し、市民の文化向上を図る。									
具体的な事業内容(～を行う)	<ul style="list-style-type: none"> ・16ミリ映写機操作講習会の開催 ・視聴覚教材センター委員会議の開催 ・視聴覚教材目録の作成 ・機材・教材の維持管理 									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
D0 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	16ミリ映写機操作講習会	回	1	1	1	-			
		視聴覚教材センター委員会議	回	2	2	1	2			
		視聴覚教材目録の作成	回	1	1	1	1			
	事業の効果	講習会参加者人数	人	5	4	1	-			
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		16ミリ映写機操作講習会は、近年の機材の変化等により、講習会参加者が減少傾向にある。								
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終) 予算額		千円	531	204	167	149			
	決算額		千円	446	181	161				
		特定・その他財源()	千円							
		一般財源	千円	446	181	161				
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	30							
		需用費	74							
		負担金	44							

Check 事務事業の評価										
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由					二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	b	・16ミリフィルムを利用した学習活動を行う場合、映写機の操作方法の習得が必要となるが、16ミリ操作講習会の参加者は減少傾向にある。 ・県視連に加盟(負担金納入)していることにより、団体貸出用教材が購入できている。					B	
		市の関与は妥当ですか	a	市、所有の映写機を操作するための操作指導となるため妥当である。						
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	・16ミリ操作講習会で学んだことを、受講者が学習活動の場で活用してはいるが、近年の機材等の変化により、活用する機会が減少傾向にある。 ・団体貸出用教材を購入し、団体貸出ができています。					B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	16ミリ操作講習会について、必要性・有効性を考慮し、個別指導での実施にする。 目録印刷については、自前で作成できるように検討する。					B	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり	市全体の教育活動の場で反映されており、公平性に問題はない。				A	
		受益者負担なし								
総合評価	総括及び事業実施上の課題	b	事業全体の継続性は必要だが、内容の見直しが必要と思われる。					B	C	
Action 今後の事務事業の方向										
	23年度における取組のPRと方向性	今年度は16ミリ操作講習会を開催せず、個別指導での実施をし、視聴覚教育の有効性や16ミリフィルムの持つ魅力を理解していただき、効果的な学習活動の展開と、より魅力的でゆとりある学習活動の展開を図る。								
事務事業の今後の方向性	取り組み方向									
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了		
	16ミリ操作講習会については、廃止し、随時の個別指導での実施に改善する。 目録印刷を自前で作成できるように検討し、経費削減を図る。									

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

[事務事業評価シート]

シート番号 5-4-2

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	視聴覚教材整備						部局等	教育委員会		
							課	視聴覚教材センター		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025		
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	444-5222	内線
八街市総合計画	具体的施策									
	実施計画				開始	2010	終了	2012		
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付			実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			
	負担金	その他	()				視聴覚教材センター設置条例及び運営規則			
直接の対象者 (~に対して)	機材・教材の各種団体への貸出					最終的な受益者	市民			
事業目的 (~という状態にするために)	視聴覚教育を推進し、学校教育及び社会教育を充実し、市民の文化向上を図る。									
具体的な事業内容 (~を行う)	視聴覚機材・教材を購入整備して、各種団体に対して、貸出を行う。									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
D 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	機材の購入	台	4	0	0	0			
		教材の購入	本	13	15	12	12			
	事業の効果	機材貸出件数	件	805	641	804	820			
		教材貸出件数	件	183	167	120	150			
	事業効果に関する外部要因									
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		視聴覚機材・教材の活用により、市民に対する効果的な学習活動の展開と、より魅力的でゆとりある学習活動の展開を図ることができた。							
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	627	380	380	360			
	決算額			千円	593	380	374			
		特定・その他財源()	千円	200						
	一般財源		千円	393	380	374				
22年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		備品購入費		374						

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	b	視聴覚教育を進める中で、機材・教材の購入は必要である。		B	
		市の関与は妥当ですか	a	特に教材については、著作権の問題もあり、高価なものの為、市での購入が妥当である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	視聴覚機材・教材の活用により、市民に対する効果的な学習活動の展開と、より魅力的でゆとりある学習活動の展開を図ることができた。		B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	視聴覚教育を進める中で、機材・教材の購入は必要である。		B	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	市全体の教育活動の場で反映されており、公平性に問題はない。	A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	b	既存の機材・教材の有効活用を図りつつ、利用団体等の要望を踏まえた、新たな教材の購入ができた。		B B	
Action 今後の事務事業の方向							
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	今年度も、予算の範囲内において、有効に活用できる教材の購入をする。					
	取り組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
事務事業の今後の方向性		既存の機材・教材の有効活用を図りつつ、新たな機材・教材も確保する。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 5-5-1

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	郷土資料館管理運営事業						部局等	教育委員会			
							課	郷土資料館			
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025			
	施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1726	内線	
(八街市総合計画)	具体的施策	市民文化の創造と継承									
	実施計画	文化財の保護・継承			開始	2010	終了	2012			
	'めぞう！ね(値)'	指標	来館者数	指標の内容	文化財に対する関心の高さ	めぞう値(目標設定)の考え方	20%増	現状値	2023		
	実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付	実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律・社会教育法・博物館法・八街市郷土資料館設置条例					
負担金	その他 ()			最終的な受益者	市民のみならず、来館される全ての方々						
直接の対象者(～に対して)	市民のみならず、来館される全ての方々										
事業目的(～という状態にするために)	市内外の方々から寄贈・寄託された各種資料や、発掘調査等で得られた考古資料を広く公開し、多くの方々に八街市の歴史を理解していただくことを目的とする。										
具体的な事業内容(～を行う)	常設展示の開催 企画展示の開催 体験参加型の展示 古文書講座等の開催										
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	郷土資料館企画展において実施しているアンケート結果から									
	八街市の貴重な文化財や各種歴史資料を保存・展示・収蔵する施設として、プレハブは不適格であるとともに、プレハブ自体の老朽化が著しいことは問題である。										
D0 事務事業の実施											
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	事業の実績	1	企画展の開催数	回	1	1	1	1			
		2	古文書講座の開催日数	日	5	5	6	5			
	事業の効果	1	年間の入館者数	人	2023	2210	2206	2250			
		2	企画展の観覧者数	人	885	933	955	980			
		3	古文書講座の応募者数	人	17	22	109	20			
	事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		最小限の予算で最大限の効果を発揮するよう、郷土資料館事業全体で努力した。ここ数年間、年間入場者数、企画展観覧者数ともに増加傾向にある。昨年度は東日本大震災の影響で3月11日以降の来館者は0に近いものがあり、年間では若干の減少が見られたが、徐々に回復傾向にある。								
	事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
		(最終)予算額		千円	2,745	2,677	2,765	2,441			
決算額				千円	2,707	2,649	2,666	0			
		特定・その他財源()	千円								
一般財源		千円	2,707	2,649	2,666						
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		賃金1224、報償費95、需用費642、役務費519、委託料128、備品購入費58									

Check 事務事業の評価								
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	近年では、団塊の世代の「八街の歴史を知りたい」というニーズは高まっており、郷土資料館の果たす役割はさらに重要性を増している。		A		
		市の関与は妥当ですか	a	広く八街市の歴史を理解していただくために、毎年企画展を開催し、古文書講座や歴史講座を定期的で開催することによって最新の研究成果を発表する場を設けており、市史編さん等の調査結果をすぐに展示等に反映できるので、妥当であると思われる。				
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	「八街には開墾以前の歴史はなかった」という誤った認識は薄れつつあるが、更なる努力が必要である。		B		
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	すでに経費節減に努めており、効率的な執行を図っている。		A		
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	広く一般に無料で開放している施設であり、公平性は保たれている。	A		
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	郷土資料館は常に最新の調査・研究成果を展示し、市民のみならず来館される全ての方々に、八街の歴史を知っていただく施設として機能しており、継続して実施していく必要がある。また、今後学校教育との連携を進めることにより、更なる活用に努めていく必要がある。		A A		
Action 今後の事務事業の方向								
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	郷土資料館の展示内容については、まだまだ未完成であり、イラストを多用したよりわかりやすいものに改善していく必要がある。また、企画展や体験参加型の展示により更なる充実を図る必要がある。						
	取り組み方向							
		新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
		郷土資料館は教育施設として、社会教育のみならず学校教育においても重要な位置づけとなるため、更なる拡充をして活用に努める必要がある。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

[事務事業評価シート]

シート番号 5-5-2

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	市史編さん事業						部局等	教育委員会			
							課	郷土資料館			
事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025	職・氏名 主査 進藤泰浩	
	(八街市総合計画)	施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街			電話番号	443-1726	内線			
実施方法	具体的施策	市民の文化の創造と継承						E-mail	kyodo@city.yachimata.lg.jp		
	実施計画	文化財の保護・継承	開始	2010	終了	2012					
実施方法	めざそう！ね(値)	指標	資料集発刊数	指標の内容	資料集の整備状況	めざそう値(目標設定)の考え方	資料集1冊の刊行	現状値	2		
	直接実施	業務委託	補助金交付	実施根拠						公文書館法・公文書等の管理に関する法律・八街市史編さん委員会条例	
負担金	その他	()									
直接の対象者(～に対して)	市民のみならず、八街の歴史に興味のある方々						最終的な受益者	市民のみならず、八街の歴史に興味のある全ての方々			
事業目的(～という状態にするために)	八街市の歴史を調査研究し、後世に歴史遺産を伝えるため										
具体的な事業内容(～を行う)	市史編さん委員会 市史編さん委員会 考古専門部会 市史編さん委員会 近世専門部会 八街市史関連図書の刊行										
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	郷土資料館企画展及び古文書講座等のアンケート									
予算を多くつけて早めに刊行してほしい											
D0 事務事業の実施											
実績・成果	区分			単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	市史編さん委員会開催日数			日	2	2	1	2		
		考古専門部会開催日数			日	1	1	1	3		
		近世専門部会開催日数			日	5	3	1	2		
	事業の効果	市史編さん委員会審議件数			件	4	4	2	4		
		考古専門部会委員のべ活動日数			日	22	23	24	40		
		近世専門部会委員のべ活動日数			日	131	112	96	105		
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと) 平成15年度に近世部会、平成17年度に考古部会を結成し、近世部会では平成21年度に「八街市史 資料編 近世二」を刊行し、現在は「八街市史 資料編 近世三」の刊行に向けて作業を進めているところである。考古部会では平成23年度に「図解 八街の歴史」を刊行する予定で作業を進めている。また、平成24年度には近現代部会を結成するべく準備を進めている。											
事業コスト	区分			単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終)予算額			千円	3,904	6,392	4,563	5,729			
	決算額				千円	3,895	6,340	4,332	0		
		特定・その他財源()			千円						
	一般財源			千円	3,895	6,340	4,332				
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)				報酬219、報償費1,670、旅費12、需用費1,006、役務費720、委託料683、負担金22							

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民の「八街の歴史を知りたい」という気持ちは年々深まっており、早急に古文書をはじめとする各種資料の調査研究を進める必要がある。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	市の歴史を明らかにする作業であり、市が直営で責任を持って実施するべきである。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	「八街市史 資料編 近世一・二」の刊行により、徐々にではあるが効果が得られている。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	長期的な展望を持ち地道な作業を続ける必要があり、現在以上の効率化は認められない。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	事業の成果は「八街市史」として広く公開されるので、公平性に問題はない。	A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	市は自己の成り立ちをはじめとする歴史について調査し、研究を進め、一定の見解を示す必要がある。したがって、更なる調査研究を進め、市史編さんの速度を上げていく必要がある。		A A	
Action 今後の事務事業の方向							
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	平成23年度に「図解 八街の歴史」を刊行予定であり、「八街市史 資料編 近世三」の刊行にむけた古文書整理および研究を継続していく。					
	取り組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
事務事業の今後の方向性		現在進めている「八街市史 資料編 近世三」刊行事業および今後立ち上げる必要のある近現代部会で刊行する予定の「八街市史 資料編 近現代一」の刊行事業を鑑みると、古文書を読む専門職員の必要性を痛感する。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号

6-1-1

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	スポーツ振興等事業(保健体育総務費)							部局等	教育委員会		
								課	スポーツ振興課		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025		
	実施計画	生涯スポーツの推進				開始	2010	終了	2012		
八街市総合計画	「めざそう!ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値			
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付				実施根拠	八街市スポーツ振興審議会条例			
	負担金	その他	()					八街市体育指導委員に関する規則			
直接の対象者(～に対して)	スポーツ関係者						最終的な受益者	市民			
事業目的(～という状態にするために)	市のスポーツ振興を図るため、指導者の育成推進等										
具体的な事業内容(～を行う)	・スポーツ振興審議会会議、体育指導委員会会議の開催 ・印旛郡市体育協会負担金支出 ・スポーツ振興事業国内遠征激励費支出										
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
D 事務事業の実施											
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	事業の実績	スポーツ振興審議会会議		回	1	2	2	2			
		体育指導委員会会議		回	5	6	6	6			
	事業の効果	本市スポーツ振興に係る基本的経費となっている									
		事業効果に関する外部要因									
事業効果の総合分析(達成できたこと)		本市スポーツ振興に係る基本的経費となっている。体育指導委員については、市民体育祭をはじめとする各種大会において、競技役員として活躍している。									
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	3,764	4,097	4,557	4,916				
	決算額			千円	3,377	3,630	4,038	0			
		特定・その他財源()		千円							
	一般財源		千円	3,377	3,630	4,038					
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬	716 役務費			420					
		臨時職員賃金	159 負担金・補助金			551					
		需用費	707 公課費			37					

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分	一次評価	判定理由			二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市のスポーツ振興に対する市民のニーズは高くなっており、また、スポーツ振興の重要施策を審議・建議するスポーツ振興審議会会議、各行事等役員に関わる体育指導委員会会議は、市民の生活に直接関係があるため、必要である。			A
		市の関与は妥当ですか	a	法に基づき市スポーツ振興の重要事項を審議、建議する機関であり不可欠である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	スポーツ振興審議会会議2回、体育指導委員会会議6回実施した。本市スポーツ振興に係る基本的経費となっている。			A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	スポーツ振興審議会会議については、必要時に招集し行っている。職員の欠員に対しては、臨時職員を雇用・活用し業務を行っている。			A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	スポーツ振興審議会会議で審議・建議された事項は、市のスポーツ振興、各行事の円滑な運営に繋がるもので、公平性に問題はない。		A
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	市民のニーズに対応するため、スポーツ振興審議会会議への諮問を基本とし、業務を遂行していく。			A A
Action 今後の事務事業の方向							
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	教育を取り巻く環境が激変する中、スポーツ振興におけるスポーツ振興審議会をはじめ、体育指導委員会等の各種団体の意見を各種会議の場で集めながら、今後のスポーツ振興に役立てていく。また、「やちまた教育の日」制定に伴い、PRに努める。なお、東日本大震災に伴い、各種行事を円滑に運営することと併せ、日本を元気にする場、八街市をPRする場として位置づけてまいりたい。					
		取り組み方向					
		新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止
	スポーツ振興審議会は、市スポーツ振興の重要事項を審議・建議する機関であり、継続して実施していく必要がある。さらに、現状を把握し、本市の一層のスポーツ振興を図っていくことが重要である。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

[事務事業評価シート]

シート番号 6-1-2

Plan 事務事業の概要													
事務事業の概要	事務事業名		各種スポーツ大会の開催等(体育振興費)					部局等		教育委員会			
								課		スポーツ振興課			
								職・氏名		主査・酒和裕一			
	当該事業が該当する個別計画等		基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた		開始年度	2005	終了年度	2025	電話番号	443-1465	内線	
			施策の大綱	五の街 めざまします!心の豊かさを感じる街									
			具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進									
	八街市総合計画		実施計画	生涯スポーツの推進			開始	2010	終了	2012			
			「めざそう!ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方			現状値		
	実施方法		直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠	スポーツ振興法					
			負担金	その他	()			各種大会開催経費等					
直接の対象者(～に対して)		市民					最終的な受益者	市民					
事業目的(～という状態にするために)		各種スポーツ大会を開催し、市民の健康増進と相互の親睦を深める。											
具体的な事業内容(～を行う)		市民を対象とした各種スポーツ大会の開催 ・市民ゴルフ大会(通常5月、東日本大震災の関係で延期)、近隣中学校交流野球大会(6月)、スポーツレクリエーション祭(9月)、少年野球教室(12月)、近隣中学校交流柔道大会(1月)、ロードレース大会(2月) 各種スポーツ団体への活動補助金の交付 ・体育協会 ・スポーツ少年団 ・家庭婦人バレーボール連盟											
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目											
Do 事務事業の実施													
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)						
	事業の実績	市民ゴルフ大会		回	1	1	1	1					
		市スポーツレクリエーション祭		回	4	4	4	4					
		少年野球教室、市ロードレース大会		回	各1	各1	各1	各1					
	事業の効果	市民ゴルフ大会		人	152	142	132	150					
		市スポーツレクリエーション祭(インディアカ、ソフトバレー、グラウンドゴルフ、パークゴルフ)		人	457	459	307	450					
		少年野球教室		人	238	239	194	250					
		市ロードレース大会		人	277	328	262	330					
	事業効果に関する外部要因												
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		平成22年度において、市民ゴルフ大会(27回)、少年野球教室(33回)、市ロードレース大会(33回)となり、市民に定着した事業となっている。										
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)						
	(最終)予算額		千円	3,904	4,505	4,557	4,286						
	決算額			千円	3,896	4,395	4,238	0					
		特定・その他財源()		千円		200	200						
		一般財源		千円	3,896	4,195	4,038						
	22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費(講師等謝礼)	200 役務費(保険料)		135							
		需用費(消耗品費)	395 補助金		3,050								
		需用費(食糧費)	282										

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	本事業は、「生涯スポーツの推進」への貢献が大きいと考える。また、実施回数及び参加人数の推移からも効果は得られていると考える。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	市主催事業として、妥当であると考えます。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	実施回数、参加人数の推移からも効果は得られていると考える。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	効率性を高めながら現在に至っている。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	公平性は保たれている。	A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	各事業実施前後、関係団体等との打合せ会議を行い、前回の反省、次回への反映について協議を行い毎年実施している。今後、更に公平性、市民のニーズに応えていく。		A A	
Action 今後の事務事業の方向							
23年度における取組のPRと方向性	関係機関・団体との会議の場や、市広報の活用により開催事業等のPRに努める。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
	本市のスポーツ振興、生涯スポーツの振興に必要不可欠であり、継続して実施していかなければならない。さらに現状を把握し、一層の活性化を図ることが必要である。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 6-1-3

Plan 事務事業の概要													
事務事業名	市民体育祭の開催(市民体育祭運営費)							部局等	教育委員会				
								課	スポーツ振興課				
事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025				
		施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街							職・氏名	主査・酒和裕一		
(八街市総合計画)	実施計画	具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進							電話番号	443-1465	内線	
		実施計画	生涯スポーツの推進			開始	2010	終了	2012				
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付			実施根拠	スポーツ振興法						
		負担金	その他 ()				最終的な受益者	市民					
直接の対象者(～に対して)	市民							最終的な受益者	市民				
事業目的(～という状態にするために)	市民の健康づくりとレクリエーションに対する意識を高め、併せて地域の融和を図る。												
具体的な事業内容(～を行う)	スポーツの祭典を通じて市民の健康づくりとレクリエーションに対する意識を高める。10月開催。												
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目												
D0 事務事業の実施													
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)						
	事業の実績	市民体育祭		回	1	中止	中止	1					
	事業の効果	市民体育祭参加者数		人	2199	中止	中止	2200					
事業効果に関する外部要因													
事業効果の総合分析(達成できたこと)	本市最大のスポーツ行事であり、市民の健康づくりとレクリエーションに対する意識を高め、地域の融和を図ることに寄与している。平成22年度で第55回であったが、降雨によるコンディション不良により中止となった。												
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)						
	(最終)予算額		千円	2,709	21	710	3,058						
	決算額			千円	2,687	21	676	0					
		特定・その他財源()	千円										
	一般財源	千円	2,687	21	676								
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	需用費(消耗品費)	300 補助金		367									
	需用費(食糧費)	6											
	役務費	3											

Check 事務事業の評価										
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由					二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市の教育行政に対する市民のニーズは高くなっており、生涯スポーツ振興についても同様である。市内全域より集まる本市最大のスポーツ行事となっている。					A	
		市の関与は妥当ですか	a	スポーツ振興法に唱われているように、体育の日において「ひろく国民があらゆる地域及び職域でそれぞれその生活の実情に即してスポーツをすることができるような行事が実施されるよう」市が関与する必要がある。						
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	平成22年度は降雨によるコンディション不良により中止となったが、第55回の歴史があり、例年の参加者数からも成果がみられる。					A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	毎年度、行事前後に関係団体等による会議を開催し、協議検討を行い次年度の実施を行っている。一部業務を外部委託するなど、効率性を高めてきている。					A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり	市全体を各支部に分け参加者を募り、また、運動能力テスト、オープン参加競技等もあるため、公平性に問題はない。				A	
		受益者負担なし								
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	毎年度、前回の反省点を検証し次回大会を実施し今日に至っている。今後、さらに市民のニーズに応えていく。					A	A	
Action 今後の事務事業の方向										
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	例年実施しているように、関係団体等の会議はもとより、市広報、防災無線等によりPRに努める。								
	取り組み方向									
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了		
体育の日の行事として継続していかなければならないが、さらに現状を把握し、一層の充実を図ることが必要である。										

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

[事務事業評価シート]

シート番号 6-1-4

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	八街市ピーナッツ駅伝大会の開催(八街市ピーナッツ駅伝大会運営費)							部局等	教育委員会		
								課	スポーツ振興課		
事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025		
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街								
		具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進								
		実施計画	生涯スポーツの推進				開始	2010	終了	2012	
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付				実施根拠	スポーツ振興法			
		負担金	その他 ()					最終的な受益者	市民		
直接の対象者(～に対して)	市民										
事業目的(～という状態にするために)	冬季スポーツの一環として実施し、体力の向上とランニングについての関心を高め、地域融和の発展を図る。										
具体的な事業内容(～を行う)	駅伝大会の実施 ・一般の部(5区間、21.00km) ・高校の部(5区間、21.00km) ・中学男子の部(8区間、21.00km) ・女子の部(5区間、12.35km) ・オープンの部(5区間、21.00km)										
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施											
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	事業の実績	八街市ピーナッツ駅伝大会		回	1	1	中止	1			
	事業の効果	八街市ピーナッツ駅伝大会参加者数		人	417	448	中止	450			
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		冬季スポーツの一環として実施し、体力の向上とランニングについての関心を高め、地域融和の発展を図っている。平成22年度において第54回だったが、降雪のため中止となった。									
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	896	962	887	857				
	決算額			千円	838	948	678	0			
		特定・その他財源()	千円								
	一般財源		千円	838	948	678					
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費(消耗品費)	216		仮設トイレ賃借料	95					
		需用費(食糧費)	105								
		自動車借上料	262								

Check 事務事業の評価										
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由					二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	生涯スポーツについての市民の関心は高まっている。参加者数の増加からも市民のニーズが高まっている。					A	
		市の関与は妥当ですか	a	体力の向上とランニング意識の高揚のため、市主催冬季行事として妥当であると考えられる。						
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	平成22年度で第54回の歴史があり、参加者数からも成果がみられる。					A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	毎年度、行事前後に関係団体等による会議を開催し、協議検討を行い次年度の実施を行っている。平成21年度には、コース・区間の変更を行い、安全性・効率性を高めてきている。					A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり	5部門に分け募集を行い、それぞれの体力に見合うコース・区間設定を行っており、公平性に問題はない。				A	
		受益者負担なし								
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	毎年度、前回の反省点を検証し次回大会を実施し今日に至っている。今後、さらに市民のニーズに応えていく。					A	A	
Action 今後の事務事業の方向										
	23年度における取組のPRと方向性	例年実施しているように、関係団体等の会議はもとより、市広報等によりPRに努める。								
事務事業の今後の方向性	取り組み方向									
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了		
	冬季行事として継続して実施していかなければならないが、さらに現状を把握し、一層の活性化を図ることが必要である。									

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 6-1-5

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	印旛郡市民体育大会の開催(郡市民体育大会運営費)						部局等	教育委員会		
							課	スポーツ振興課		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	
	実施計画	生涯スポーツの推進				開始	2010	終了	2012	
八街市総合計画	実施計画	生涯スポーツの推進				開始	2010	終了	2012	
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付			実施根拠	スポーツ振興法			
	負担金	その他	()				最終的な受益者	印旛郡市民		
直接の対象者(～に対して)	印旛郡市民					最終的な受益者	印旛郡市民			
事業目的(～という状態にするために)	印旛郡市民体育大会へ参加を通じて、スポーツの普及と健康増進を図り、八街市のスポーツ振興発展と青少年の健全育成を図る。									
具体的な事業内容(～を行う)	印旛郡市を東西に分け会場とし、毎年開催されている。平成22年度は東部地区が担当で、八街市においては、柔道(八街中央中武道場)、弓道(八街市スポーツプラザ)、バスケットボール男女(八街市スポーツプラザ)が会場となり開催。									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
D 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	印旛郡市民大会		回	1	1	1	1		
		印旛郡市民体育大会(八街市参加者)		人	308	303	314	310		
	事業効果に関する外部要因									
事業効果の総合分析(達成できたこと)		本大会を通じてスポーツの普及と健康増進を図り、地域スポーツの振興発展と青少年の健全育成を図った。平成22年度で第61回の歴史がある。								
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	983		178	0			
	決算額			千円	967	0	135	0		
		特定・その他財源()		千円						
	一般財源		千円	967		135				
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費(消耗品費)		117						
		需用費(食糧費)		18						

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	生涯スポーツ振興について、市民のニーズは高くなっている。本大会は、印旛郡市全域より集まる印旛郡市最大のスポーツ行事となっている。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	印旛郡市の応分の負担として妥当である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	平成22年度で第61回の歴史があり、参加者数からも成果がみられる。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	毎年度、行事前後に関係団体等による会議を開催し、協議検討を行い次年度の実施を行い、効率性を高めてきている。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	市体育協会各専門部等により選考会等開催し、推薦により選手を決定している。公平性に問題はない。	A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	毎年度、前回の反省点を検証し次回大会を実施の上今日に至っている。今後さらに印旛郡市民のニーズに応えていく。		A A	
Action 今後の事務事業の方向							
23年度における取組のPRと方向性	例年実施しているように、関係団体等の会議はもとより、市広報等によりPRに努める。						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
事務事業の今後の方向性	印旛郡市行事として継続して実施していかなければならないが、さらに現状を把握し、一層の活性化を図ることが必要である。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 6-1-6

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	学校施設のスポーツ開放事業(学校開放推進費)						部局等	教育委員会			
							課	スポーツ振興課			
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025		
	施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街						職・氏名	主査・酒和裕一		
八街市総合計画	具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進									
	実施計画	生涯スポーツの推進				開始	2010	終了	2012		
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方				現状値	
	直接実施	業務委託	補助金交付			実施根拠	スポーツ振興法・社会教育法				
直接の対象者(～に対して)	学校開放施設利用団体					最終的な受益者	市民				
	負担金	その他 ()			八街市立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則						
事業目的(～という状態にするために)	学校の施設を学校教育に支障のない範囲で幼児、児童、生徒及び一般市民の利用に供することで、八街市における社会教育の普及並びに幼児及び児童の安全な遊び場を確保するため。										
具体的な事業内容(～を行う)	市内小中学校の校庭、運動場、プールの一般開放を行い、施設の有効活用と市民の運動意識高揚を図る。										
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
D 事務事業の実施											
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	事業の実績	学校施設開放(屋内運動場)		施設	15	15	16	16			
		学校施設開放(屋外運動場)		施設	13	13	13	13			
		プール開放(八街北中学校、八街南中学校)		施設	2	2	2	2			
	事業の効果	学校開放利用者(屋内運動場)		人	187614	195740	182825	196000			
		学校開放利用者(屋外運動場)		人	46804	49824	42910	50000			
		プール開放利用者		人	4007	3546	4625	4600			
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		学校の施設を学校教育に支障のない範囲で幼児、児童、生徒及び一般市民の利用に供し、八街市における社会体育の普及並びに幼児及び児童の安全な遊び場確保を図り、市民の運動意識高揚を図った。									
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	7,171	7,028	7,028	7,176				
	決算額			千円	6,725	6,686	6,728	0			
		特定・その他財源()		千円							
		一般財源		千円	6,725	6,686	6,728				
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費(委員、指導員報酬)		1,472 委託料		4,883					
		需用費(消耗品費)		20 賃借料		258					
		役務費(保険料)		95							

Check 事務事業の評価								
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民の社会体育の普及並びに幼児・児童の安全な遊び場確保のために市民のニーズは高い。		A		
		市の関与は妥当ですか	a	市で管理する学校施設を開放するため、必要不可欠である。				
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	市民のスポーツ・レクリエーションに有効に活用され、現在飽和状態となっている。		A		
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	平成21年度から、カギの長期貸出しを開始するなど、効率化に努めている。		A		
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	学校施設のスポーツ開放にあたっては、団体登録を行い、参加希望者がある場合、代表者を紹介(本人了解済の団体)するなどしており、公平性は保たれている。	A		
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	例年、学校開放運営協議会委員、学校開放管理指導員(遊び場開放)による会議を実施し、重要事項について協議しているが、さらに市民のニーズに応えていく。		A A		
Action 今後の事務事業の方向								
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	遊び場開放について、教頭会において「学校だより」による広報を依頼。今後においても児童の安全な遊び場についてPRに努める。また、東日本大震災に伴う、夜間利用について適正に利用者への周知を図る。						
	取り組み方向							
		新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
事務事業の今後の方向性		学校施設のスポーツ開放、遊び場開放は、継続して実施していかなければならないが、さらに現状を把握し、一層の有効利用を図ってまいりたい。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 6-1-7

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	国民体育大会の運営(国民体育大会運営費)						部局等	教育委員会			
							課	スポーツ振興課			
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025			
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						職・氏名	主査・酒和裕一		
(八街市総合計画)	具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進						電話番号	443-1465	内線	
	実施計画	生涯スポーツの推進			開始	2010	終了	2012			
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付			実施根拠	第65回国民体育大会実施要項				
	負担金	その他	()				ゆめ半島千葉国体八街市実行委員会会則 等				
直接の対象者(～に対して)	国民体育大会「デモンストレーションとしてのスポーツ行事・バウンドテニス」参加者(県内に居住する高校生以上の者)						最終的な受益者	千葉県民			
事業目的(～という状態にするために)	国民体育大会は、1946年(昭和21年)の第1回大会以来、わが国最大のスポーツの祭典として広く国民に親しまれ、国民の健康増進と体力向上、スポーツの普及発展、そして豊かで活力ある地域社会づくりに大きな役割を果たしており、千葉県で開催される「ゆめ半島千葉国体」において、八街市では、デモンストレーションとしてのスポーツ行事として「バウンドテニス」競技が開催され、スポーツの普及振興はもとより、県内から多数参加される方々との友好を築き、八街市の豊かな自然と物産、歴史を知っていただく。										
具体的な事業内容(～を行う)	国民体育大会「デモンストレーションとしてのスポーツ行事・バウンドテニス」競技の運営を行う。 ・関係機関・団体との連携を図り、限りある経費を最大限に生かし大会運営を行う。 ・市民のスポーツに関する関心をさらに深め、その普及・振興を図り、健康の増進ならびに生涯スポーツの推進につなげる。 ・県内から訪れる人々を温かく迎え、ふれあいと友情の輪を広げるとともに、八街市の豊かな自然と物産、歴史や文化等を県内にPRする。										
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
D 事務事業の実施											
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	事業の実績	第65回国民体育大会「バウンドテニス」		回			1				
	事業の効果	参加者		人			162				
		大会関係者		人			152				
		観覧者		人			440				
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		国民体育大会「デモンストレーションとしてのスポーツ行事・バウンドテニス」競技の運営を適正に行った。									
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	(最終)予算額		千円			1,084					
	決算額			千円	0	0	1,075	0			
		特定・その他財源()		千円			698				
		一般財源		千円			377				
	22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費(消耗品費)	541	役員費(通信費・保険料)	16					
		需用費(食糧費)	53	賃借料	215						
		需用費(印刷費)	250								

Check 事務事業の評価								
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	生涯スポーツ振興への市民のニーズは高い。		A		
		市の関与は妥当ですか	a	千葉県開催年であり妥当である。				
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	第65回大会となっている。また、正式競技においては千葉県は男女総合成績1位の天皇杯、女子総合1位の皇后杯を取得した。八街市においてデモンストレーションとしてのスポーツ行事「バウンドテニス」を実施した。		A		
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	実行委員会を設立し、関係機関・団体と連携を図り実施した。		A		
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	補助金対象外経費について参加負担金により対応するなど、公平性に問題はない。	A		
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	千葉県における開催は、昭和48年に開催された第28回大会「若潮国体」以来37年ぶり2度目の国体開催であったが、開催地の自治体の財政負担など課題が顕在化しており、今後さらに市民のニーズに応じていく必要がある。		A A		
Action 今後の事務事業の方向								
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	23年度においては山口県開催となり、当分の間、他都道府県の開催となるが、可能な限りPRに努める。						
	取り組み方向							
		新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
国民体育大会は、継続して実施していくものと思われるが、さらに現状を把握し、一層の活性化を図るよう努めてまいりたい。								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 6-2-1

Plan 事務事業の概要												
事務事業の概要	事務事業名	学校保健諸費						部局等	教育委員会			
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画)	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	課	学校教育課
		施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街						職・氏名	副主査 小川由佳		
		具体的施策	学校教育の充実						電話番号	内線	2369	
		実施計画	健康づくりの推進				開始	2010	終了	2012	E-mail	
	実施方法	めざそう！ね(値)	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
		直接実施	業務委託	補助金交付			実施根拠					
	負担金	その他	()									
	直接の対象者(～に対して)	幼稚園児・児童・生徒・養護教諭・保健主事						最終的な受益者	幼稚園児・児童・生徒・保護者			
	事業目的(～という状態にするために)	・学校管理下における児童、生徒等の災害に対し精神的、経済的負担の軽減を図る。 ・学校保健会、養護教諭会、保健主事会の健全な運営を図る。										
具体的な事業内容(～を行う)	・負担金(日本スポーツ振興センター災害共済掛金、県郡学校保健会、県郡養護教諭会、県郡保健主事会)											
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目											
D 事務事業の実施												
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)					
	事業の実績	1	日本スポーツ振興センター災害共済掛金	人	7,605	7,334	6,233	6,163				
		2	学校保健会・養護教諭会・保健主事会負担金	千円	201	228	221	246				
	事業の効果	1	児童生徒に対する共済給付	人	359	290	426					
		2	学校保健会・養護教諭・保健主事会の健全な育成	千円	201	228	221	246				
	事業効果に関する外部要因		・児童・生徒数の減少により、スポーツ振興センター災害共済掛金は減額されている。									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		・学校管理下における児童・生徒の事故等に対し、災害給付を行うことにより、幼稚園児、児童、生徒及び保護者の精神的、経済的負担を軽減できた。									
	事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
		(最終)予算額		千円		7,053	6,948	6,474	6,426			
決算額				千円		7,052	6,827	6,472	0			
		特定・その他財源()		千円								
		一般財源		千円		7,052	6,827	6,472				
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	19								
			負担金	6,453								

Check 事務事業の評価																													
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価																							
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	安心・安全な学校生活を送るため、対象者からのニーズは高い。		A																							
		市の関与は妥当ですか	a	学校管理下における児童・生徒等の災害に対し必要な事業である。																									
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	幼稚園児、児童、生徒及び保護者の精神的、経済的負担の軽減が図られる。学校保健会等の健全な運営が図られる。		A																							
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	月1回、学校(園)から申請のあったものを確認のうえ、遅滞なく日本スポーツ振興センターに提出しており、給付金についても適正に処理している。		A																							
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	受益者負担あり 受益者負担なし	全市立幼稚園児、児童・生徒が対象であり、公平性はあるが、受益者負担はない。	B																							
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	安心・安全な学校生活を送るため必要性の高い事業である。		A A																							
Action 今後の事務事業の方向																													
事務事業の今後の方向性	22年度における取組のPRと方向性	保護者、学校、教育委員会、日本スポーツ振興センター相互の連携を密にし、申請もれ、加入もれ等が生じないよう適切に処理する。																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">取り組み方向</th> </tr> <tr> <th>新規</th> <th>現状維持</th> <th>拡大・拡充</th> <th>統合</th> <th>縮小</th> <th>廃止</th> <th>休止</th> <th>完了</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="8">関係機関と連携し、適正に事業を実施する。 けが、事故等を未然に防ぐため、学校保健会、養護教諭、保健主事と連携し、安全教育や安全点検等を充実する。</td> </tr> </tbody> </table>					取り組み方向								新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了	関係機関と連携し、適正に事業を実施する。 けが、事故等を未然に防ぐため、学校保健会、養護教諭、保健主事と連携し、安全教育や安全点検等を充実する。						
取り組み方向																													
新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了																						
関係機関と連携し、適正に事業を実施する。 けが、事故等を未然に防ぐため、学校保健会、養護教諭、保健主事と連携し、安全教育や安全点検等を充実する。																													

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号

6-2-2

Plan 事務事業の概要												
事務事業名	学校保健管理事業							部局等	教育委員会			
								課	学校教育課			
事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025		
		実施計画	健康づくりの推進				開始	2010	終了	2012		
八街市総合計画	「めざそう!ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方		現状値			
		具体的施策	学校教育の充実									
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付				実施根拠	学校保健安全法				
	負担金	その他	()									
直接の対象者(〜に対して)	幼稚園児・児童・生徒・教職員						最終的な受益者	幼稚園児・児童・生徒・教職員				
事業目的(〜という状態にするために)	・幼稚園児、児童、生徒及び教職員の健康保持増進を図ることにより、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資する。 ・安全で衛生に配慮した学校給食の提供。 ・学校環境衛生を維持・管理し、健康的な学習環境を確保する。											
具体的な事業内容(〜を行う)	・幼稚園児、児童、生徒の健康診断・教職員健康診断・就学時健康診断・環境検査測定業務・給食補助員の配置。											
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目											
D 事務事業の実施												
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)					
	事業の実績	1	幼稚園児・児童・生徒・教職員の健康診断及び就学時健康診断	人	8,717	7,812	7,942	7,736				
		2	環境検査(水質・空気・照度等)	園 学校数	16	16	16	16				
		3	給食補助員の配置	人	17	19	19	18				
	事業の効果	1	健康保持増進及び疾病の早期発見指導及び早期治療	人	8,970	8,717	7,942	7,736				
		2	学校環境の衛生的な維持	園 学校数	16	16	16	16				
		3	安全で衛生に配慮した学校給食の供給	人		17	19	18				
	事業効果に関する外部要因		・給食補助員の配置事業については、平成20年度より学校保健諸費から学校保健管理費に事業変更した。19年度までは小学校のみの配置であったが、20年度に2中学校に配置し、21年度より沖分校を除く市内全小中学校に配置した。23年度の減は朝陽小で3人配置から2人配置になったことによる。									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		・幼稚園児、児童、生徒及び教職員の健康管理及び学校環境を衛生的に保持した。									
	事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
(最終)予算額		千円		33,563	34,962	32,110	33,827					
決算額				千円		33,421	33,784	32,110	0			
		特定・その他財源()	千円									
21年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	10,380	役員費	1,324							
		賃金	10,053	委託料	9,040							
		需用費	1,313									

Check 事務事業の評価																										
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由					二次評価																	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	健全育成や健康づくりの観点からニーズは高い。					A																	
		市の関与は妥当ですか	a	学校保健安全法の規定及び学校環境衛生の基準による事業のため妥当である。																						
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	健康に対する関心が高くなり、健康教育の一環となっている。 健康保持増進及び疾病の早期発見指導及び早期治療。 学校環境を衛生的に維持した。					A																	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	給食補助員については、臨時職員。時間給対応により委託よりも安価となっている。 健康診断検査等は検診専門機関委託。					A																	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	対象者は市立幼稚園児、児童、生徒及び学校教職員全員であるため公平である。				A																	
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校保健安全法の規定及び学校環境衛生の基準にそって適正に実施している。					A	A																	
Action 今後の事務事業の方向																										
事務事業の今後の方向性	22年度における取組のPRと方向性	各健康診断等については年間計画に沿って適正に実施する。未受診者の事後指導を実施する。 給食配膳室の衛生管理を徹底する。																								
		<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th colspan="9">取り組み方向</th> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>現状維持</td> <td>拡大・拡充</td> <td>統合</td> <td>縮小</td> <td>廃止</td> <td>休止</td> <td>完了</td> <td></td> </tr> </table>								取り組み方向									新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了
取り組み方向																										
新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了																			
		学校保健安全法の改正等に留意し、適切に事業を推進する。																								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号

6-3-1

Plan 事務事業の概要													
事務事業の概要	事務事業名		体育施設の維持管理事業(体育施設維持管理費)					部局等	教育委員会				
								課	スポーツ振興課				
								職・氏名	主査・酒和裕一				
	当該事業が該当する個別計画等		基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた		開始年度	2005	終了年	2025	電話番号	443-1465	内線	
			施策の大綱	五の街 めざします！心の豊かさを感じる街									
			具体的施策	自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進									
	(八街市総合計画)		実施計画	生涯スポーツの推進			開始	2010	終了	2012			
			「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容		めざそう値(目標設定)の考え方		現状値				
	実施方法		直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠	スポーツ振興法					
			負担金	その他 ()									
直接の対象者(～に対して)		社会体育施設(市営運動場)					最終的な受益者	市民					
事業目的(～という状態にするために)		市営運動場を維持管理し、安全に利用できるよう努め、市民の心身の健全な発達に寄与する。											
具体的な事業内容(～を行う)		社会体育施設を維持管理し、安全に利用できるよう努める。 ・グラウンド等光熱水費 ・グラウンド等土地賃借料 ・グラウンド等施設保守管理委託料											
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目	体育・健康施設整備 野球場の整備										
Do 事務事業の実施													
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)						
	事業の実績	グラウンド等光熱水費		千円	5152	4897	4951	4825					
		グラウンド等土地賃借料		千円	14686	14681	14680	14685					
		グラウンド等施設保守管理委託料		千円	5820	6648	7556	7706					
	事業の効果	社会体育施設利用状況		人	105397	88464	83131	90000					
		<small>(中央、東部、西部、南部、北部グラウンド、履平サッカー場 中央公園テニスコートは平成20年度まで)</small>											
	事業効果に関する外部要因												
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		市営運動場を維持管理し、安全に利用できるよう努め、市民の心身の健全な発達に寄与した。										
	事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)					
(最終)予算額		千円	26,458	27,813	28,376	28,182							
決算額				千円	26,100	27,513	28,017	0					
		特定・その他財源()		千円	1,246	1,419	1,304						
		一般財源		千円	24,854	26,094	26,713						
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費(消耗品)	94		役員費(し尿汲取手数料)	141							
		需用費(光熱水費)	4,951		委託料	7,556							
		役員費(修繕料)	473		賃借料	14,680							

Check 事務事業の評価						
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	生涯スポーツの関心の高まりとともに、利用ニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市の管理施設のため不可欠である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	得られている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	緑地保守等、外部委託により効率化を図ってきている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	利用者(市民)から使用料を徴収しており、公平性は保たれている。	A
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	市民のスポーツ・レクリエーションのための施設として安全な利用のため、概ね適正に維持管理されている。		A A	
Action 今後の事務事業の方向						
23年度における取組のPRと方向性	市民が安全に利用できるよう、適正な維持管理を行っていく。					
事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止 休止 完了
事務事業の今後の方向性	社会体育施設の維持管理は継続して実施していかなければならないが、さらに現状を把握し、一層利用しやすい施設として整備、管理に努めていく必要がある。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 6-3-2

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	体育施設整備事業(体育施設整備事業費)							部局等	教育委員会	
								課	スポーツ振興課	
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年度	2025	
	実施計画	生涯スポーツの推進				開始	2010	終了	2012	
八街市総合計画	「めざそう!ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方	現状値		
実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付				実施根拠	スポーツ振興法		
	負担金	その他	()							
直接の対象者(～に対して)	市民					最終的な受益者	市民			
事業目的(～という状態にするために)	市営運動場を整備し、安全に利用できるよう努め、市民の心身の健全な発達に寄与する。									
具体的な事業内容(～を行う)	北部グラウンドトイレ設置工事 中央グラウンド夜間照明施設塗装替工事									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	体育・健康施設整備								
	野球場の整備									
D 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	体育施設整備事業費		千円	2993		5728	4486		
		社会体育施設利用状況		人	105397	88464	83131	90000		
	事業の効果	(中央、東部、西部、南部、北部グラウンド、榎戸サッカー場、中央公園テニスコートは平成20年度まで)								
		事業効果に関する外部要因								
事業効果の総合分析(達成できたこと)		市営運動場を整備(北部グラウンド水洗トイレ設置)し、安全で快適に利用できるよう努め、市民の心身の健全な発達に寄与した。								
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終)予算額		千円		3,285		5,921	4,486		
	決算額			千円	2,993	0	5,728	0		
		特定・その他財源()		千円						
	一般財源		千円		2,993		5,728			
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		委託料		368						
		工事請負費		5,355						
		役務費(手数料)		5						

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	生涯スポーツの関心の高まりとともに、利用ニーズは高い。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	市の管理施設のため不可欠である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	得られている。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	効率化を図ってきている。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	市営施設であり、公平性は保たれている。		A
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	市民のスポーツ・レクリエーションのための施設として安全な利用のため、必要最小限に努め実施している。		A	A
Action 今後の事務事業の方向							
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	市民が安全に利用できるよう、適正な整備工事を行っていく。					
	取り組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
		社会体育施設の整備工事は継続して実施していかなければならないが、さらに現状を把握し、一層利用しやすい施設として整備、管理に努めていく必要がある。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

〔事務事業評価シート〕

シート番号 6-4-1

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	スポーツプラザ管理運営費						部局等	教育委員会		
							課	スポーツプラザ		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025		
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						職・氏名	主査補・加藤京子	
八街市総合計画	具体的施策	五の街自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進						電話番号	443-8003	内線
	実施計画					開始	2010	終了	2012	
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方		現状値		
	直接実施	業務委託	補助金交付			実施根拠	八街市スポーツプラザの設置及び管理に関する条例			
負担金	その他	()					最終的な受益者	市民		
直接の対象者(～に対して)	市民									
事業目的(～という状態にするために)	スポーツプラザ施設の維持管理を適正に行い、利用者が安全にスポーツを楽しむ場を提供する。バウンドテニス教室等の主催行事費用を内包するが、総体として既存の施設の運営及び管理を行うことによりサービス水準を維持することを目的とする。									
具体的な事業内容(～を行う)	清掃・警備・施設の管理等の業務委託、老朽化箇所の修繕等を行った。バウンドテニス教室・トレーニング室の無料開放を行った。									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
D 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	委託関係	千円	17,030	16,057	16,828	18,984			
		修繕関係	千円	1,688	4,789	1,681	1,000			
		主催事業関係	千円	180	156	156	173			
	事業の効果	施設の安全性を維持した。								
		施設の老朽化によるサービス水準の低下を防止した。								
		施設利用件数が増加した。	件	7,447	7,477	7,520	7,890			
	施設利用人数	人	103,481	117,569	114,134	119,840				
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	施設の老朽化により修繕箇所が増加してきていることから、予算の中で対応できない箇所が増加している。サービス水準を維持することが困難となりつつある。									
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	31,644	36,214	35,940	34,693			
	決算額			千円	31,569	33,298	34,576	0		
		特定・その他財源()	千円	5,705	5,614	7,563				
		一般財源	千円	25,864	27,684	27,013				
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	8,769							
		委託料	16,828							
		使用料及び賃借料	3,346							

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	スポーツ施設の管理は必要不可欠である。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	公共性の観点から市の関与は妥当			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	期待された効果が得られている		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	各種清掃・維持・管理棟の業務については外部委託により効率化を図っている。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり	受益者負担なし	A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	スポーツ振興に寄与する施設として、安全で効率的な施設の管理を実施している。		A	A
Action 今後の事務事業の方向							
22年度における取組のPRと方向性							
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
	施設の維持管理は適切な時期に適切な改修を行うことにより、施設維持費の抑制が期待できる。また、更なる効率化を図るための管理手法の検討をしていきたい。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 6-4-2

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	スポーツプラザ整備事業費						部局等	教育委員会		
							課	スポーツプラザ		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025		
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-8003	内線
(八街市総合計画)	具体的施策									
	実施計画				開始	2010	終了	2012		
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容		めざそう値(目標設定)の考え方			現状値		
	直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠	八街市スポーツプラザの設置及び管理に関する条例				
負担金	その他	()								
直接の対象者(～に対して)	市民				最終的な受益者	市民				
事業目的(～という状態にするために)	スポーツレクリエーション活動の増大・多様化するニーズに対応するために新たな設備の整備を行うことを目的とする。									
具体的な事業内容(～を行う)	テニスコート夜間照明工事 テニスコート芝張替工事									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
D 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	テニスコート夜間照明設置工事		千円			9,573	0		
		テニスコート芝張替工事		千円			6,195			
	事業の効果	テニスコートの夜間利用のための一部整備								
	事業効果に関する外部要因									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		施設の充実は得られたが新たな設備の設置を行うことにより管理費の増加が懸念される。							
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終) 予算額		千円	13,990	20,283	17,353	0			
	決算額			千円	13,892	12,768	15,769			
		特定・その他財源()	千円	3,900	12,768	13,695				
	一般財源	千円	9,992	0	2,074					
22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		工事請負費		9,573						

Check 事務事業の評価								
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市のスポーツ振興の基盤となる施設として安全、安心して利用できる施設整備と、多様化するニーズに対応するための設備の充実が求められている		A		
		市の関与は妥当ですか	a	市の施設整備と充実は必要不可欠である。				
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	設備充実のため工事遂行することができた。		A		
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	事業の性質から予算化の段階で厳しく効率性を評価されている。		A		
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり		A		
				受益者負担なし				
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	安全に施設を利用するための施設整備の目的はおおむね達成されている。今後、施設の老朽化に伴う整備費の増大が予想される。		A	A		
Action 今後の事務事業の方向								
	22年度における取組のPRと方向性	テニスコート夜間照明の一面が完成し、供用を開始する						
事務事業の今後の方向性		取り組み方向						
		新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
		。利用者ニーズや利用者状況などを踏まえながら既存施設や整備の改善・改修に努めていく。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 K-1-1

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	学校給食センター一般管理事業							部局等	教育委員会		
								課	給食センター		
事務事業の概要								職・氏名	副主幹・海保直之		
	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年	2025	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
		具体的施策									
	(八街市総合計画)	実施計画						開始	2010	終了	2012
		めざそう！ね(値)：	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方	現状値		
	実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付				実施根拠	八街市学校給食センター設置条例		
		負担金	その他	()					八街市学校給食センター管理運営規則 八街市学校給食費徴収規則		
	直接の対象者(-に対して)	幼稚園、小学校、中学校						最終的な受益者	園児、児童、生徒、保護者		
	事業目的(-という状態にするために)	園児、児童、生徒に安定した給食を供給するため									
具体的な事業内容(-を行う)	<ul style="list-style-type: none"> 給食センター運営委員会の開催 給食事業に係る臨時職員の賃金等 給食費収納管理システムの活用 										
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
D 事務事業の実施											
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	事業の実績	1	報酬(給食センター運営委員)	千円	93	83	83	102			
		2	賃金等	千円	7,130	8,120	8,171	9,328			
		3	給食費収納管理用システムの導入等	千円	0	2,075	3,108	2,897			
	事業の効果	1	運営委員会開催数	回	3	2	2	3			
		2	臨時調理員数	人数	4	5	5	6			
		3	収納率の向上	パーセント	95.91	95.06	96.54	98			
		4									
	事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会は、給食センター運営に関する重要事項を審議する機関として、運営の向上に寄与した 給食費収納業務の一元化により、業務が円滑となり、事務の簡素化が図られた 								
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	12,375	17,585	17,484	17,072				
	決算額			千円	11,799	16,563	15,652				
		特定・その他財源()		千円	245	203	248				
		一般財源		千円	11,554	16,326	15,404				
	22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報酬	83							
		賃金等	8,171								
		給食費収納管理システム	3,108								

Check 事務事業の評価								
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	・運営委員会は給食センター運営に係る重要事項の審議のため必要不可欠		A		
		市の関与は妥当ですか	a	・運営委員会は条例等に基づき重要事項を審議する機関として不可欠				
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	・調理業務の委託により経費抑制が見込める ・給食費収納業務の一元化が図られた		A		
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	・第二調理場の委託についても今後検討 ・給食費収納業務の一元化が図られる(事務量の増大により職員の増員が必要)		A		
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	受益者負担あり 受益者負担なし	給食費の未納解消による公平性の確保を図る必要がある	B		
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a			A A		
Action 今後の事務事業の方向								
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	平成22年度の実績を踏まえ、23年度においても、給食費収納業務が円滑に運営されることが見込まれる。また、平成20年度より第一調理場の調理業務の民間委託を実施しているが、問題なく履行されていることから、23年度以降も引き続き民間委託を実施(26年7月まで)						
		取り組み方向						
		新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
		給食費収納業務の市への移行により、一元化が図られ収納率の向上に繋げることができたが、さらなる未納対策を推進するうえで、職員の増員などの未納対策施策の強化を図る						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 K-1-2

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	学校給食センター調理場維持管理費事業						部局等	教育委員会		
							課	給食センター		
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025		
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
(八街市総合計画)	具体的施策									
	実施計画				開始	2010	終了	2012		
実施方法	「めざそう！ね(値)」指標	指標の内容			めざそう値(目標設定)の考え方			現状値		
	直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠	八街市学校給食センター設置条例				
負担金	その他	()		八街市学校給食センター管理運営規則						
直接の対象者(ーに対して)					最終的な受益者	園児、児童、生徒、保護者				
事業目的(ーという状態にするために)	給食の円滑かつ安定的な供給を図るために、給食センターの施設、設備等を良好な状態に保つ									
具体的な事業内容(ーを行う)	給食センターの施設、設備等の適切な維持管理を行う									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
D 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	1	修繕費	千円	4,082	3,769	3,812	3,500		
		2	委託料	千円	14,968	14,329	14,281	15,885		
		3	工事請負費	千円	0	4,221	14,889	3,781		
	事業の効果	1	各施設、設備の修繕							
		2	各施設、設備の維持管理委託							
		3	各施設、設備の改修工事							
		4								
	事業効果に関する外部要因									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		各施設、設備等を適切に維持管理し、学校給食業務を円滑に運営することができた							
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	19,903	42,339	40,598	23,166			
	決算額			千円	19,115	23,500	33,944			
		特定・その他財源()		千円						
		一般財源		千円	19,115	23,500	33,944			
	22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		修繕費	3,812						
		委託料	14,281							
		工事請負費	14,889							

Check 事務事業の評価							
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校給食業務を円滑に運営するためには、各施設、設備等の適切な維持管理が必要不可欠		A	
		市の関与は妥当ですか	a	学校給食法に基づき、市が実施する事業である			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	各施設、設備等を適切に維持管理し良好な状態に保ち、安定的な給食の供給ができた		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	各施設、設備等を適切に維持管理し良好な状態に保つと同時にコストの削減も必要である		B	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	給食の調理に要する費用は、全ての市の負担となっていることから公平性に問題はない	A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a			A A	
Action 今後の事務事業の方向							
23年度における取組のPRと方向性	給食センターの施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保つことにより安全で安心な学校給食の調理及び配食を行う						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
	・今後も適切な維持管理を図ることが必要不可欠であるが、同時にコストの削減も検討する ・施設等の老朽化も進んでいることから、今後は計画的な大規模改修を検討する						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号 K-2-1

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	学校給食センター調理場給食事業							部局等	教育委員会		
								課	給食センター		
事務事業の概要								職・氏名	副主幹・海保直之		
	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				開始年度	2005	終了年	2025	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
		具体的施策									
	(八街市総合計画)	実施計画						開始	2010	終了	2012
		めざそう！ね(値)：	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方	現状値		
	実施方法	直接実施	業務委託	補助金交付			実施根拠	学校給食法			
		負担金	その他	()							
	直接の対象者(-に対して)	学校給食を受ける児童生徒					最終的な受益者	学校給食を受ける児童生徒の保護者			
	事業目的(-という状態にするために)	学校給食事業は児童生徒の心身の健全な発達、食事についての正しい理解、望ましい食生活を身につけることなどを目的としている									
具体的な事業内容(-を行う)	市内13小中学校並びに市内3幼稚園への給食を供給										
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
D 事務事業の実施											
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	事業の実績	1	消耗品費等	千円	49,665	39,451	41,282	41,953			
		2	賄い材料費	千円	382,537	367,715	351,109	345,902			
		3	委託料	千円	112,635	113,509	107,880	111,931			
	事業の効果	1	給食配食数/日	人	7,526	7,170	6,960	6,898			
		2									
		3									
		4									
	事業効果に関する外部要因		第一調理場(調理業務)を平成20年度より民間委託								
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		安全で安心な学校給食を円滑に配食することができた								
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	549,378	526,690	509,600	503,177				
	決算額			千円	548,912	524,444	503,782	0			
		特定・その他財源()		千円	377,890	363,373	352,338				
		一般財源		千円	171,022	161,071	151,444				
	22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		賄い材料費		351,109						
		委託料		107,880							
		備品購入費		2,200							

Check 事務事業の評価										
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由					二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校給食事業は児童生徒の心身の健全な発達、食事についての正しい理解、望ましい食生活を身につけることを目的としている					A	
		市の関与は妥当ですか	a	学校給食法により、給食事業は必要不可欠						
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	児童生徒の心身の健全な発達、食事についての正しい理解、望ましい食生活を身につけることができた					A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	材料の選定や献立の工夫等による学校給食内容の充実が図られている					A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり	保護者から賄い材料費を給食費として徴収しているが、未納が増加傾向にある				A	
		受益者負担なし								
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a						A	A	
Action 今後の事務事業の方向										
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	給食費は賄い材料費として、全額充当しているが、未納者が増加していることから給食費収納管理システムを活用した一層の未納対策を進める。また、食材等の高騰の懸念もあるが、質を落とさず、材料の選定や献立の工夫等により、給食内容の充実を図る								
	取り組み方向									
	新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了		
		平成20年度から、第一調理場の民間委託(調理業務)に続き、第二調理場の民間委託についても人件費等の比較検討をしながら、総合的に判断し今後の方向性を考える								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号

S-1

事務事業名		八街北小学校屋内運動場災害復旧事業				部局等	教育委員会	
						課	庶務課	
当該事業が該当する個別計画等		基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた		開始年度	2005	終了年度	2025
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					
八街市総合計画		具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実 - - - 学校教育の充実					
		実施計画	小中学校施設管理事業		開始	2010	終了	2010
		「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容		めざそう値(目標設定)の考え方		現状値
実施方法		直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠		
		負担金	その他 ()					
直接の対象者 (~に対して)		小学校				最終的な受益者	中学生・教職員	
事業目的 (~という状態にするために)		平成22年3月11日午後2時46分に発生した、東日本大震災により落下した屋内運動場の天井を改修するため。						
具体的な事業内容 (~を行う)		・学校施設の改修						
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目						
D 事務事業の実施								
		区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)	
実績・成果	事業の実績	1	工事請負契約数	件	0	0	1	0
	事業の効果		施設設備の改修工事の実施	千円	0	0	735	0
事業効果に関する外部要因		更に落下する危険性があるため、使用を中止し直ちに改修工事を実施。						
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		危険な状況であったため、直ちに工事を実施した。						
		区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)	
		(最終)予算額	千円	0	0	749	0	
事業コスト		決算額	特定・その他財源()	千円	0	0	735	0
			一般財源	千円	0	0	735	0
22年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		工事請負費		735				

Check 事務事業の評価								
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	夜間等は一般にも開放しており、常時使用できる状態でなければならない。		A		
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。				
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要不可欠な改修工事であり、直ちに実施できた		A		
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	落下部の撤去岳を行い、卒業式終了後、張り替え工事を実施した。適切な工程であったと考える。		A		
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校との調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A		
総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		A A			
Action 今後の事務事業の方向								
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	災害復旧費のため、平成23年度は予算計上なし。						
	取り組み方向							
		新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止
施設設備の経年劣化が進んでいることから、改修しなかった部分の状況も適宜見回ってまいりたい。								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

シート番号

S-2

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	八街中学校施設災害復旧事業							部局等	教育委員会	
								課	庶務課	
当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			開始年度	2005	終了年度	2025		
	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
八街市総合計画	具体的施策	五の街 子供の教育・健全育成の充実 - - - 学校教育の充実								
	実施計画	小中学校施設管理事業			開始	2010	終了	2010		
実施方法	「めざそう！ね(値)」	指標	指標の内容				めざそう値(目標設定)の考え方	現状値		
	直接実施	業務委託	補助金交付		実施根拠					
直接の対象者(～に対して)	小学校				最終的な受益者	中学生・教職員				
事業目的(～という状態にするために)	平成22年3月11日午後2時46分に発生した、東日本大震災により、電気設備が破損(復電機能)したため、直ちに改修するため。									
具体的な事業内容(～を行う)	・学校施設の改修									
市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施										
実績・成果	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	0	0	1	0		
	事業の効果		施設設備の改修工事の実施	千円	0	0	578	0		
	事業効果に関する外部要因	更に落下する危険性があるため、使用を中止し直ちに改修工事を実施。								
事業効果の総合分析(達成できたこと)	危険な状況であったため、直ちに工事を実施した。									
事業コスト	区分		単位	20年度	21年度	22年度	23年度(目標)			
	(最終)予算額		千円		0	0	595	0		
	決算額	特定・その他財源()		千円		0	0	578	0	
		一般財源		千円		0	0	578	0	
	22年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		工事請負費		578					

Check 事務事業の評価										
事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由				二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	停電時に復電しなくなり、停電が続く状態になるため、直ちに改修しなければならない。				A		
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。						
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要不可欠な改修工事であり、直ちに実施できた				A		
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	一時的に仮復旧し、部品調達後直ちに本工事を実施した。				A		
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	受益者負担あり 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校との調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。			A		
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。				A	A	
Action 今後の事務事業の方向										
事務事業の今後の方向性	23年度における取組のPRと方向性	災害復旧費のため、平成23年度は予算計上なし。								
	取り組み方向									
		新規	現状維持	拡大・拡充	統合	縮小	廃止	休止	完了	
		施設設備の経年劣化が進んでいることから、改修しなかった部分の状況も適宜見回ってまいりたい。								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

学校評価の部

学校評価の考察方法

平成22年度に学校が行った学校評価は、内部評価、外部評価を実施しているが、学校毎に調査方法、質問事項、まとめ方も異なっていることから、このうち保護者を対象としたアンケート調査の結果のうち、県のみinnで取り組む『教育立県千葉』プラン(千葉県教育振興基本計画)に数値目標が掲げられている、次の3項目に関する結果を抜粋し検証することとした。

なお、評価項目については、A、B、C、Dの4段階評価を採用しているところがほとんどであった。また、評価を学期ごとあるいは2学期のみに実施している学校もあったが、結果は最終実施のものを記載することとした。

- 子どもの様子(規範意識や協調性)に関する項目
- 学習指導に関する項目
- 家庭・学校・地域が連携して子どもを育てる環境に関する項目

みんなで取り組む『教育立県千葉』プラン(千葉県教育振興基本計画)に数値目標

項目	現状 (H20年度)	目標 (H26年度)
「子どもの様子(規範意識や協調性)」に関する項目について、「満足」「おおむね満足」と回答した保護者の割合目標数値(「満足」及び「おおむね満足」と回答した保護者の割合)	84.1%	85.0%
「学習指導」に関する項目について、「満足」「おおむね満足」と回答した保護者の割合目標数値(「満足」及び「おおむね満足」と回答した保護者の割合)	79.0%	85.0%
「学校・家庭・地域が連携して子どもを育てる環境が整っている」ことに関する項目について、「満足」「おおむね満足」と回答した保護者の割合目標数値(「満足」及び「おおむね満足」と回答した保護者の割合)	82.0%	85.0%

総合評価(外部評価)コメント

- 学校評価にあたっては、同じ項目の中でも、各学校により質問を工夫しながら外部の意見を取り入れ、学校運営に活かそうとする姿勢は評価されましたが、八街市が推進する継続指導6項目については、すべての学校で状況把握するよう努めるべきとの指摘もありました。

保護者の回答が少ない学校もあり、結果を評価できないとの指摘もありました。

これらの外部評価を真摯に受け止め、各学校や地域の教育レベルの一層の向上に努めていただきたいとのコメントがありました。

特に、学力の向上、不登校対策の成果が出るよう期待されています。

各学校で実施しているアンケートについては、その内容の統一性、アンケート回数が増の要望がありました。

評価結果の考察

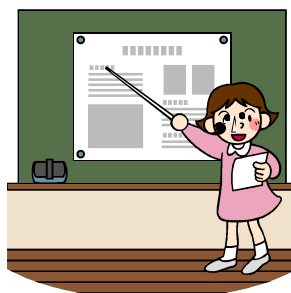
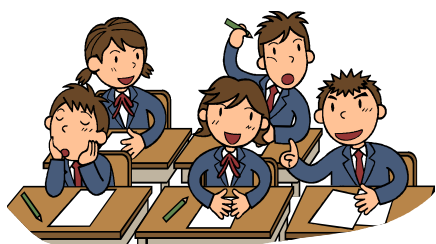
① 子どもの様子(規範意識や協調性)に関する項目

幼稚園	<p>共通した質問事項として、 保育の様子が家庭に伝わってきましたか。 の質問に対して、園に対するプラス評価は、93.2%と高い評価を受けており、安定した園の運営が、各家庭に伝わっているものと判断される。</p>
小学校	<p>主な質問項目として、 社会や日常のルールを守る姿勢 学校や学級の中でのよい友達の存在 挨拶、返事、言葉遣いなどの生活習慣 感動する心や思いやりの心 倫理観や規範意識を育てる努力 教職員の指導態度</p> <p>など、子どもの様子から質問したものと、教師の指導の面からの質問事項がされている。 結果はプラス評価の高い学校の方が多く、概ね90%前後であるが、学校の努力や指導に対して70%に満たない評価がされている学校があった。 質問のし方、内容に違いがあり、また、回答率も差異があるため、一概に学校間比較はできないが、人間形成の基本であるので、指導の共通理解、共通実践、また継続指導の徹底に一層の努力を望むところである。</p>
中学校	<p>質問項目としては、 基本的な生活習慣、態度(挨拶、規範意識、思いやりの心) 社会や日常のルールの指導、育成 思いやる気持ちからの、いじめ問題の解消努力 健康な心身の発達、向上</p> <p>など、子どもの様子から質問したものと、教師の指導の面からの質問事項がされている。 結果は一部プラス評価の学校があったものの、63.8~83.4%と低い評価が多かった。特に学校の努力や指導に対して低い結果となっている。 小学校に比べ回答率が低く、また小学校と同様に質問内容が異なるため、学校間比較はできないが、小学校よりプラス評価率が下降傾向を示しており、生徒指導の強化や取り組み、保護者と一体となった指導が必要とされているのではないかと考えられる。 さらに、人を思いやる気持ちの希薄化がいじめ問題に発展する根底の一つであると考えられることから、家庭や地域との連携を図りながら指導を行っていく必要性が示唆されている結果と思われる。</p>



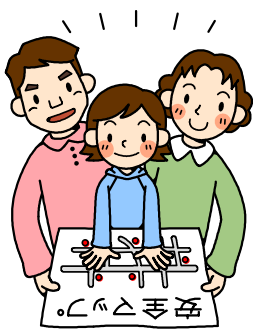
② 学習指導に関する項目

幼稚園	<p>共通した質問事項として、 < 教師は、子どもの様子を把握し、適切な援助をしてくださいましたか > の質問に対して、プラス評価は、すべて園で非常に高い評価を受けている。(3園の平均: 96.8%) 幼稚園では、園児一人一人の状況を把握し、一人一人に対応した、保護者のニーズにあった援助がなされた結果と考えられる。</p>
小学校	<p>質問事項としては、 学習日課の工夫 基礎基本や思考力、表現力などの学力の育成 学年にふさわしい学力の定着度 授業の工夫、わかる授業 教師の取り組みの様子などがある。 結果はプラス評価が95%以上の学校もある反面、50~70%の学校もあった。 概ね高い評価であったが、< 学校は一人一人を大切にしようとする姿勢で教育活動に取り組んでいる >、< 授業がわかりやすい > の質問に対してプラス評価の低い学校もあり、授業にあたっては、一層子どもにとってわかる授業を目指し、授業改善を行っていくことが必要と判断されるところである。</p>
中学校	<p>質問事項としては、 基礎的学力の定着 わかる授業の展開 学習意欲を高める個々の生徒に応じた指導 学習習慣の定着 などがある。 評価の結果は質問項目の一部を除き大部分で、プラス評価80%未満となっており、県の目標・現状値を下回っている。 中学生の保護者にとって学習指導に関しては非常に関心が高いところであり、期待も含めた厳しい評価となっていることが予想されるが、期待に応えるための努力を怠ることの無いように実践していくことが必要である。</p>



③ 家庭・学校・地域が連携して子どもを育てる環境に関する項目

幼稚園	<p>共通した質問事項として、 <地域の方々との協力や信頼関係ができていますか> の質問に対して、プラス評価は、すべて園で90%以上の高い評価を受けている。 今後も引き続き、地域の方の協力を得ながら円滑な園の運営を行っていただきたい。</p>
小学校	<p>質問事項としては、 保護者の相談受入れ体制 担任と家庭の連絡体制 地域の学習や協力連携体制 地域や保護者の意見聴取体制 学校・学年・保健だよりの工夫 などがあつた。 結果はプラス評価80%以上がほとんどであり全体的に高い評価であつたが、一部の学校で低い評価があつた。各学校の努力は見受けられるが、引き続き地域と連携を図りながら、円滑な学校運営に努めていただきたい。</p>
中学校	<p>質問事項としては、 学校・家庭・地域の連携、協力体制 授業参観や行事等の情報提供 学校便りや学級・学年通信による保護者への情報提供 などがあつた。 評価の結果はプラス評価が概ね80%程度以上が多かつたが、一部の学校で質問が異なつていたため、低い数値があつた。保護者の意識との乖離もうかがえ、連携体制に疑問の残る結果ともなつている。地域の信頼関係を保持する中で、社会全体で子どもを育てていくという体制の中心となる場は学校であり、一層の積極的な情報発信と共に、協力を求める場の明確化も必要であらう。</p>



ビーちゃん ナツちゃん